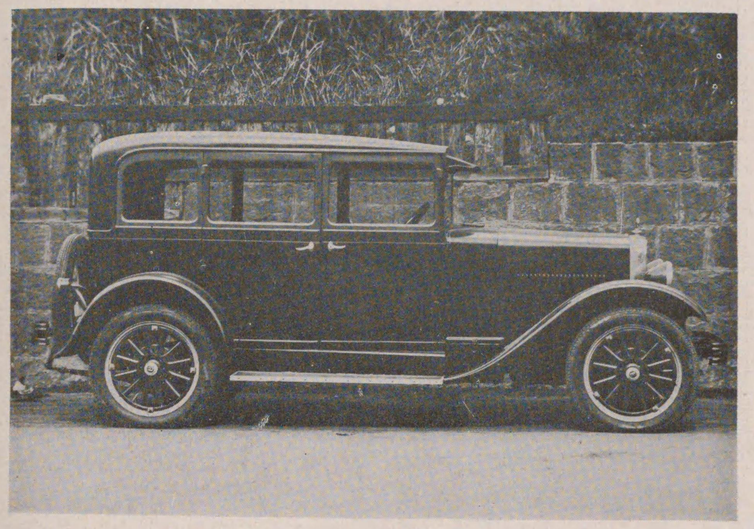


米國製アースキン號

アースキン號

アースキン號六氣筒車は大型高級車の製作を以て世に知られたるスチュードベーカー會社に於て巨額の研究費と多年の苦心との結果今度始めて完成せる最新式中型自動車にして米國に於ける高級大型自動車の粹を集め之に歐洲車の特長を巧に結合して設計せられたるものにて新時代に最も相應しい理想車なり此最新型の大成に據り多年全世界市場に於て熱望せる輕快にして能率と經濟とを兼ね備へたる自動車が始めて出現せる次第で自動車製作史上に一新紀元を劃し忽ち世界人氣の焦點となれり。

エンヂンは靜音堅力のL頭型で絕對に震動を避け稅率の安い割合に意外な怪力と働き振りを見せ必要に應じては一時間六十哩の快速力を出し僅か八秒間にて時速五哩より二十五哩に變更し得るのみならずトップギヤーにては九分の一の勾配も樂々と昇り得然も其消費燃料は驚く程少くガソリン一カロンにて優に二十五哩を走行し出脚も勿論頗る敏速なり。

本車の諸裝置は總て最新式にて且つ大型自動車に於てのみ見る優良材料が用ひられ居る故頗る堅牢にて夫れに重心が低いのと操作自在の四輪ブレーキとに依り乘客は絕對安全を保證されスプリングの全長はホヰールベースの八割二分に餘る爲め車体に少しの震動を傳へず乘心地良好なりボデーは世界大車体設計者の一人として衆知のデイトリツチ氏の天才的働きに依り構造堅牢にて型良く其れに意匠と色彩とが一際目立ち室内も巧に利用せられて居り如何に大なる人にてもゆつたりと乘り得。

其他微細の點に到る迄凡てが行屆き眞に間然する所なきものなり。

セール商會

セリツチ、タンファニー、エリアルロープウェー

伊太利ミラン市セリツチ、タンファニーは架空索道（エーリアル、ロープウエー）并に綱索鐵道（ケーブルカー）の製造者として世界の權威なる事は特に玆に叙述する迄もなく夙に歐洲諸國に於ける使用者の之を裏書する所にして就中架空索道は建設費の少き事、而も輸送能力の異らざる點に於て將來益々發展する事と思ふが故に玆に之れに就き少しく記述することゝせり。製造所の報道に依る架空索道乘客運搬車の存在に就ては別表に代表的のものを示せるが最近我國に於ても一ケ所の註文を引受け之れが製作を急ぎ居り且つ尚ほ七八ヶ所に對しても設計の依頼を受けて居るが故に其の一例を取りて之れが大様を叙ぶべし。

線路の水平距離	約二、六七〇呎
兩端高低の差	五四〇呎
一車の乘客數	二四人
速力（一秒時）	一〇呎

以上に對して「セリッチタンファニー」の提案せるものは引返式索道にしてCARRING ROPE（所謂索道）二本の上を懸垂せる二ケの車輛が各反對の方向に往復するものなり、而して此ロープは一方に於て固着せられ他方にて平衡錘により緊張せらる、尙ほ所謂「トラクション、ロープ」なるものありて起動裝置所の（ドライヴング、ギヤー、シーヴス）を一捲きして二ケの車輛を結び付け更に「バラスト、ロープ」と稱する綱ありて緊張裝置所の（テンション、シーヴス）を

第二區	水平距離	約九、二〇〇呎	各車 十八人乃至二十四人
	兩端高低の差	二、五〇〇呎	定員 七 呎
	客車數	各區に付二輛宛	速力（一秒時） 六〇馬力
			運轉馬力

全四區域とも完成の曉には此種の架空索道に於て最も顯著なるものと相成るべし。

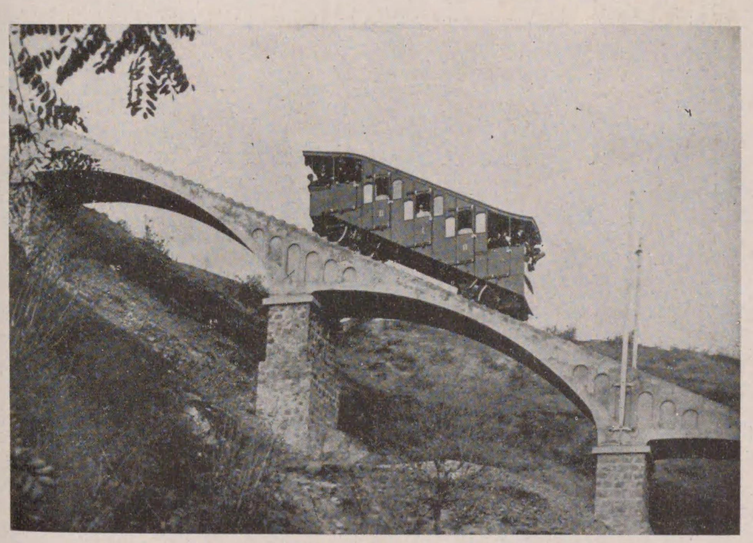
CORTINA D'AMPEZZO-POCOL.

水平距離	約六、五〇〇呎
兩端高低の差	一、〇六〇呎
客車數	二 輛
運轉馬力	一二〇馬力
定員	各車 十八人
速力（一秒時）	十二呎

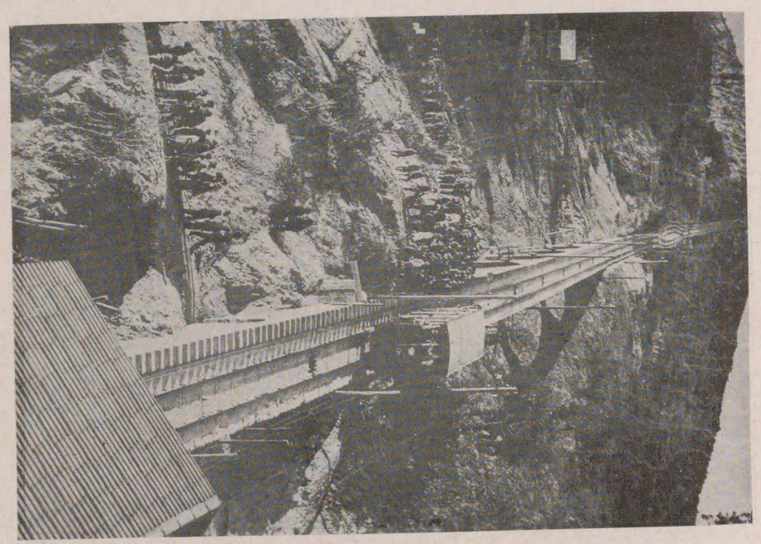
該「ロープウエイ」は伊太利冬期運動村落に設けられ數週間內運轉開始を見るに至らむ。而して最も大膽なる方法に於て構成せられ單一の區域を有するのみにて而も百五十呎の高さを有する支持塔二基を有するを見ても如何に豪快なる設計なるかを知るに足らむ。

以上は博覽會用のものを除き全部引返し式にして索道は二本ホーリング及びバラスチング、ロープ各一本を備へ尙ほ鋼索腐蝕の場合等を慮り自動的に危險を防止する「ブレーキロープ」なるものを添付せらる。

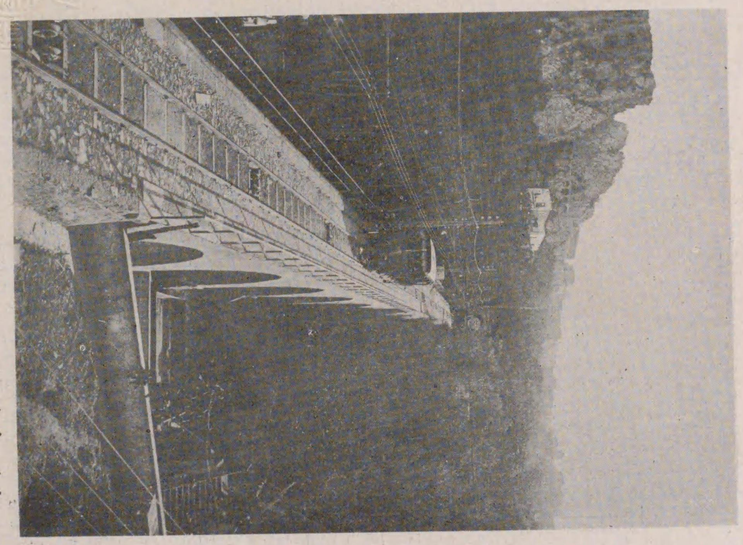
セリッチ•タンファニー•エリアルセーブウエー
（株式會社セール商會）



セリッチ•タンファニー•ケーブルカー　（其一）



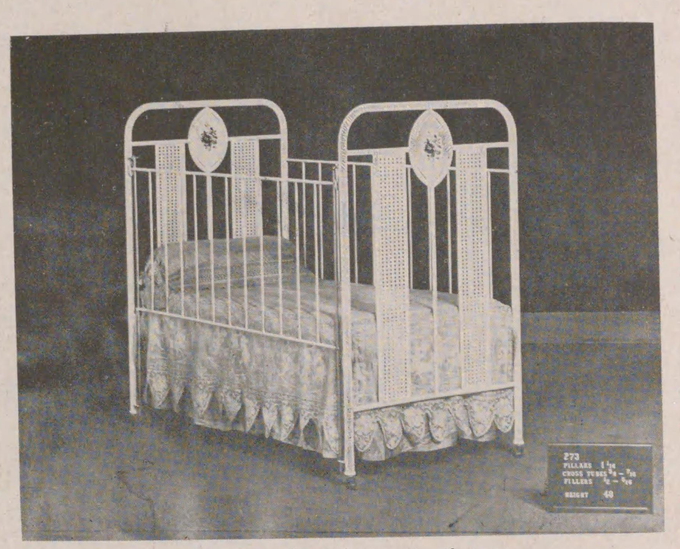
（其三）上同



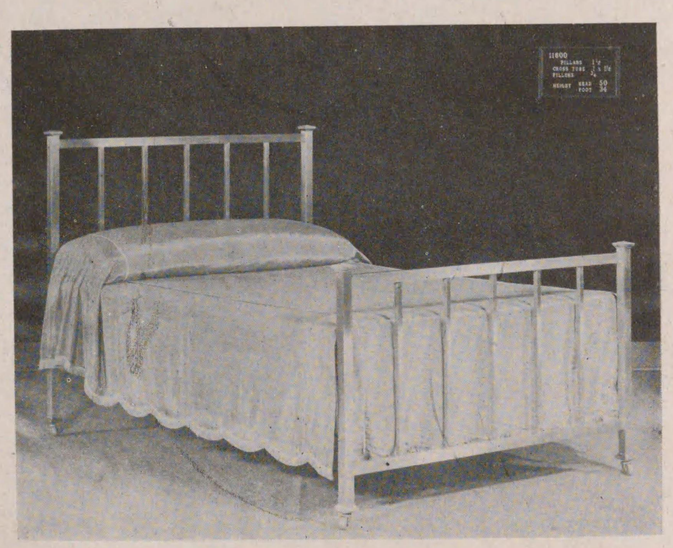
（其二）ーカルブーケーニアフンクチッリセ
（會商ルーセ社會式株）

自動車界の權威ホワイト號　（セール商會）

同上側面よりみた優姿



シモンズ、ベツト（其一）　（セール商會）



（上　同）　シモンズ、ベツト（其二）

❖❖ 千里山住宅地 ❖❖

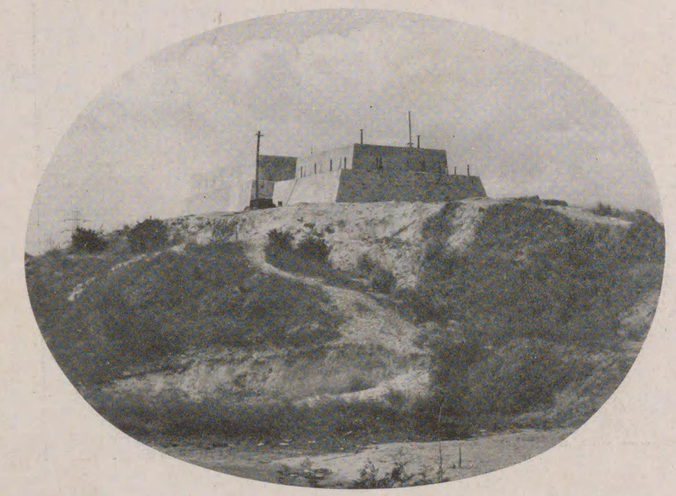
位置は新淀川以北、電車は天神橋筋六丁目より新阪京電鐵により僅に拾六分間にて到達し得べく同電鐵の千里山停留場と千里山住宅地は接觸してゐる。住宅地の總面積約拾七萬坪内土工完成及土工中の區域は約拾四萬坪で現在戸數は四百戸以上水道瓦斯其他各種の設備に於て何等遺憾無く殊に水道は吹田の麥酒工場と同じ樣に鑿井による水源豊富であつて其湧出量は優に參千戸以上に對する供給能力を持つてゐる。道路は廣く充分に開鑿されてゐて大体砂地であるから雨天にも高下駄の必要が無い。土地家屋共即金又は年賦月賦何れにても希望に應ずることになつてゐる、そうして年月賦には拾箇年場合により拾五箇年に亘る長期の契約もあり又之を途中に期限を短するか或は殘額全部即金拂ひにすることも自由である。

尙拂込の方法を二通りに別けて或る金額は家賃と大差なき程度の月賦拂とし殘りの金額は半箇年賦とし其拂込時期を希望通りの時期(譬へばサラリーマンならば賞與月)にするが如き便法もある。貸家は政府の低利資金で建築したものであるから其家賃は世間普通の金利によるものよりも安くなつてゐる。住宅の建築希望者に對し會社は註文者の希望に基く間取りに依て建築の依頼に應じ又既設の家屋も其儘希望に應じて賣約し何れも年賦又は月賦拂となすことが自由である。貸家は重もに普通の日本式建築であるが中には改良式のものもあつて外廓は西洋館内部は適當に和洋兩樣の室があつて所謂簡易生活に適するやうになつてゐる。空家は常に甚だ僅少であるが若し希望に適つた家のない時には豫め申込書を提出して置けば空いた時に知らせることになつてゐる。

本社は大阪市東區今橋貳丁目信銀ビルヂング内であるが千里山に出張所があつて日曜大祭日でも休まずに事務を執り且つ住宅地の案内に從事してゐる。案内の爲には出張所に自動車が備へてあつて迅速に住宅地全体を視察することが出來る。

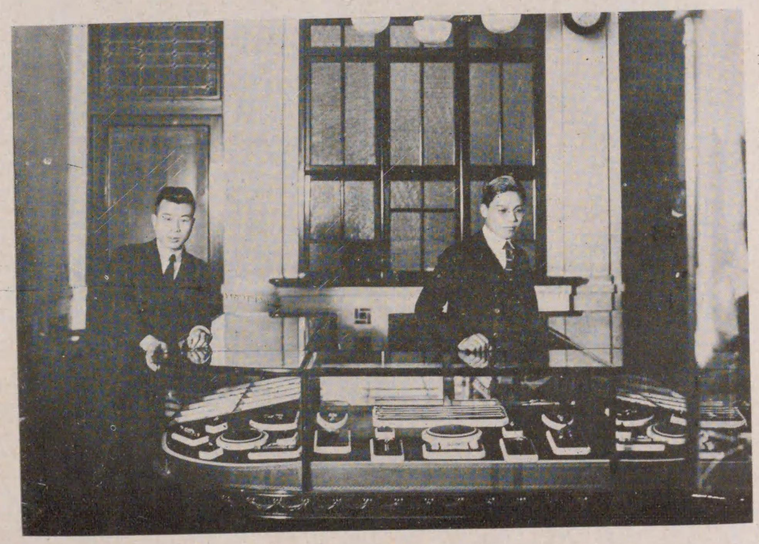
資本金壹千萬圓
創立大正八年
大阪市東區今橋二丁目(信銀ビル四階)
大阪住宅經營株式會社
取締役社長 山岡順太郎
專務取締役 矢野慶太郎
取締役 堀田宗一
取締役 河崎助太郎
取締役 加島安治郎
取締役 田附政次郎
監査役 田所美治
監査役 村木正憲

工事未だ成らざるに盛んに賣約さるゝ照日か
丘北に山あり南へ緩斜の理想的住宅地



大阪住宅經營株式會社水源地
向ふの山の貯水地より此所に水を引きて人口一萬五千
まで殖ゆるも四季溢るゝばかりの良水を各戸に送る

御木本眞珠養殖場（海女作業）



御木本眞珠店
東京、倫敦、紐育
大阪市淡路町堺筋

服部時計店大阪支店
（大阪心齋橋）賣販ト出輸造製屬金貴計時

錫器の陳列

錫半本店全景

美しい錫器

御進物又は記念品に何か
新しいそして都合よい物を御望の時
高尚な氣持のよい茶器、酒器又は
御客間に何か裝飾的な器具が
欲しいと御思召の時には
錫半の錫器を精々御利用下さいませ
錫器は全部体裁のよい桐箱入で御座います
此の表には製品の一部分を掲載したものですから
不明の節は御照會下さいませ。
御紋章、マーク等も綺麗に入れられます

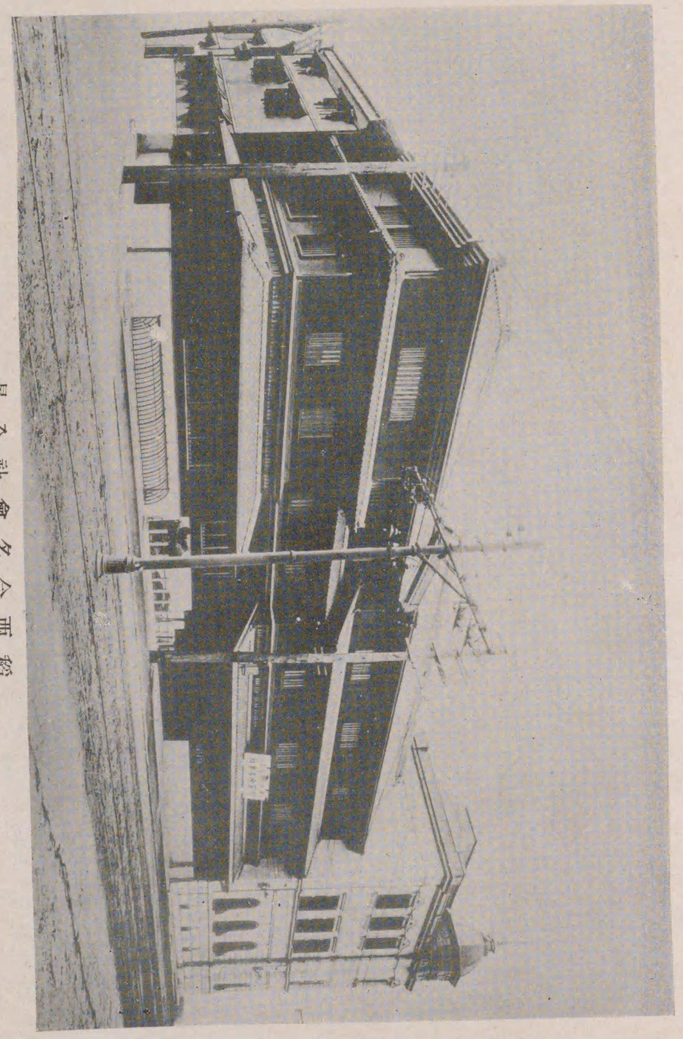
大阪
大半の錫器

大阪市東區南久寶寺町四丁目四一地
（心齋橋よりも五筋北辻角）

錫半本店

中村半兵衛

電話船場四千一百一番千三百三十番・掘貯大阪千三百三十番

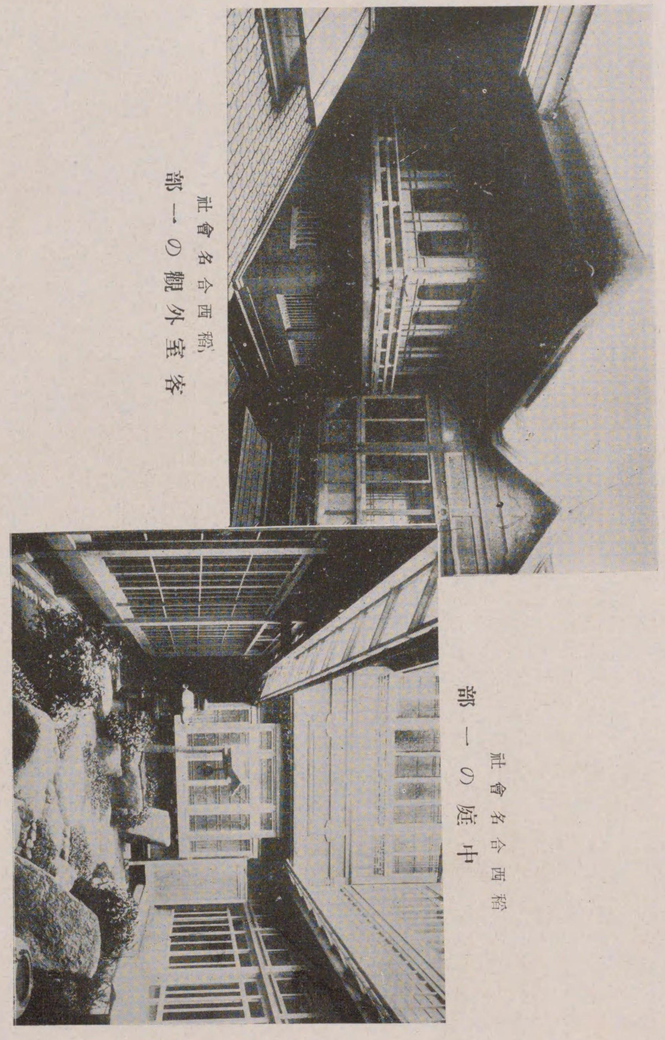


景全社會名合西稻

稻西合名會社沿革

本社の創業は今を去る百有三年前文化十一年三月、滋賀縣神崎郡旭村故稻本利右衞門、同縣蒲生郡市邊村故西村重郎兵衞、兩人の所見相一致し合資營業を圖り、大阪市東區安土町四丁目に地をトし、屋號を稻西屋庄兵衞と稱して店舖を設け、關東織物及麻布類の問屋を開業せしに起因す、爾來逐年業務發展し營業場の狹隘を感ずるに至り、天保元年三月本町二丁目壹番地に移り(現營業所)市內仲買商小賣商及西國各地へ持下りする卸商を顧客とし更に洋反物を販賣すると共に、關西產綿織物を江戶に送り該地の卸業者を得意とし、資金運用の調節を圖りたり、而して當時本社は紀州大納言家の御用達たりし關係を以て、貨物輸送上特殊の便宜を得て、商運著しく進展し經營の基礎益々鞏固を加ふるに至れり、然るに文久年間に迨び尊王攘夷の國論沸騰し、恰も洋反物の取扱ひを爲す者は、洋夷に款を通じ國家を危ふする徒なりと誤解され、浪士の來り迫害を加ふるもの頻々として已まざれば、斷然洋反物の取扱ひを廢止したり其後王政復古に際し騷亂激甚を極め安んじて業務に從ふ能はず、斯業界の動搖甚だしかりしも、漸く難關を切抜け得て明治維新となたり、時代の趨勢に鑑み家憲を增補改訂すると共に大改革を行ひたり、爾來業務健實に商運順調を告げ取引大に擴大し來りたるを以て、明治十九年店舖の增築を企劃し翌二十年竣工と同時に稻西商社と改稱し、同二十六年商法の規定に據り稻西合名會社と改めたり、爾後日淸日露の戰役を經國力の增進と相俟て、業務著しく膨脹進展し營業所の改築を企圖する折柄、明治四十五年市營電鐵本町線敷設のため、店舖の一部を收用せられしを以て、大正元年八月備後町二丁目に假營業所を設け、本町營業所隣地の一部を買收し、同二年十月和洋兩式店舖の新築工事を起し同五年二月工事全く竣り、新築營業所に移轉營業するにれり。

回顧すれば壹百年の星霜は、歲月の長久なるに比すれば、何等特記するに足らざれど、創業以來一定不變の方針と行動の下に奉花秋月を迎送し、業務の進展を觀たりし過去の記錄に徵しては、多少の欣快を禁じ得ざるものあり、特に斯の如き光榮を享受し得たるは、偏に大方諸彦の深厚なる同情の賜に外ならずして、衷心感謝せざるを得ざるなり、本社の營業に就ては今ま新たに縷述する迄もなく、取引先に對し眞摯に誠意を旨として、共昌の主義を重んじ、平素の眷顧に背かざらんことを期するにあり、冀くば倍舊の愛顧を垂れ、永久の輝きある春秋を更に加へしめられんことを



社會名合西稻
部一の觀外室客

社會名合西稻
部一の庭中

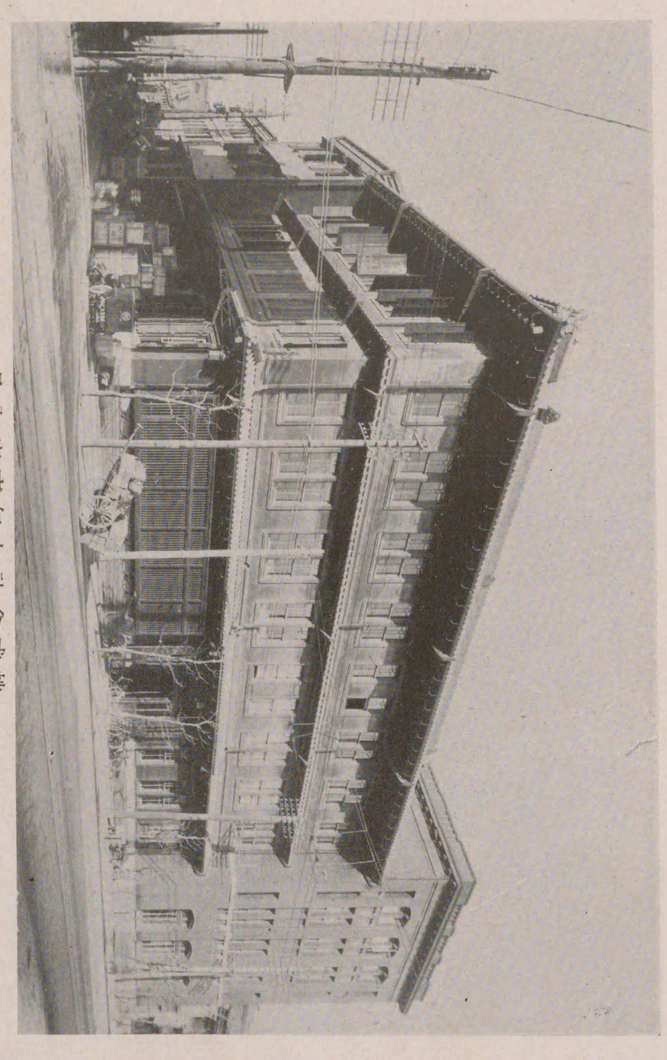
稻西合名會社

營業品目

△桐生織物　△館林織物
△結城紬　△飯能織物
△甲斐絹　△米澤織物
△越後織物　△大島紬絣縞
△東京埼玉織物　△金巾裏地
△尾濃織物　△大和白紺絣
△久留米織物　△岩國縮
△伊勢崎織物　△足利織物
△本場秩父　△八王子織物
△秋田織物　△仙臺袴地
△麻布各種　△琉球反布
△東京染織物　△遠州織紬
△本セル　△伊豫絣
△阿波しぼら　△播州縞

特約販賣品

△米澤、白根澤工場製品各種
△足利、大矢製品各種
△山保毛織株式會社製品
△東京三勝染谷衣地更紗
△日本形染株式會社製品各種
△ニコ〳〵工場製品各種
△名古屋水野工場製浪花紬及木紬
△大和㈢工場製美術白絣
△大和㊟寶珠御殿紺絣
△其他各種



景全店商紅丸社會式株

株式會社 丸紅商店

店舗

本　店　大阪市東區本町貳丁目に在ります。本町二丁目停留場から西約一町電車道に沿ひて、南向に立つ鐵筋コンクリートの四階建の建物であります。總面積壹千百餘坪此の通に於て最も大なる建物であります。

京都支店　京都市下京區室町通四條下ル鶏鉾町にあります。木造二階建でありまして、約七百坪の廣さを持つて居ります。これに、西ノ京染工場が附屬して居ります。

毛織部　本店の隣に西南し中橋筋に沿うて在ります。

沿革

當社は大正十年三月十日の創立でありまして、株式會社伊藤忠商店と、伊藤長兵衛商店との營業全部を、買收したものであります。

△資本金五百萬圓全額拂込の株式會社であります。

△店員の數は、約三百五十名であります。

△あらゆる織物を商つて居りますから三越、大丸、高島屋、白木屋、十合等の大商店をはじめ、全國に數千の得意先を有し、大阪及京都目貫の街に、廣大な店舗を構へ、熟練したる店員が齎圖致して居りますから、賣上高に於ても、同業者中我社の右に出づるものはありさせぬ。

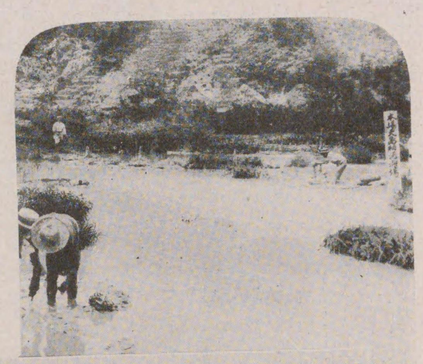
△以上　資本金、店員數、賣上高何れも全國織物卸商中第一位を占めて居るのであります。

營業の內容

本　店　絹織物、綿織物、洋反物、麻布類等の卸賣。

京都支店　京呉服類（西陣織物、縮緬、羽二重、裏絹の類）及絹紡糸の卸賣

毛織部　羅紗、毛斯綸、毛糸等の直輸入、及內地製品の卸賣



本場大嶋絣
原産地染色の實況
（山田合名會社經營場）

山田合名會社大阪支店全景

山田商店

營業品目

琉球織物之部
- ▲本場大島紬
- ▲琉球反布

關東織物之部
- ▲伊勢崎銘仙
- ▲越後織物

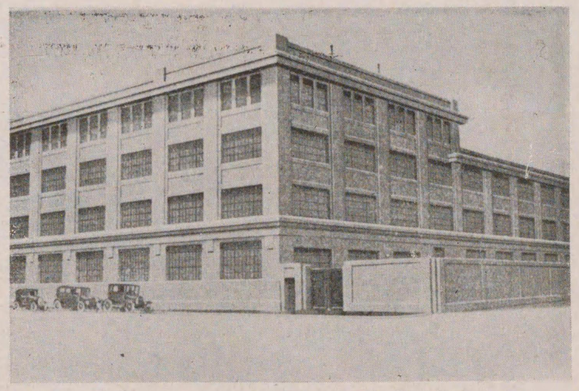
綿布之部
- ▲琉球綿布
- ▲尾濃織物

麻布之部
- ▲宮古紺上布

毛織物之部
- ▲本セール

- ▲鹿兒島紬
- ▲特製結城大島紬
- ▲秩父銘仙
- ▲長井紬
- ▲久留米絣
- ▲館林織物
- ▲八重山白上布
- ▲能登上布
- ▲毛斯絞類
- ▲久米紬
- ▲城紬
- ▲八王子織物
- ▲結城紬
- ▲金松縮
- ▲足利織物
- ▲能登上布
- ▲毛斯友仙
- ▲縞大島紬
- ▲米澤織物
- ▲東京中形
- ▲播州縞
- ▲越後上布

山田商店大阪支店　大阪市東區本町一丁目
山田商店本店仕入部　京都市烏丸通六角南
山田商店東京支店　東京市日本橋區高砂町
山田染織毛織工場　東京府下高田馬場



日本電氣株式會社工場

商品要目〔優良第一主義〕

一、電話機、自働式電話機
（ダイヤル數字盤又は記錄盤附）

電話交換機、自働交換機
（最近輸入品に優るとも劣らざる國産品を産出し大方の需要に應じて居ます）

構內私設電話交換用インターフォン
其他電話用附屬機具部分品一切

二、NE電氣測定器

三、局內ケーブル

四、裝荷線輪（Loading Coil）

五、ラヂオ送受信用機械器具

六、家庭電化機械器具

七、其他の機械器具

（イ）高聲裝置（Public Address System）

（ロ）列車運轉竝電力配給指令用電話裝置（Train Despatcher, Load Despatcher）

（ハ）搬送電話裝置（Carrier Telephone Equipment）

（ニ）電氣聽診機（Stethoscope）

（ホ）聽覺診定機（Audiphone）

（ヘ）電柱引拔用、其他各種ジヤツク等（Simplex Jacks）

（ト）鐵　柱（Bates Steel Pole）

我が社が幾十星霜を經て今日の如き堅實なる地位を築き得たことは最も慶びとする所であります、凡ゝ種子が地に落ち芽が延び根が擴がり堂々たる大木に生ひ立つ迄には幾十年の歳月を要し、斯くして歳月元より一つ所に留らず幾多の春を迎へ夏之に代り秋老ひて冬を呼ぶ、創立以來幾十星霜、且つ將來も此の歴史を繰り返へすでありませう。慘苦曲折消長の歴史の連鎖である新館の一部今茲に竣り其處に幾何かの感慨なきを得ないのであります。

而して雜事の中の雜事と稱せられる自働交換機の產出に成功し產業立國の一助とならしむる事を得たのは國家への貢献であり更に是が我社の所產であらうと考ふる時無限の輝きと誇りとがあるのであります。

昭和二年六月

營業部長　御厨東隣

明治三十二年創立　資本金貳千萬圓

東京市芝區三田四國町二番地

日本電氣株式會社

支社、出張所

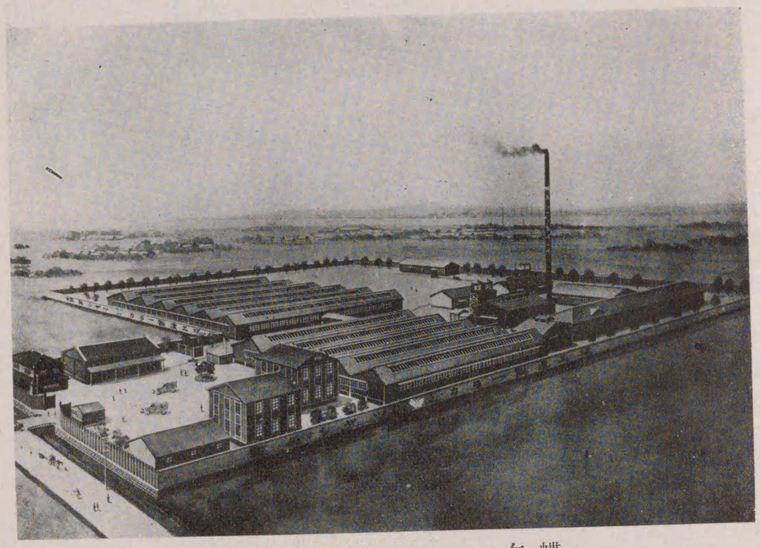
銀座販賣店　東京市京橋區銀座四丁目九
大阪支社　大阪市東區北濱四丁目一六
京城出張所　京城府黃金町二丁目一七五
大連出張所　大連市三河町一七
臺北出張所　臺北市本町一丁目

株式會社　千代田組　大阪支店（大平ビル）

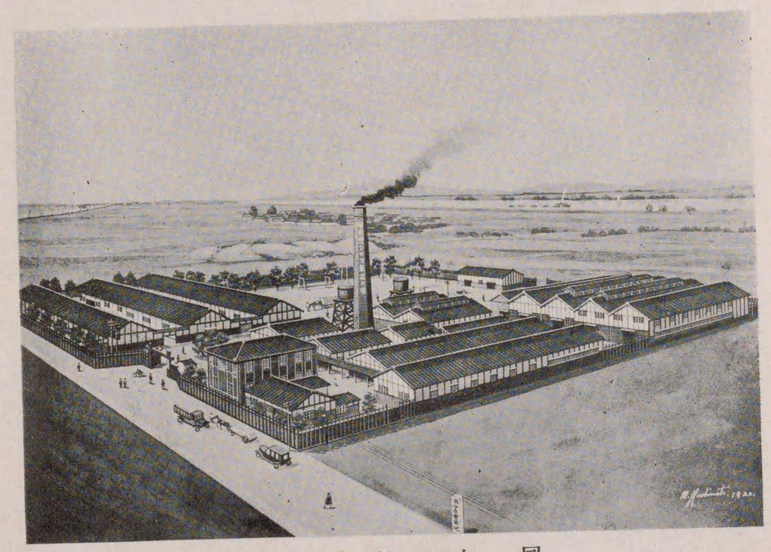
東京、大阪、名古屋
福岡、仙臺、金澤

株式會社千代田組營業課目

芝浦モートル
ラヂオ、電熱器
芝浦電氣扇
電氣諸機械
鐵柱、鐵塔
セメント
ワイヤロープ
マレブル、鑄鋼
機械油、揮發油
金　庫
鐵製書類函
製紙機械用品
輸入雜貨、織物
人絹用パルプ



蝶矢シヤツ　西新井工場



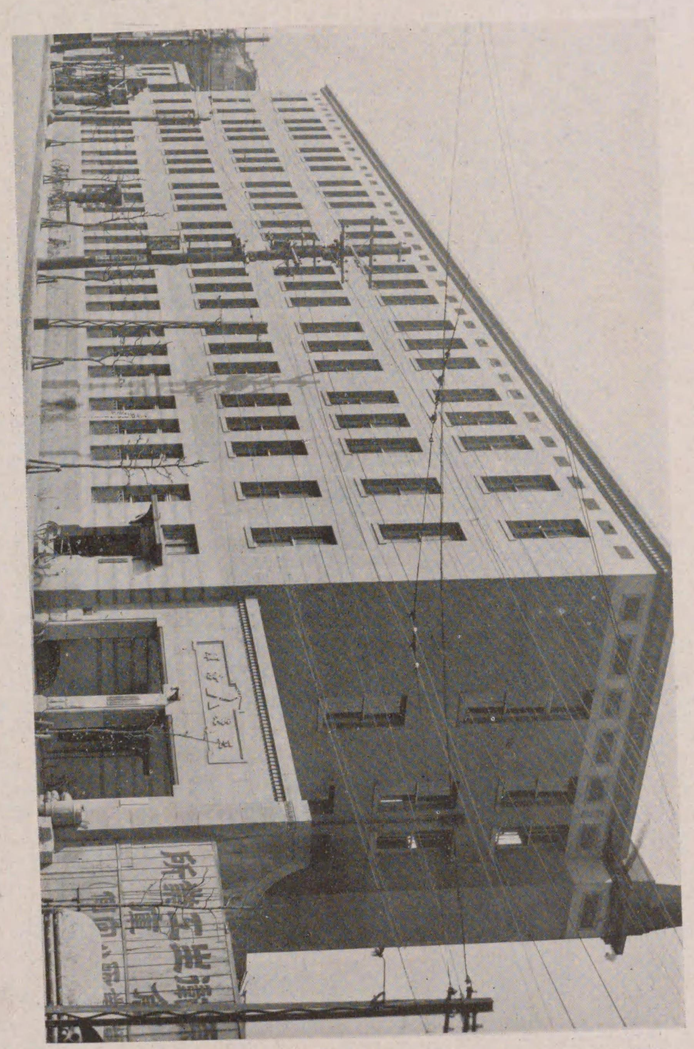
同　上　枚方工場

蝶矢シヤツ製造所の沿革と現狀

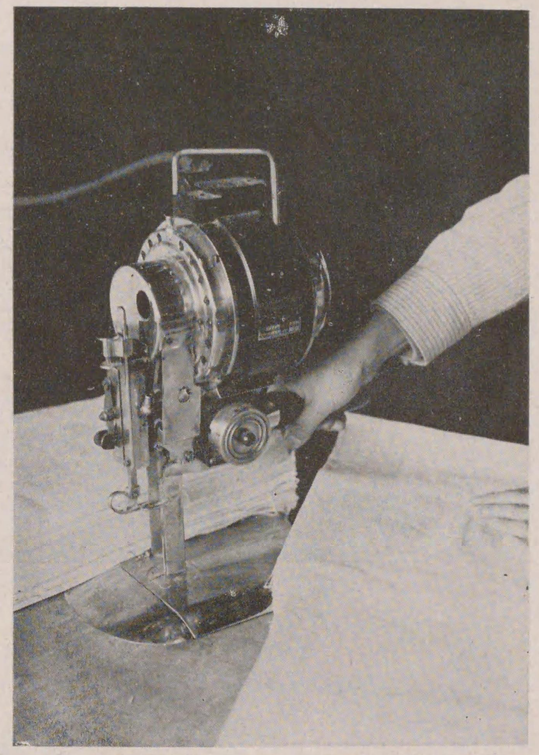
當所の前身株式會社潮谷商會は明治十九年の創立にかゝり爾來シヤツ業界の權威としてその名聲を保持し天津、新嘉坡、バタビヤ、スマラン、スラヴアヤの海外諸都市に支店を有し輸出貿易に從事せしも大正十年野村合名會社直經の下に改名組織して專らワイシヤツ、カラー、アンダーウエアーの製造販賣を業としたのであります。大戰以來本邦諸生産工業は急激なる發達を遂げたるもひとり我シヤツ業界のみはこれに反し尙その製法甚だ幼稚にして不完全なる家庭手工業の範圍を越えない狀態にあつたのであります。

而も洋服着用者日々增加する趨勢著しくなるを惟ひ當所はこゝに於て合理的科學經營の本領を發揮する爲米國紐育トロイ機械工場に最も進歩せる諸機械の供給を仰ぎ東西兩工場內部の設備を完了し熟練なる技工と相俟つて優秀品の多量生産と大量販賣とをモツトーとし製品の改良に事業の擴張に不斷の努力と研究とを盡し來つたのであります。

爾來蝶矢商品は流行の先驅者として斯界の優良品として御需要家の御滿足と御賞讃とを博してゐる次第でございます。



三菱倉庫ビルディング　大阪市北區玉江町二丁目（當大滝商會）



米國紐育トロイ機械工場製造蝶矢シャツ製造機械の一部、即ち一度に百枚の布地を截斷し得る世界最新式截斷器（上）斯かる文明的合理的工程を經て正に仕上を終らんとする蝶矢シャツ製品の一部（下）

ライオン印作業服に就て

當店はライオン印高級作業服並に一般被服類の製造販賣を致して居ります。

此の作業服を製造初めましたのは大正九年でありまして當時日本に於きましては完全なる作業服は一つも有りませんでした極く粗悪な綿布にゾンザイな裁縫をして賣つて居たので御座あます總て家庭的工業で(手内職)ありましたから製品が統一致しませんばかりでなく所謂粗製濫造となつて居たのであります。

そこで歐米に於て完全なる作業服を用ひて居る事を承知して居りました弊店主は此に着眼し苦心努力と大なる犧牲を拂ひ其結果完全無缺なる作業服の製造を初めたので御座いまず現在工場の諸施設は東洋に於ける最大のものでありまして設備は勿論經驗の蓄積、練達の技術大量の製産、原料材料の自給自足、良品の廉賣等他の製造業者の遠く及ざる多くの特長を有して居りまず吾作業服は底級なる類似品と私の店の營業方針は恒に顧客本位として居りまず、さうして如何にすれば中間利益を省き安價に優良なる製品を御需用者に提供して所謂大量製産、大量販賣を行ひ得るかを常に研究して居るのであります。

今日ライオン印が斯く迄一般から信用を得ましたのも他製造業者に先んじて最新の方法と獨特の加工と然して價格に相當する以上の優秀品をのみ製造なしたればこそ市場に其聲價を高める樣になりましたのであります弊店は現在に甘んずる事なく益々社會のため最優良品を最廉價に提供すると云ふ理想と希望を實際化するため奮鬪努力致して居るので御座いまず何卒一般御需用者並に工業主に於かれましても能率增進のため又經濟のため此のライオン印を御愛用あらん事を切に御願申上まず。

營業品目

被服製造部

ライオン印 高級作業服
青年團服 學生服一式
一般被服類請負

金屬品製造部

本城式 寵法 燐寸
眞鍮製莨入筒
アルミニューム製 莨入筒
アルミニューム製 巻莨入筒
眞鍮、アルミニューム製品一式
發火合金 雜貨貿易

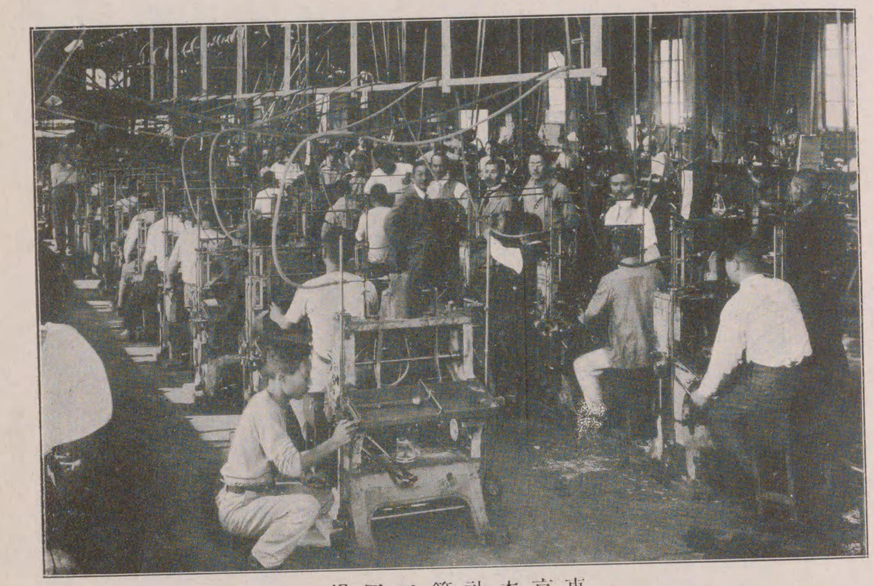
仕上商品の整理(中)

ライオン印高級作業服工場(上)

ライオン作業服營業所 本城眞玄商店

(大阪市東區谷町五丁目)

生産能力 一ヶ年 二十五萬着
原料使用高 服地(綾小倉)五十萬碼
白綿布二十萬碼
縫糸三千五百萬碼
釦及金具類三百五十萬個
鋲リンフ類一千萬個



東京本社第二工場
（邦文モノタイプ鋳製中の實況）

日本タイプライター大阪支店

ユニバーサルタイプキヤスター（活字萬能鑄造機）

▽ユニバーサルタイプキヤスター！小は六ポイント四分より大は初號に至るスペーシ、クワタ迄總て自働にて鑄造及仕上を成し九ポイント活字の鑄造能率一分間九十本以上。舶來鑄造機に比し價格は半分以下にして機能其の他に於て優る事數倍!!

邦文モノタイプ

▽邦文モノタイプ！

一、一人の手で鑄造、仕上、文撰、植字の諸工程を同時に同一場所で完了す。

二、解版並に返字の必要なし。

三、製版上の勞力、時間、費用を半分又はそれ以下に節減す

四、場所を取らぬ。

五、最少限度の地金で循環的に新鑄活字が得られ印刷を鮮銳ならしむる事本機を措いてなし。

六、不足文字の補給を敏速ならしむ。

七、自働鑄造により活字の大量生産をなし得。

邦文タイプライター

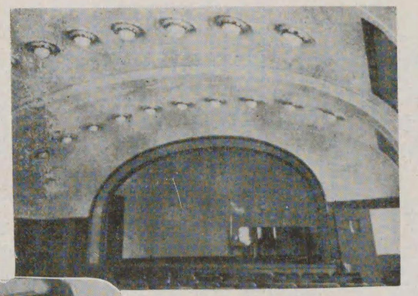
▽邦文タイプライター！發賣以來既に十有餘年の光輝ある歷史と磐石の如き信用を有する本器は日本の文書事務に絕大の貢獻を成したるは既に定評あり姉妹品たる華文打字機と共に今や吾が東洋人ある世界總ての地に普し。

大阪市東區南本町二丁目堺所角
日本タイプライター
株式會社大阪支店
電話船場 二五二番 二五五三番

本社　東京市京橋區南傳馬町一丁目
工場　東京市芝區三田豐岡町一番地
出張所　名古屋・札幌・京城・大連・横濱

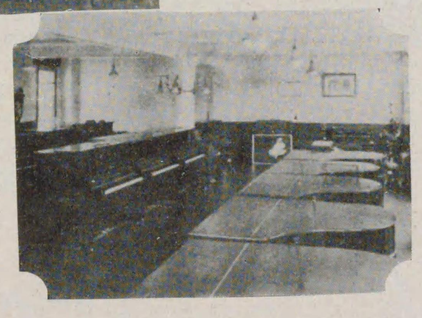
三木樂器店全景

本店　大阪市東區北久寶寺町四丁目（心齋橋通）
支店　神戸市元町三丁目



三木ホール演奏室

三木樂器店一階陳列場



三木樂器店スタインウエーピアノ二階陳列場

弊店は西洋樂器同附屬品並に音樂に關する圖書を販賣仕候、

弊店販賣品は總て低廉を旨とし定價單一主義を取り懸引割引等は絶對に不致候、

御注文は總て前金御送附被下度候代金引換の御注文は勝手ながら御斷申上候、

御注文の節品名、數量、御住所、御姓名等明瞭に御認被下度候

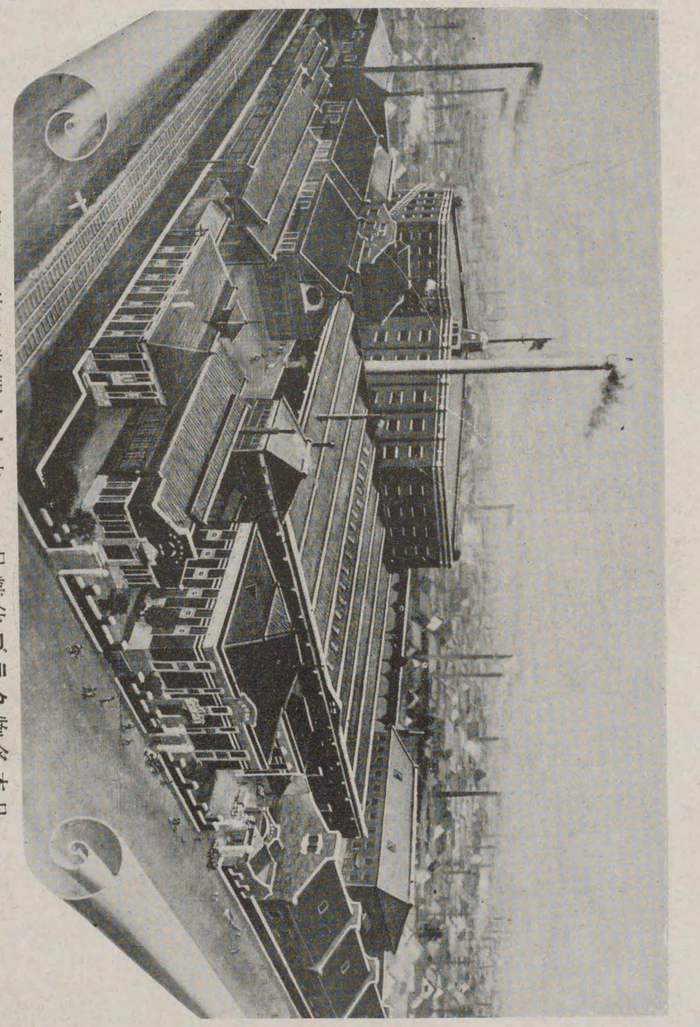
御注文により差上たる物品は返戻交換等一切御斷申上候、

荷造費及運賃は實費申受候、

御送金は銀行、郵便爲替、振替貯金等御便宜の方法にて御送附下され度候（郵便切手代用は御斷申上候）

外國製品は其價格絶對に一定保し難く自然價格の變動は豫め御承知置き願上候、

右御諒承の上御注文被仰付度品質の撰擇は十分責任を以て叮嚀に御取扱可申上候間倍舊の御眷顧奉祈上候、



景全の場工堂陽太山中

品粧化ブラク物名本日

中山太陽堂總覽

クラブ化粧品
双美人牌化粧品
佳人化粧品
美身化粧品
カテイ石鹸
クラブ石鹸
クラブ磨歯刷子
クラブ歯印過酸化水素液
一品印醫療用藥品
一品印化學用藥品
ブラトンインキ
ブラトン萬年筆
ブラトン鉛筆
ブラトンシヤープ鉛筆

中山太陽堂
大阪市浪速區水崎町
電話戎持長三七〇長三七三
戎持長三七一長三七四
振替貯金口座大阪二三四番

ビル（大阪市北區堂ビル一階 電話北五公〇より五公九番）

小賣部（大阪市北區堂ビル一階 電話北五公〇より五公九番）

東京支店
東京市京橋區銀冶橋際
電話銀座長四五四五番
長四五四九番
振替貯金口座東京八三番

奉天出張所 奉天新市街宮島町

太陽公司 上海南京路P四七一號

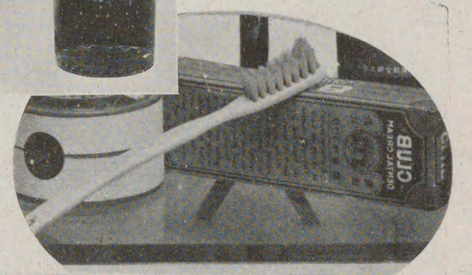
中山化學研究所
中山工業所
大阪市浪速區水崎町
電話戎長三七五番

中山太陽堂文具部
大阪市浪速區水崎町
東京市京橋區銀冶橋際

中山文化研究所
大阪市北區堂ビル五階
電話北三〇一五公〇より五公九番

婦人の美化！　其使命のもとに絶へず研究改良され常に日本婦人の皮質に適合すべく作り出さるゝクラブ化粧品の一例

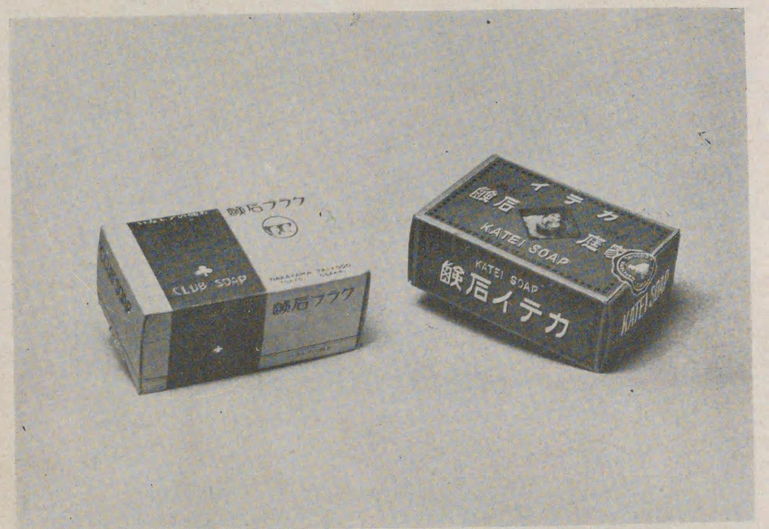
一、クラブキニーネ
一、クラブアブリランチン
一、クラブベーラム



一、クラブハミガキ
一、クラブ歯ブラシ

一、クラブ白粉

（中山太陽堂製品）



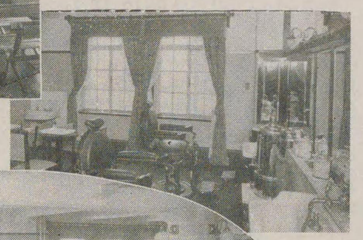
鹼石**クラク**　鹼石**イテカ**　料洗化美膚皮的理合

（中山太陽堂製品）

（下粉白）み**ぼつクラク**　ムリーク紅口**クラク**

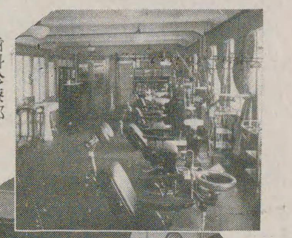
（上　同）

講演室

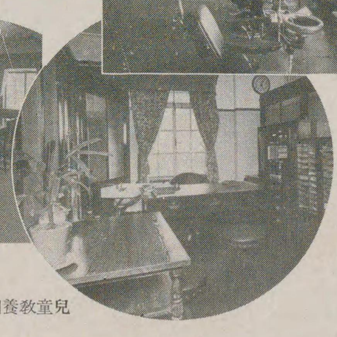


クラブ美粧院　談話室

美容皮膚科診療部



齒科診療部



會議室

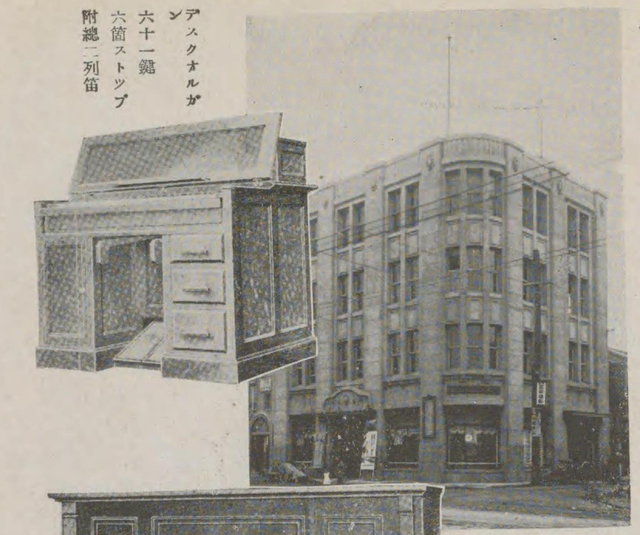
兒童教養相談部

中山文化研究所

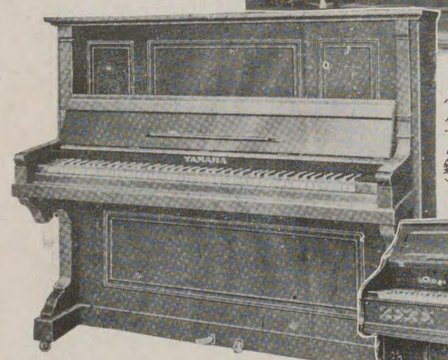
大大阪の文化に貢献しつゝあるる

北區堂島堂ビル五階

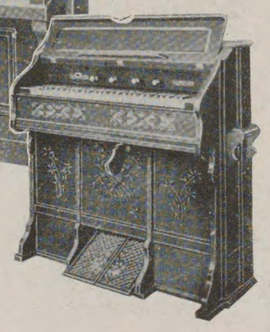
日本樂器製造株式會社は東洋に於ける唯一のピアノ製造工場で三十年間の歴史を有し其製造する山葉ピアノ竝に山葉オルガンは今や世界的の地歩を占むるに至りました。殊に一昨年末來獨逸のベヒシュタインピアノ會社の技術監督として有名なりしエールシュレーゲル氏を傭聘して其絶大なる指導監督の下に着々品質の改善に苦心努力して居りましたが其成果は漸く現はれて今や歐米一流品に比して何れの點に於ても遜色がないと斷言し得る優良堅牢なるピアノを至廉の價格で御提供出來ることになりました。



デスクオルガン
六十一鍵
六箇ストップ
附總二列笛



堅形第三號
山葉ピアノ
七オクテーブ四分ノ一（八十八鍵）
七オクテーブ四分ノ一（八十八鍵）



第六號山葉オルガン
六十一鍵　保險九ヶ年
四箇ストップ　高音中音部二列笛

日本樂器製造株式會社

資本金四百萬圓

本社及工場　濱松市中澤町
分工場　横濱市菅木町字鶴屋
東京支店　東京市京橋區竹川町
大阪支店　大阪市西區北堀江上通一丁目
出張所及賣店　東京、大阪、横濱、濱松、名古屋、神戸、福岡、臺北、大連、

製造種目

山葉ピアノ。山葉オルガン。蝶印ハーモニカ。ベニア板。木工品家具。飛行機用プロペラー其他。

證明書（譯文）

予はエールシュレーゲル君の監督の下に日本樂器製造株式會社に於て製せるグランドピアノを親しく試驗し該ピアノは此大さのピアノとして從來市場に現はれたる凡てのものに優れりと全く自由に斷言して憚からず該ピアノは其音色の美なる事完璧なり而して如此小型の中よりかくも豐富なる音量の出づる事は驚異に値す予は此の傑作品を謳歌し且會社のピアノ製作技術の最高奉仕に對し心よりの祝福を表するものなり

於　東京
一九二七年七月九日
レオニイド・コハンスキー
（東京音樂學校教授）

合資會社 灘萬北濱本店

大阪市東區北濱二丁目一九番地（創業明治三十五年）

（灘萬食料品製造工場　北區梅ノ上町）（信濃橋支店　西區信濃橋日清ビル一階）（上六支店　東區大軌電車前）

一階―和洋食料品一般

二階―和洋支那料理
大衆食堂
（チップ全廢）

三階―佛蘭西料理
御定食々堂

四階　御宴會場

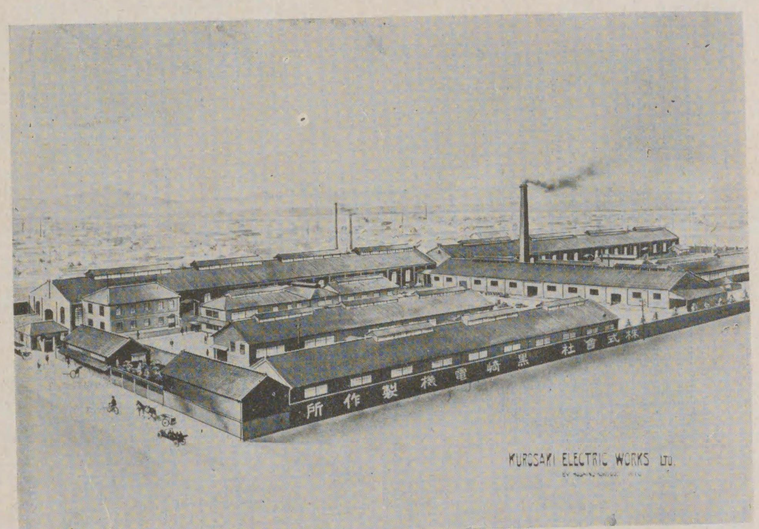
五階―各種催物
會場

宮内省御用達
直輸入卸小賣

株式會社 明治屋大阪支店

和洋酒、食料品、菓子類、洋食器

建築樣式は近世ルネツサンス式とす、
本建築は大阪市東區南本町二丁目十八番地にありて市の中央に位し本町、二丁目電車停留所交叉點に近く交通便利の地に在り、
大正十二年八月六日、竣功大正十三年十一月三十日、
地階附八階建別に一部屋階を有す、
一六六坪二三、總延坪一二〇二坪九二五、
地盤より軒扶欄上端迄九十四尺、塔屋避雷針尖端迄一百四十尺、
四階・貸事務所金庫、宿直室、女中室
五階・貸事務室、金庫、宿直室、浴室
六階・貸事務室
七階、西洋料理中央亭
屋階、昇降機室、水槽室、換氣扇動力室、
東北面外壁壹階分北木產花崗石七階床迄品川白煉瓦會社製小豆色化粧煉瓦貼
殘部及塔屋人造石洗出塗

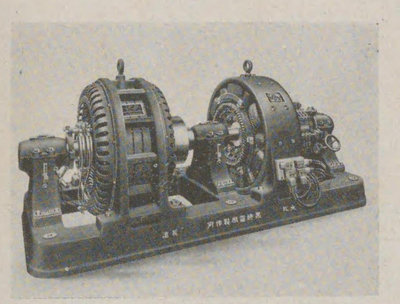


株式會社黒崎電機製作所工場

當社沿革の概要

當製作所は明治三十二年未だ我電業界の搖籃時代に當り市内玉造越中町に於て黒崎電機製作所なるものを創設し專ら直流機の製作を始めたるに創り當時此種の工場としては僅かに大阪電燈株式會社附屬の加島電機工場ありたるのみにして電動力利用の方面も又微々として曉星を算ふるの觀あり、此間に處し經營苦心遂次販路の擴張を圖り其規模漸く狹小を告ぐるに及び明治三十七年東區紀伊國町に新工場を劃して之に移り鋭意製品の改善と供給の圓滑を計り漸次需要家の賞讃を博するに至れり、更に明治四十四年北區佐藤町に第二次の移轉擴張を行ひたるも大正四年の頃より電氣化學工業勃然として興り、從つて大型の電動發電機の需要日に激增し直流機は勿論交流電動機及發電機並配電盤の注文殺到したるため三度工場の狹隘を感じ大正六年十月現在の地に元横濱電線株式會社の工場全部を買收し之に移り頻りに諸般の設備を充實し茲に百年の大計を樹つるを得たるも需要の殺到は延いて資本の增大を要求するに及び大正七年十二月之を株式組織に改め更に新進有爲の人材を聘致し歐米先進國と其巧を競ふに到れり、次いで大正十年海軍省の指定を受くるに際し當局の指示に據り試驗工場並に仕上工場を增設し仝十三年六月隣接地北同心町二丁目五十一番地に捲線小物工場を新築し作業の統一と能率の增進を實現するを得たり。此間大正十年七月七日附を以て海軍省より指令第六四號を以て電氣機械購入指名者としての登錄を得、次いで同十二年八月八幡製鐵所及南滿洲鐵道株式會社よりも電氣機械に對し指名者として登錄を得たり。

而して今や其製品は優秀と納期の敏速とに於て共聲價を昂なるの現況を呈するに至れり。



150キロ同期電動發動機

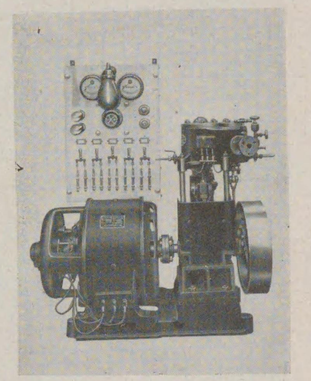
製品概目

- 各種發電機及電動機
- モーターゼネレーター
- 卷筒直結電動機
- 各種配電盤
- 其他電氣工事設計監督

（カタログ進呈）

定指工場

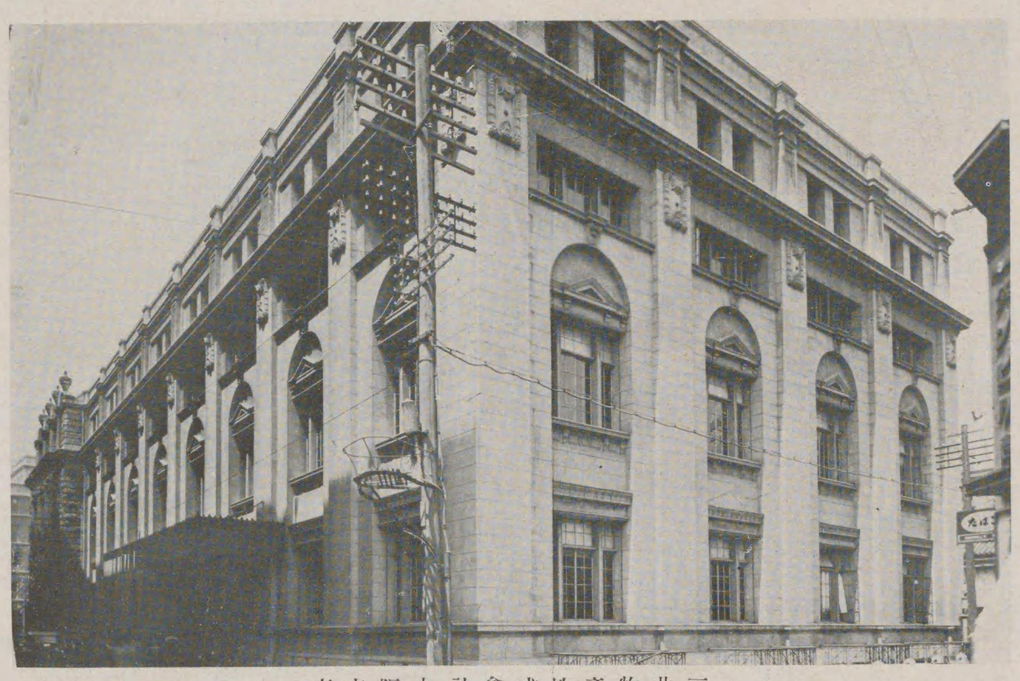
- 八幡製鐵所
- 海軍省
- 南滿洲鐵道會社



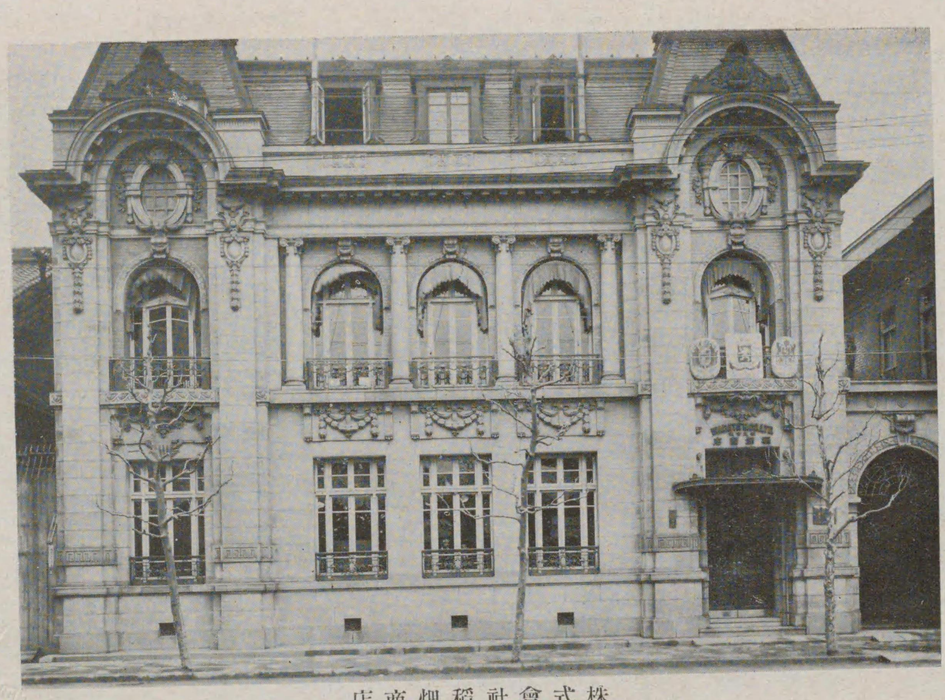
汽機直結直流發電機

株式會社 黒崎電氣製作所

本社	大阪天滿與力町二丁目八番地	電話堀川(35)長 181 182 183
東京出張所	東京市京橋區銀座一丁目二番地	電話京橋(56) 6068 6069



三井物産株式會社大阪支店



株式會社稻畑商店

丸石商會大阪支店

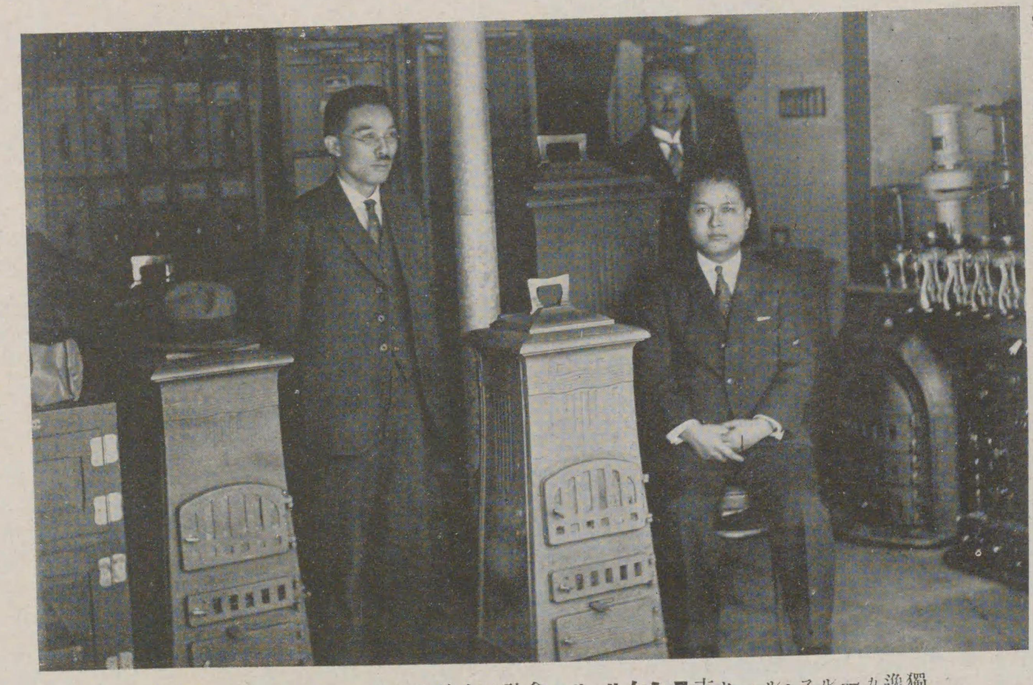
大阪市西區新町

輸出入貿易業自動車轉業
自動車附屬品製造販賣業

世界無比獨逸ユンケルストーブは暖爐界に於ける最高標威として世界到る處名聲を博し我國需要家の愛用を受くるに及んで忽ちにして「**ストーブ**は**ユンケル**に限る」との確乎たる信用を得本邦使用數既に萬を超ゆるの盛況を呈しました。

本品の普及と共に需要家の能率、經濟、衛生に關する觀念に一大進歩を來し在來ストーブでは滿足し切れなくなり自然**ユンケルストーブ**は内地暖爐界に取り一大脅威であり且つ羨望の的となりました、そこで内地暖爐工場は近來續々本品の模造を敢てし粗悪品を製作して國産奬勵の美名を借り需要家各位を惑はせつゝあります是も全く本品が眞に理想的暖爐なるが爲めに外なりません。

國産奬勵は誠に刻下の急務でありますが徒らに形を眞似て質の伴はぬ模造國産品に滿足す可きでないと信じます模造品混亂場裡を超越して名實共に世界無比の獨逸**ユンケルストーブ**を推奬する所以であります、幸に御愛用の程偏に希上ます。

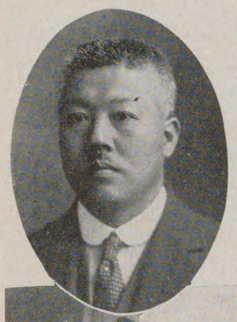


獨逸カールスルーヒ市ユンケル・ル・ー會社日本總代理店

大東貿易商會

（大阪市西區靱北通一丁目　電話土佐㈡六九〇〇番）

東京支店



大阪本店

創業大正六年

營業科目

電氣機械器具材料
諸機械工具及材料
コンダット、チューブ類
機械用油、脂亜各種計器類
工業用薬品並カーバイト
マッダ電球
石渡式ソケット類
内外製電氣アイロン
灌漑用家庭用ポンプ
電灯工事請負設計監督

東京芝浦製作所製品販賣

大阪市東區伏見町四丁目三一

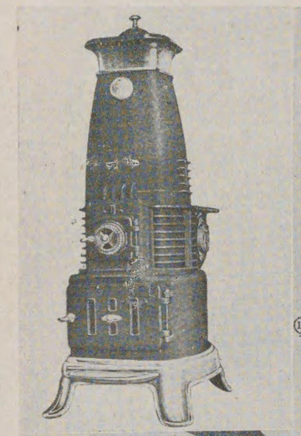
若宮商店

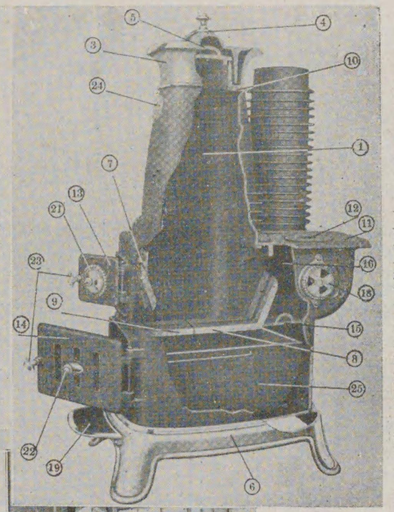
店主 若宮退藏

電話本局 (23) 一二七二番
三六八七番

支店 東京市日本橋區蠣殻町參丁目九番地
電話浜花長二七八六番

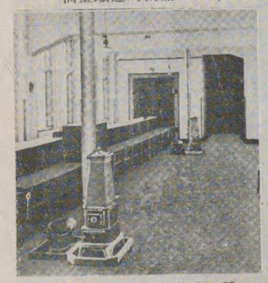
構造簡單
操作輕易



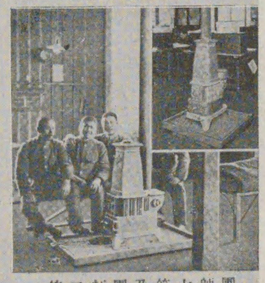


部一ノ品納局道鐵臺仙

樂喜亭旗市樽小



所役區東屋名古



團師七第及團師三第

部分名稱

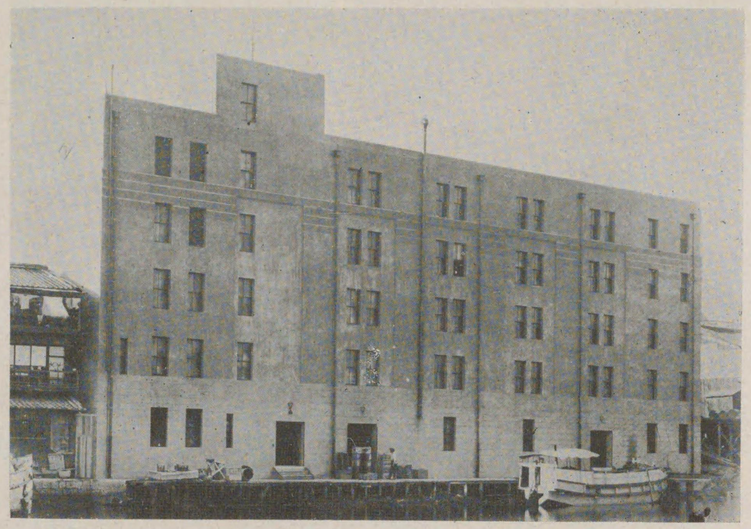
1 胴
2 胴
3 菩
4 菩
5 蓋
6 ル
7 ル
8 輪
9 蓋
10 蓋
11 扉
12 扉
13 蓋
14 筒
15 窓
16 皿
17 シ
18 窓
19 双
20 リ
21 ク
22 爾
23 斗
24 キ
25 沸
26 ト
27 ス
28 ス

笠
上下
丸形
上中敷
楕円形
船形
平蓋
後蓋
後上下
落皿
股横
灰ギ
風無
ヒマ
灰漏デ
湯
煙突
煙ネー
取ツ
レ

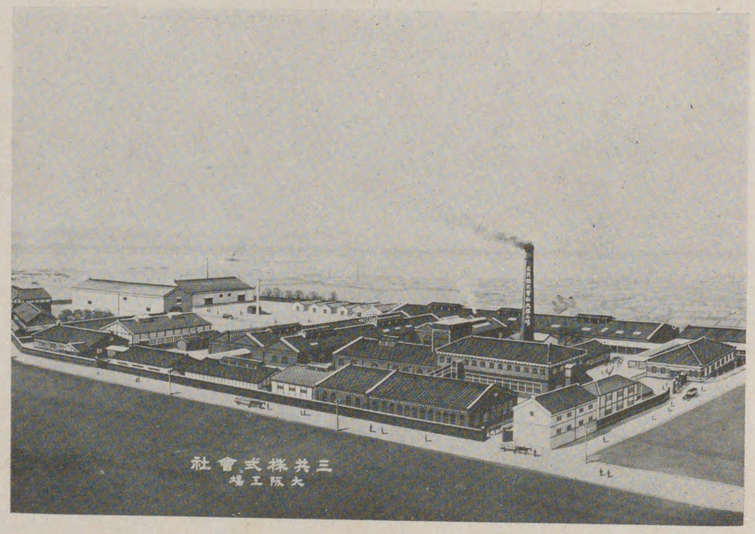
時何であり
で簡單に
刻んで
號が
番
至極
て全て
は全て
替
出來ます。
品には
分
御取
でも

富登壽祿福 特許

伊佛英國基調とし日本人の生活に適合し實用を施し來たる邦人の特許品は單に放出せず燃えたる氣體を包んで室外に導き燃燒の裝置に於て燃燒を通過せしめ燃燒物中の可燃物を充分に燃燒せしむるの構造にして空氣を加へ燃燒を助長し發熱量の多大なる事は勿論煙突に依つて通風を良好なら



三共株式會社大阪支店



三共株式會社

役員

專務取締役		塩原又策
取締役		大橋新太郎
同		植村澄三郎
常務取締役		古田宗二郎
同		福井源次郎
同		湯淺武孫

製藥事業概要

一、藥品及醫療器械部

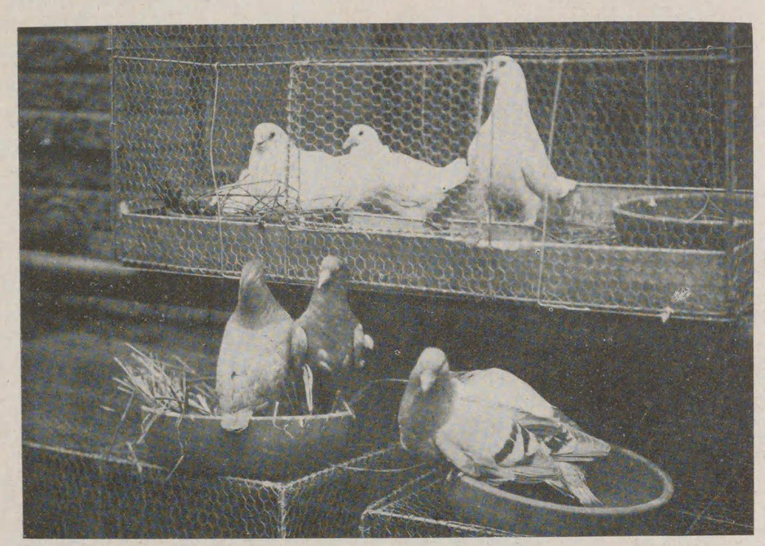
醫療用藥品及衛生材料一般、石鹸及香粧品類、
醫科及理化學器械器具類、X放線裝置一式、
度量衡器及體温計並計量器、工業用醸造用及農業用藥品一般、

一、機械及工業品部

ベークライト外電氣絶緣材料各種、化學工業用機械類、
キシライト油、傳導裝置、
三共は米國ベークライト會社と提携して東京市外向島に三共ベークライト工場を經營す、

所在地

本社	東京市日本橋區室町三丁目
出張所	大阪市東區道修町一丁目
同	臺北市表町一丁目
	120Broadway New York
同品川工場	東京市外品川町北品川二八六
向島工場	同 寺島町馬場二八四
大阪工場	大阪市東淀川區長柄濱通二ノ一六



陳列場　三越呉服店

大阪市東區伏見町二丁目（三越呉服店南角西入）
食用鳩直輸入元　山富商會
電話本局五四六九番

營業品目

各國アスベスト原料各種
電氣絶緣アスベストヤーン各種
電氣絶緣アスベストペーパー各種
工業用藥品用アスベスト各種
蒸氣機關用アスベスト製品各種
建築用アスベスト材料各種
各種ヂョイントパッキング類
其他アスベスト製品一切

在庫豊富

加奈陀ベルスアスベスト礦山日本總代理店
獨逸アスベスト工場日本總代理店
獨逸デンサリツト會社日本總代理店
英國ブリチツシュアスベスト會社日本總代理店
英國ターナーアスベスト會社特約店

石綿類直輸入商

攝津アスベスト株式會社

大阪市東區今橋二丁目一九（神田ビル內）
電話本局（23）四二九七番
四七三〇番

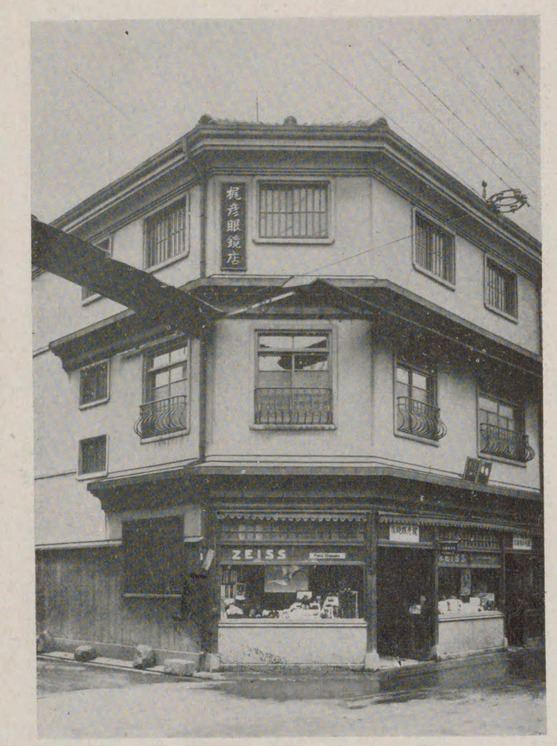
食用鳩の種鳩御撰擇に就て

（山富商會營業支配人　講演の一節）

近時食用鳩の飼育が大分吾國でも盛大にたつて來ました事は確かに我國産業の上から見ても決して惡くない事と思ひますが未だ歐米などに比しますと食用鳩その者に對いての御理解のない御方が多いので只今の處ほんの一部の御方に過ぎません。

而し此飼育が利殖の上からも吾が國の投機的小鳥飼育などゝ趣を異にして一般農家のみならず總ての人の副業としても最も眞面目に確收され永久に得られるといふ仕事でありますので將來は當然吾が國に食用鳩が一般鷄を養ふやふに飼はれて來ると思ひますそして吾國の氣候風土が飼育上最適でありますに於ては!!!

處が此處に特に皆樣に御注意と是非實行して戴き度い事がありますそれは外でもありません、私の題目に揭げた種鳩の御撰擇であります何は兎に角先ず米國の事情から御談し致しませんと御わかりでないと思ひますが米國のサンフランシスコやシカゴ、シヤートルなどには此の食用鳩を賣買する市場や且つオールセールデイーラーといつて日本で言ふ問屋さんが居ります、私始め此所に向つて注文を發したのであります、といひますのはカリフオルニヤ、ローザンゼルスなどの養鳩所へ直接注文を發しますと、どうも此の問屋さん連よりも値も高い事を返答して參ります、それで先ず第一着に三越の御用を賜つて八階賣場に於て私自身が御客樣に說明して販賣して暫時其の成績を見ますと非常に成績の好いものと惡いものとがあつて段々と販賣數が增加する毎に御客樣の方よりの御小言を增して來たのであります。其間私はこの養鳩所直接に注文して値が高い事をいつて來る疑問を解きたいと種々米國の內情を探査しました。すると何處の商人も同じ事米國の鳩問屋さん達は各養鳩所や飼育場に向つて鳩を持つて來らせて日本の注文のとつて居つて日本から注文が行くと問屋さんは各所の養鳩所や飼育場に向つて鳩を持つて來らせて日本の注文の間に合せる、だから敏速であり値は安いが種鳩が一定してない。一回の注文の中にも色々のを混合して來る、こんな狀態だからどうしても種鳩に不同があつたのであります止むなく私は米國の知人や又は日本在住の米人などに色々と相談して有名な養鳩所四ケ所位に直接交涉を開始して少々値は高くとも一定した筋のわかつた種鳩を手に入れる事を腐心した結果、漸く養鳩所直接に生後六ケ月より一ケ年迄の若鳥にして確實に產卵する一定の種鳩を手に入れる事が出來ました。是は恐らく誰が何と申しても日本では弊商會だけが實行出來た事で殊に頃日の廣告など見ますと直輸入などの看板ある者の中にて甚だいかがわしひ輸入屋の手からわかちもらつた鳩を直輸入の名にかくれ一販賣して居る人も多數のやうです御注意が肝要と思ひます。



大阪市北區天神橋筋一丁目

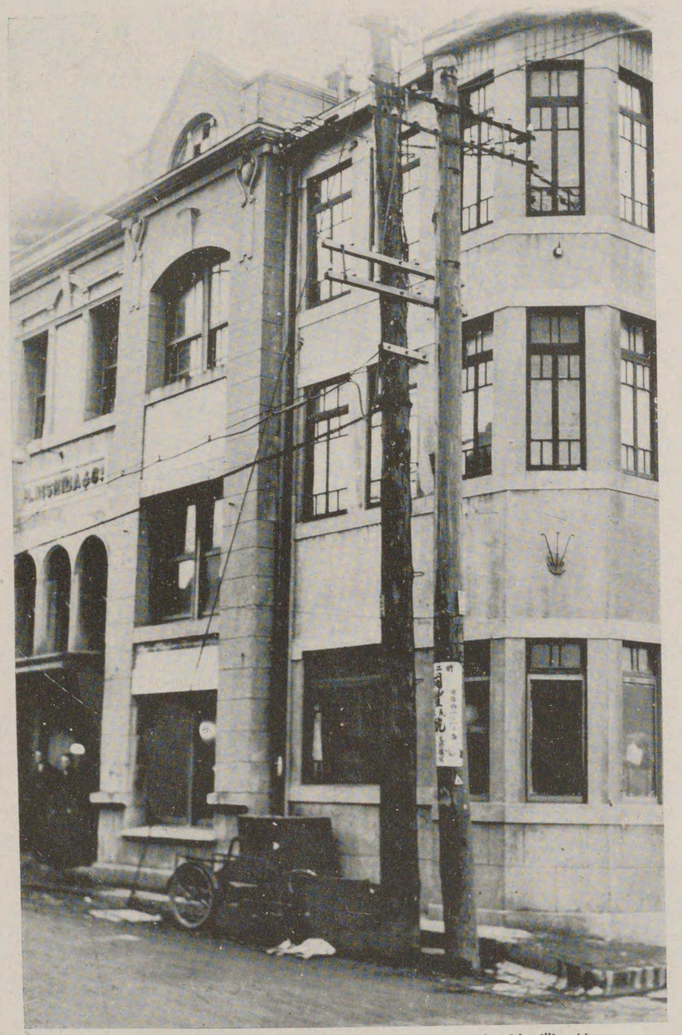
眼鏡直輸入卸小賣　梶彦眼鏡店全景

同店は大阪北部の繁昌地帶天神橋筋一丁目に於て眼鏡に關する一切の業務を經營し其古き歷史は大大阪文化發達の過去に伴ひ經營の誠實と共信用は一般周知の事實にして茲に大阪著名商店の一として紹介する所以なり。

店主梶彦兵衛氏は武士的タイプにして而も英國式紳士たり、氏が大阪市の商工業發達に貢獻なし來りたる事も亦著名の事蹟に屬す長きに亘り大阪商工會議所議員を始め其他公私の事業に盡力せられ興望頗る篤し。

西田金庫衡器製造所

當所は比較的計量思想の幼稚なる明治三十年に早くも衡器製作に従事し以來孔々として研究を重ね器物の改善に改善を加へ斯界に盡瘁し來りたるを以て今や西田製計量器の眞價は内外に認められ信任を得るに至れり時恰も世界の大勢に順應し我が國の度量衡法は改訂され「メートル」法專用に加ふるに規格を統一し愈々計量の基準は確立し斯界に一新紀元をなせり凡文化の趨勢は計量思想の普及如何により消長を來し延ては國運の發揚商工業の進展に大なる關係あるは何人も熟知の事實なり茲に於て當所は新法規施行さるゝに及び面目を一新し益々優秀なる衡器の提供に獻身的努力を爲し以て時代の要求に副はんことを期しつゝあり。



營業科目
金庫衡器●鐵扉鐵窓
マンホール●起重機及建築金物

西田金庫衡器製造所
大阪市西區本田町通一丁目一〇番地
電話西七三一四七三番振替口座大阪二一〇八番

森永製菓株式會社塚口工場

森永ビスケット包裝實況の一部

森永製菓株式會社

（資本金　壹千五百萬圓）

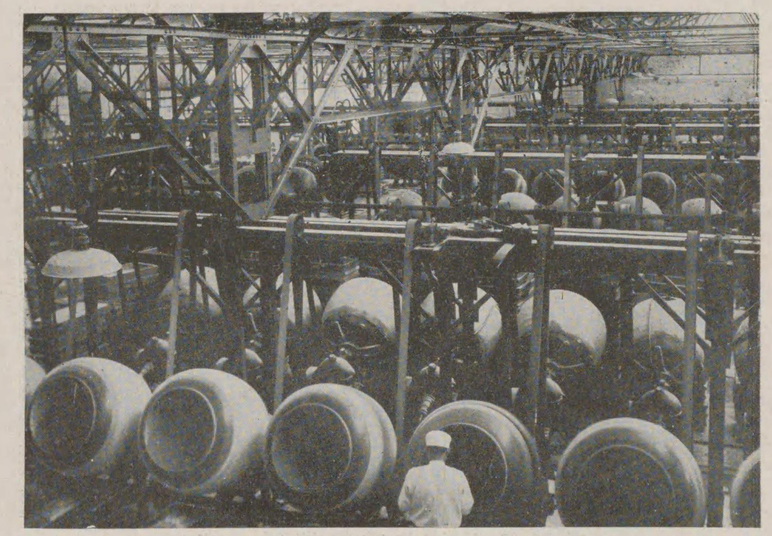
本店　東京市芝區日町一丁目

出張所　大阪市北區曾根崎上一丁目太平ビルデイング内、ジヤバ、スラバヤ

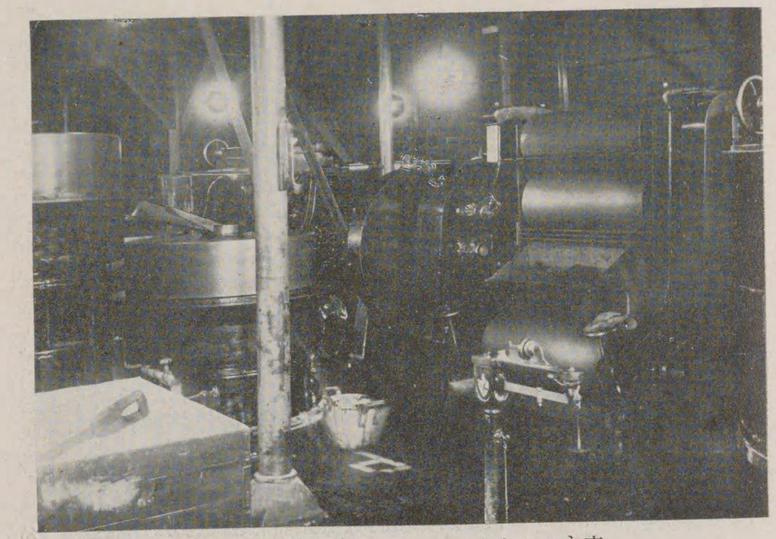
工場　東京、鶴見、堺口、沼津、三島、福崎、伊萬里、空知、野付牛

沿革概要

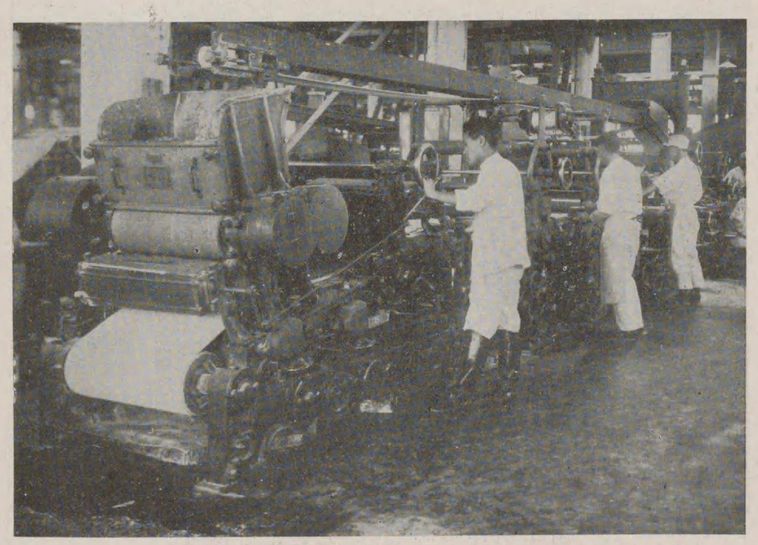
森永製菓會社は現社長森永太一郎氏の個人經營にかゝる即ち明治廿一年米國に渡航し洋菓子一般の技術を研究修得して歸朝。仝三十二年東京市赤阪區溜池町に二坪の小工場を設け製造販賣に從事す之同社の濫觴にして仝四十三年始めて資本金三十萬圓の株式組織に變更爾後增資を行ふ事前後七回遂に現在資本金一千五百萬圓に達せり創設以來實に二十有八年の閲歷にして販路は遠く支那滿洲南洋印度南米に延び製品は菓子乳製品製茶の一切に及へり。



森永掛物製造實況の一部　（ズンピーリセ）



森永ミルクチヨコレート製造實況の一部



森永ビスケット製造實況の一部

森永ルメラヤキクルミ製造實況の一部

株式會社三越大阪支店

高島屋呉服店全景

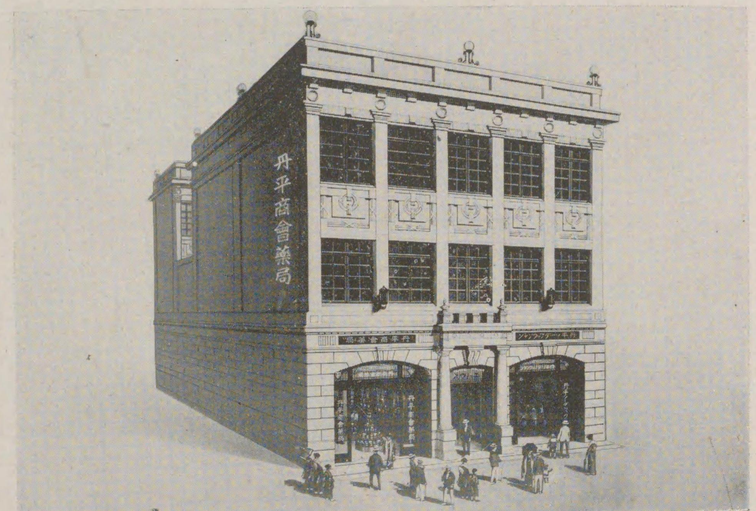
部品料食内店上同

丹平商會

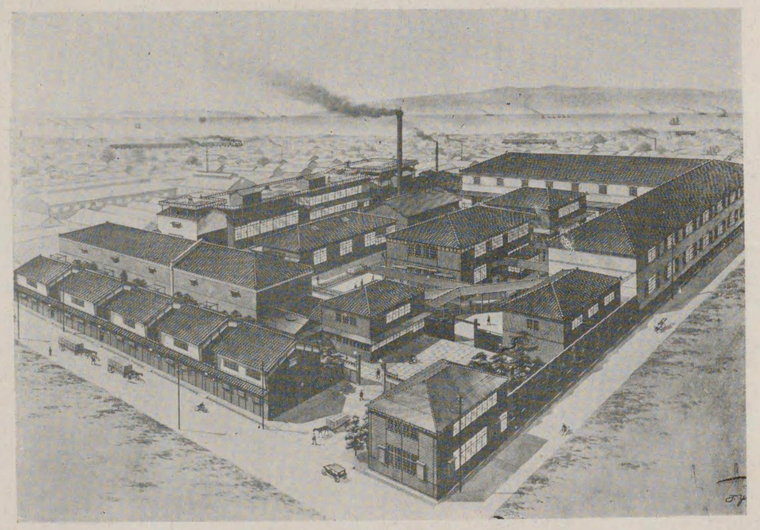
沿革

當商會は元玉林堂と稱し大阪市南區心齋橋筋二丁目に於て數代足袋商竝に賣藥營業をなす明治二十七年丹平商會と改稱し健腦丸を創製發賣、爾後年々擴張し同三十五年平野町に賣藥卸部を設置し丹平商會分店と稱す同四十年東京支店を開設し同四十四年新に化粧品部を設け染毛劑ナイスを發賣し大正五年ツバメ化粧品類を繼承發賣大正三年今宮町に製藥工場を設け爾來大に製産能率を增加せしが大正八年本店は類燒の厄に遭ひ現營業所に移轉せり大正十三年舊本店燒跡に鐵筋洋館を新築し其內部に藥局飲料部、美粧部、診療所を經營文化的設備を施し社會公衆の利便に資せり大正十四年新藥部を置き皮膚病藥「アスター」を發賣す當商會製造品種は目下健腦丸を始めとし十六方の賣藥新藥アスター、染毛劑ナイス、ツバメ化粧品を製造販賣せり、其の年産額數百萬圓を算し販路は遠く南北米、露西亞、滿洲、印度、支那、南洋方面に及び年々輸出額の增加を見るに至る。

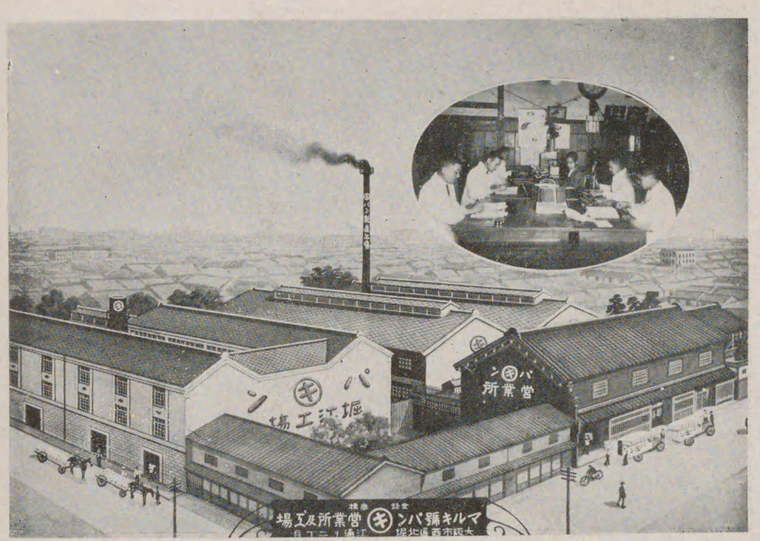
本店　大阪市南區順慶町　丹平商會藥房
大阪市東區平野町　丹平商會分店
東京日本橋通塩町　丹平商會支店
大阪市南區心齋橋　丹平商會藥局



丹平商會藥局



同上製藥工場



同社工場及營業所

於米國シカゴ市パン同業組合に出席せる同社社長夫妻

（×印は社長及令夫人）

マルキ號株式會社　取締役社長

水谷政太郎氏

マルキ號株式會社沿革

（一）明治三十八年八月二十四日大阪市東區北久寶寺町一丁目七番地に初めてパン製造販賣店を開設せり。

（二）仝四十三年三月工場狹隘の爲め生產不足を來すに至り仝市東區北久太郎町一丁目農人橋西詰に於て菓子パン及び食パン製造工場を設置せり。

（三）仝四十五年十月支店を江戸堀北通り貳丁目に設置すれ支店の第一歩なり續て南區道頓堀及び東區玉造町に增設せり。

（四）大正四年三月當本店び工場を西區長堀北通一丁目四番地に移し事業を擴張し順次支店を增設せり。

（五）大正九年四月西區北堀江通二丁目三番地に現在の工場及び營業所を新設し更に支店を增加し現在三十五ケ所を算するに至る。

（六）大正十年十二月露西亞及び支那各地に於ける製パン業界を視察せり。

（七）大正十三年一月歐米各國製パン界視察研究の目的を以て店主夫妻世界漫遊の途に就き約八ケ月歐米各地の同業者を歷訪し大に得る所あり仝年八月歸朝す。

（八）大正十四年二月從來個人經營なりしマルキ號商店を會社組織に變更し以・商號をマルキ號株式會社と改稱したり。

（九）大正十四年四月以來パン常食宣傳の目的を以て大阪市內に散在せる支店にミルクホールを設けパン食實費提供を開始し大方諸彦の賞讃を博つゝあり現在「ミルクホール」設置店は十八ケ所に及び目標とし又は標語として㊀パンとチヽを召上れ」即ち之なり。

（十）大正十四年十二月製パン事業研究の爲め本社取締役兼工場長水谷清重を米國に留學せしめ仝國シカゴ市アメリカインスチユトスク！ル（製パン學校）に入學し翌十九年十一月同校卒業歸朝し爾來工場の組織及び製パン技術上に一大改良を加へ同時にマルキパン化學研究室を設置す。

（十一）昭和二年一月本社數年の懸案たりしパン種の研究中遂に之を完成なし然して之に「マルキコンプレスイースト」と命名し大いに斯界に稗益する所あり。

（十二）昭和二年七月本社々長北米合衆國仝米パン大會開催に當り特に招聘を受け再度渡米す同時に同會理事長ゼー、エム、リビングストン氏の撰擇に依り現代式優秀なる機械を購入し本社工場に備へ品質及生產能率の向上を科學的に完全にせり。

シカゴに於ける各國製パン代表會議より歸りて

マルキ號パン會社社長　水谷政太郎

シカゴに於ける各國製パン代表會議は九月二十六、七、八、九日の四日間であつた、集合した人は北米の七ツの組合會會長、全英組合長、カナダ、メキシコ、歐洲、南米等の各國の代表が約六百人であつて、私は東洋改良委員として既に大正十四年に列席し、今回は二度目であつて、先年列席した時には種々と質問を發し大に啓發される事が多かつたが、今回は私の處の工場や製品の寫眞を持參して見せた且つマルキ、コンプレスト、イーストの完成を發表したので、その進歩の著しいのに驚いてゐました。また私の處のパンはもう何處へ出しても恥しくないといふ事の自信を得ました。

この會の組織は、第一に販賣、第二に營業、第三に技術といふ樣な部門に分れてゐるが、今回は主として營業即ち製パンの現代的管理に關して討論されたが、何分にも時間が尠いのと、質問者頗る多かつたので其辯論は制限されたので所期の成績を擧げ得られなかつた。前に揭げた寫眞は各國代表中の幹部ともいふ(寫眞參照)人々が各國から集つたパンの中から自分の最もよいと思ふたパンをとり出して審査した時のもので、各自大に自分の思ふ處を主張いたしました。

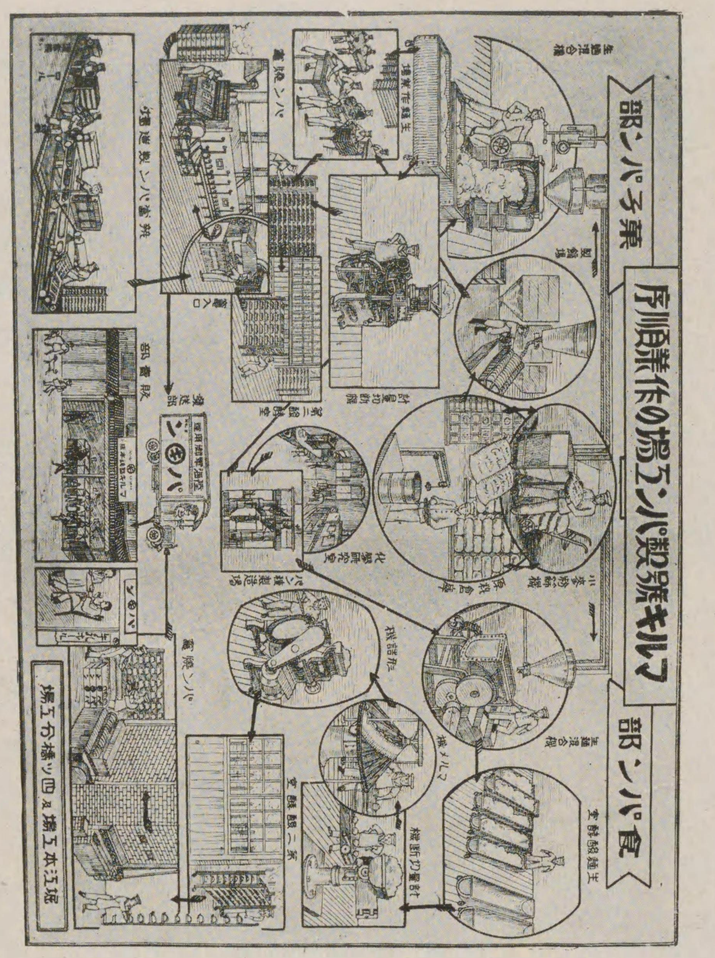
本會議前に開かれた委員會の席上でアメリカでは最近パンの賣れ方が非常に減退した。之は米國として國家の大問題であつた。原因は贅澤になつてパンが高價な食物に置き換へられた故であるが、業者としても如何にパンを喰ふ樣に販賣するかまた米國に小麥を强制的に使用する法律を制定すれば如何といふ議案も出た。どうして多くを賣るかといふ研究項目が出た。日本の水谷にどんな考へがあるかと組合長の問があつたので。私は諸君と根本の起點が違ふ。私は如何にして賣るかといふ事は研究しない、といふと然らば如何するかと重ねての問に、私は常に如何にして多く賣るといふよりも如何にして多くを買ふかといふ消費者の身になつて考へてゐる。故に

衛生に對に生傚す清潔本位東洋一亦歐米--流と比して遜色なし

(部内の場ツ四るせ化電)

同社從業員貳百五十餘名の一部　(A組)

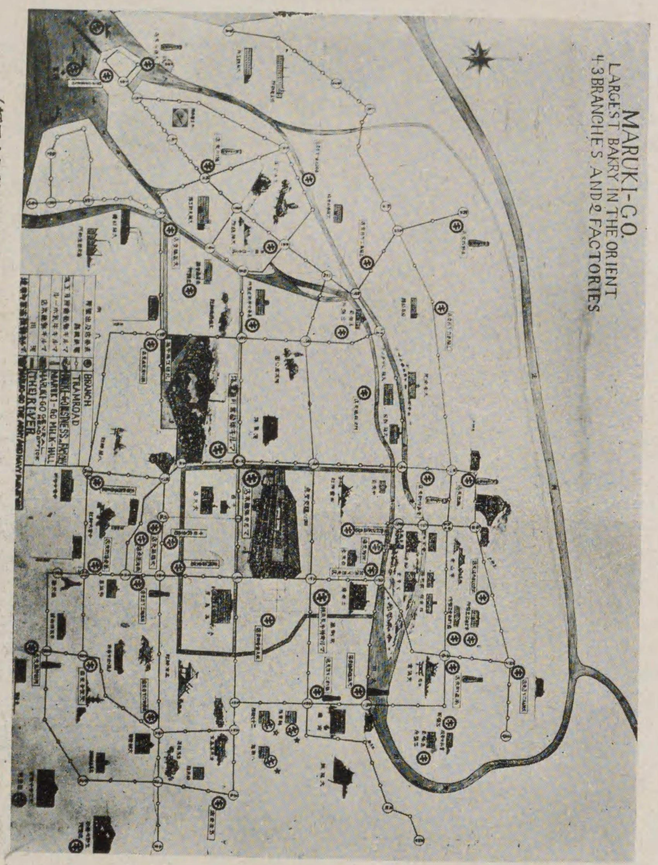
(食料工業に第一義とするは衛生に清潔的統一に生る)



序順の程工及業作の場工社同

年〳〵に賣れる樣になつた。私は米國のパンを見習つたのであるが、今では却つて米國のパンは不味い、それは賣るにのみ努めて技術が進み過ぎ、酵母を多く使用し時間を節約し砂糖や調味品榮養品を入れ過ぎてパンより菓子に近づいたからである、小麥と鹽味のあるパン獨特のモチ味がなくなつた、私は米國の四分一の酵母で、米國が六時間かゝつて仕上るが、私は九時間位で上げる、同じ米國でもシカゴより東部のパンはよく西部の方はうま過ぎる、と說明したので一同は肯きました。

何しろ世界各國のパンが集つてゐて印度やトルコのものもあつたが、一千五百年以前の羅馬に出來たパンがあつた勿論炭化してゐたし、その時代に石臼に粉を入れて杵で搗いた土釜に燒いた道具等もあり、現在のでは、私の見る處英獨のパンは堅い、米國のものは概して柔くて、我國の



（軒三十四數所張出及店支營直）　社支及店本ンパキルマる也在散に市全阪大

ものはその中間位であつた。

坐談の際、一體日本の皇室に於せられては、何時頃からパンを御使用になつたかといふ質問があつたが答へられなかつた、また日本の米が不足してゐるからパンを使用するのかといふ問もあつた、私は飢じい腹は見せられぬので、いや我國では北海道朝鮮などから米が盛に出來し、今年の如きは豐年で剩る位であるパンを喰ふのは米不足からではないと云ふと、然らば加洲米がドン〳〵行くのは何の爲かと云ふから、それは飯にするのでなく菓子にしたり、染色工業に使用するので價格が安いから、米國加洲米を輸入するのだと話した。

會議の寫眞が翌日の新聞に出たので私が町へ出ると民衆がミスター水谷と呼びかけて握手する位で大に好感を以つて迎くられました。

完備せる大丸

古い歴史を有する大丸は、二百有餘年の昔寛永三年初代彦右衛門氏の創業せし以來時代の進運とともに、連綿として繁榮の路を辿り、大正新正紀に入つては純然たる百貨店として歐米各國百貨店の長を採り、吾邦傳統的の風習に基き、永年大阪中心の地に奉仕を續けてまゐりましたが、今や擴張の期熟し、愛にグレート大丸として第二の增築工事竣成し、充實せる商品と完備せる諸設備を以て、今後も百貨店としての使命に向つて躍進する覺悟でをります。

設備概要

喫茶店　廣き一階賣場より中央階段を昇れば中二階に出ます。此處には喫茶店の設備があり夏はソーダファウンテン、冬はカフエーとなり、各種飲料の提供が出來ます。

醫務室と休憩室　客の發病にそなへ、應急手當を施し、醫務室は中二階の一部を占め、多くの休憩室が並列し、簡單な應接の用に供せられます休憩室　中二階、三階、四階、五階、六階（貴賓室）の休憩室は各階の東南隅に設けられ、東大阪、生駒山の眺望をほしいまゝにすることが出來ます。

エレヴエーター　オーチス會社製最新式のもので客用六臺、大貨物用一臺、店員用二臺、合計九臺を有し、中央階段兩側各二臺は屋上まで、東北、東南階段前各一臺は六階まで通じ、內部は廣く、氣持のよいエレヴエーターで臺數の多きこと大阪第一になつてをります。

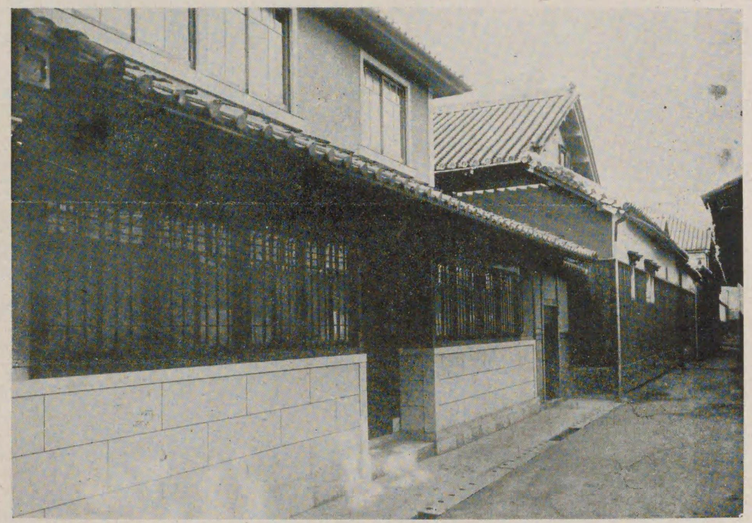
六階ホール　北館六階に設置し、千人を收容し、ステーヂ付の小劇場をなし、天井裏には映寫室を設けホール入口の扉は劇場專用の理想的の廻轉扉とし、ホールを廻つて步廊があり、步廊の外側に集會室、休憩室の設備があり、ステーヂには古代希臘アテネのダンス圖案の美しい緞帳がかゝり氣持の良い觀覽席等百貨店としては理想的なホールであります。

六階大食堂　六階南部の全部を占め、四百人を收容し得食堂窓よりは東大阪生駒、金剛の諸峯を居ながらに見ることが出來ます食堂に附屬して喫煙室の設備もあります。

屋上の設備　屋上庭園を設け、動物園、植物園、休憩場の設備を施し、大大阪は隈なく一望のもとにおさめ得、西北遙かに六甲の秀峯、ちぬの海を隔てゝ淡路島の優姿、東は生駒、信貴の峯々、南して金剛連峯の遠望まで四方の眺めは盡きません。

地階の設備　完備せる市場は地階北館にあり、北側より入る、地階には御携帶品渡場、御買上品渡場、下足、傘置場、御出口等になつてをります。

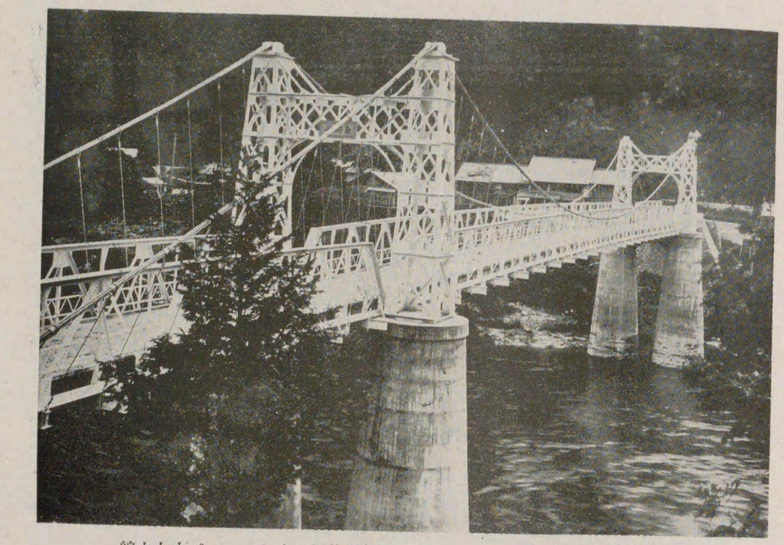
大丸呉服店全景（右）同壹階店內の一部（左）



社會名合林若元造釀(勇忠)酒銘

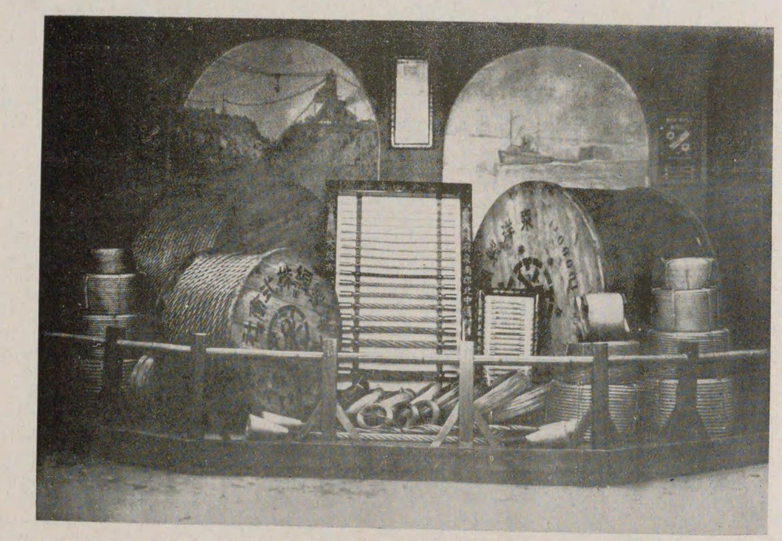
同上　大阪出張所

攝津灘西鄉町
銘酒忠勇釀造發賣元
若林合名會社
電話神戶 葺合四六〇番 御影四六番
大阪西區西長堀南通二丁目
大阪出張所
電話新町一一七番



東洋製鋼株式會社岐阜縣上納
岐阜縣加茂郡白川村白川橋

親線使用ワイヤーロープ十九本線
六ッ撚共心亞鉛鍍金周圍五吋二分
ノー、破斷力壹百噸



同社製品見本陳列の寫眞

ワイヤロープ界の權威東洋製鋼

弊社は本邦に於けるワイヤロープ專門造工場にして工場は所有の敷地一萬九千七百餘坪の中に燒入工場洗滌工場鋼線工場鍍金工場、製綱工場、修繕工場を設け英國より嶄新なる鋼索機械を購入し且つ多年經驗を有する技術者を招聘し鋭意製品の改良進歩に努力し來つたため其の品質優良なるを以て各需要家の深甚なる賞讃を博する樣になり大正九年三月には遞信省指定工場に同十一年二月には海軍省指定工場に同十二年二月には海軍監督官派遣工場の指令に接するの光榮を浴するに至つたのである。

何が故に東洋製綱會社の製品は優良なるか

原料たる「ワイヤロッド」は瑞典及び英米國より輸入し一々顯微鏡に依つて鋼の組成分子を檢査し合格せしものより夫々伸線し又製品の素線も一々其耐張力、捻回、捲解、伸張率等を試驗し少しでも規格に適せないものはドシ〳〵屑線として廢棄する等多大の犧牲を拂つて居る故に製品は此完全無比なる試驗設備に依り合格したもののみであるから「ロープ」の切斷等の心配は少しも要らず安心して使へる譯である。

尚ロイド規格、遞信省規格は勿論諸官廳の規格合格品をも供給する。

製品營業品目

- ワイヤロープ
  - 艦船曳航用、船舶用、深海測量用、漁業用、トロール用、
  - 建築用、飛行機用、エレベーター用、起重機用、
  - 鑛山用、架空索道用、石油鑿井用、釣橋用、其他、
- シージングワイヤ
  - 電鐵架空線支持用、鐵道信號機用、標柵用、
  - 煙突張綱用、其他各種、
  - 四百磅、貳百磅、百七十磅七子撚鋼線（遞信省規格品）
- 鋼線及亞鉛鍍鋼線
  - 自轉車、スポーク用、同サドル用、
  - 農具用、ヘルド用、鋼線其他

海軍監督工場
遞信省指定工場

東洋製綱株式會社

本社工場　大阪府泉南郡北中通村
電話佐野三〇番
營業所　大阪市西區新町通り四丁目
電話新町長八三六番
八三七番

大阪堺筋備後町

株式會社 白木屋

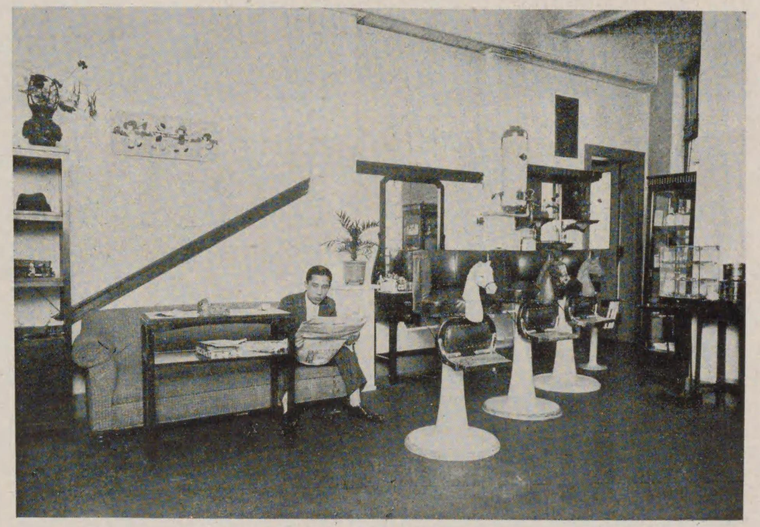
電話 本町 三〇番
代表 五六五番
五八二番
振替口座大阪四三一番

白木屋呉服店の沿革

白木屋呉服店は今を去ること實に二百七十余年の昔寛文二年初代大村彦太郎氏の創業に係り連綿今日に至りました

因に大阪支店の堺筋開業は大正十年十月であります

白木屋賣場



同店四階小供理髪部

（日本に於ける最初の設備にして評判頗る宜し）

大阪名所　あみだ池

大阪名物あわおこし

名産　大賞牌

粟おこし
福おこし　總本店　大黒

大阪あみだ池西門

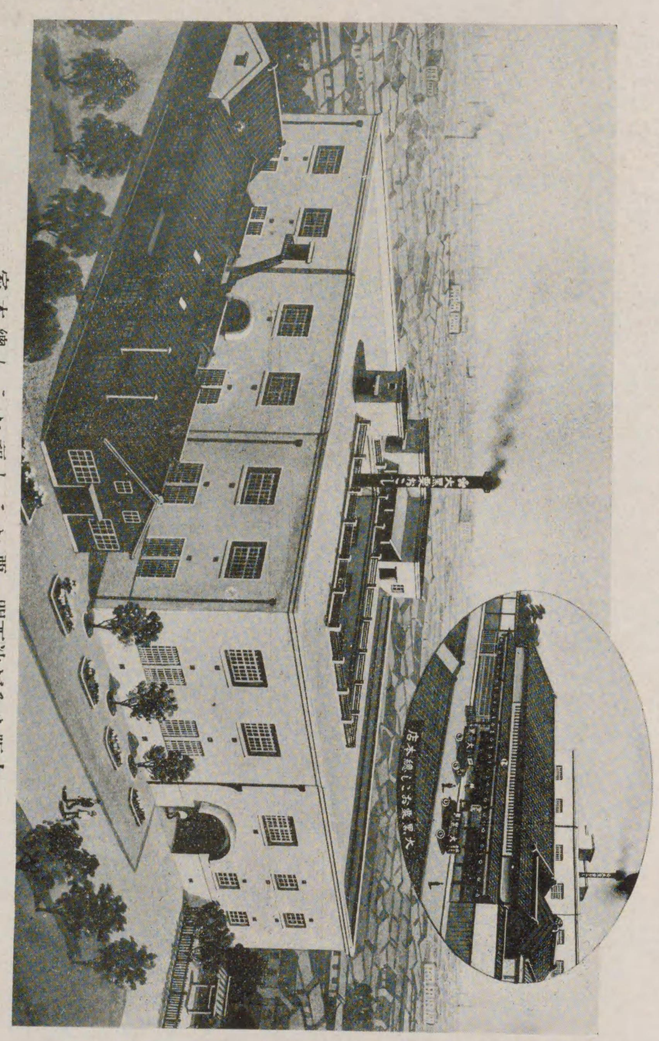
電話新町
特約　二八五四番
二一〇〇六番
二三〇五番
三一六九番

振替口座　大阪四三五番

あみだ池

（蓮池山和光寺）

昔佛教を廢すると云つて物部居守と云ふ人が一光三尊の金佛様をこの池へ捨てた處義光といふ人がこれを助けた遺蹟である御堂の火は昔から一度も消えた事がない善光寺と同様ありがたい遺蹟である。



（場　工　集　及　黒　大）

貝島乾餾株式會社

本邦家庭及び農村燃料の趨勢

現時本邦並に本邦領土内に於て、消費せらるゝ薪材は、年額四十八億貫、此の原材十二億立方尺、又木炭は年額五億貫、此の原材十二億立方尺と稱せらる。

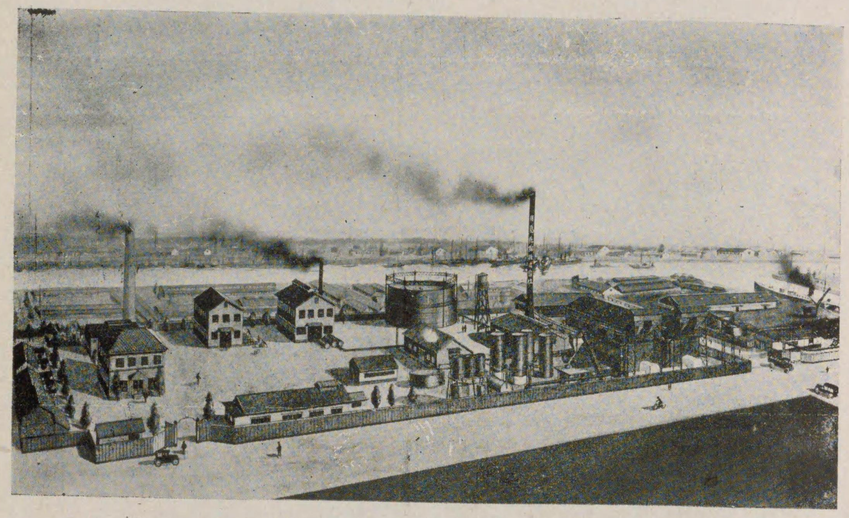
即ち、實に二十二億立方尺の山林が、毎年伐採せらるゝ事となる。然るに我が山林の材積は年々の成長量を見込み五百九十億立方尺に過ぎないと云ふ事だから、現在の伐採量の割合を今後も繼續すれば、我國の山林は今後僅かに二十六年で哀れ禿山となり、其の結果田野は荒廢して風光の明眉は更なり。我國隨一の資源なる水力電氣も出來ない事になり、豐葦原瑞穗の國名は徒らに昔の名殘を止むる事となる、是非何とかせねばならぬ焦眉の重大問題である。

石炭低温乾餾に最適の大浦炭田を所有する貝島家にては上記各家より更に一歩を進めて、家庭及び農家用木炭代用燃料の供給を主要目的として斯業を經營せば假令歐米各國にては成功せずとも、本邦にては有望との見解の下に斯業に着手し、同家にて貝島乾餾會社を創立し、既に同社の第一工場を大阪に設置し目下盛んに操業中との事である。

石炭を原炭のまゝ燃料とする事は經濟上より見て非常なる損失で且つ貴重なる實質の大半は用を爲さずして、徒らに空中に飛散するが。之を適當なる設備の下に低温乾餾に附すれば、原料の石炭は化學的作用を起して。同社の命名せるミクニ炭。瓦斯及びタールに分れる。タールは更に化學的工種に由り、重油、中油、輕油等の各種液体燃料となり、又クレオソート油の木材防腐劑が取れる、且つ各種の染料、香料、藥品等をも抽出し得らる。これの貝島のミクニ炭と稱するものは、特殊のコークスより多量の揮發分を乾餾の際製品中に殘して居るから、同品は木炭同樣に着火が容易で早く、又適當量に揮發分を殘してある爲め燃燒の際一向に煙を出さず其の上原料を精選し、且つ特殊の脫硫法を施してあるから無臭である。其用途はミクニ焜爐ミクニ五德等の用器にて使用すれば、火鉢にでも何んにでも、全然木炭同樣使用が出來、其上熱效率の經濟價値は木炭一〇〇に對し、ミクニ炭は先づ五五、即ち半分の費用で濟むとの事で、目下各地家庭並に工業用として、盛んに需要を喚起して居るとの事である。

近頃片倉、都是等本邦有數の製絲家が、此の貝島のミクニ炭を實驗の結果、木炭其他各種燃料に比し、養蠶用として最も安全にして取扱も容易なる上、費用も最大の節約が出來、最適品なりとの實證を擧げたとの事である、果して然りとせば、本邦家庭並に農家蠶業燃料界に大々的革新を來す譯で、誠に邦家の爲に喜ぶべき次第と謂はざるを得ぬ。

さすれば今日斯業の前途に就き多大の注意を拂ひ居る。他の炭界の巨頭連も進んで斯業に手を着くる事となり。本邦の石炭低温乾餾事業は貝島家の犧牲的先驅に依り、昭和の壁頭を飾る擧國的一大新工業となる日も、遠い未來ではあるまいとの事である。



貝島乾餾株式會社大阪工場全景

（丸紫第三第船汽）　場炭貯濱鶴社會式株業商島貝　町鶴區港市阪大

同社は貝島炭礦株式會社系統の會社にして、資本金壹千萬圓にて始め本店を福岡縣鞍手郡直方町に置きたりしが大正九年十月下關市唐戸町に移せり、貝島分系會社生産品の販賣と此等會社必需品の購買とを以て目的とす。

店支阪大社會式株業商島貝　町鶴區港市阪大

大阪支店

單に筑豊炭のみを以て言ふ時は當に只阪神地方あるのみなれど、實は當社の設立と共に大阪に出張所を開設せしが大正十年に我邦石炭仕向地としつゝある一位にあり、二月に至りて之を支店となせり。石炭及貝島分系會社の出張所すべて同樣なり、主として近畿一帶北陸越後を除く山陰地域は當社の出張所にて

新案特許

ミクニ炭座敷ストーブの特長

□體裁高尚優美にして煙突不要
外觀が極めて雅味ある東洋式の意匠に成り日本座敷に調和よく室内の裝飾にもなり又無風流にして面倒なる煙突の必要がなく從て火災の危險がありません。

□構造堅牢にして永久的
構造堅牢にして多年の使用に堪へますから部分品の取替が簡單に出來ます部分品は御一報次第御送り致します。

□有毒瓦斯を完全に燒却する裝置
此のストーブはミクニ炭を本位として凡ての構造が出來てありますからミクニ炭を限り御使用になれば燃燒の際發生する衛生上不良なる瓦斯の御心配がありません。

□湯沸並に室内の濕潤裝置
此のストーブの上部は風雅なる茶釜が置いてありますから室内空氣の乾燥を防ぐ外飲料の湯沸しが出來る御便利がありまず但し冬期間室内の温度は華氏六十五度濕度は六十四度を衛生上標準とします從つて時々新鮮なる空氣を室内に入れて同標準を保つことに御注意を願へれば一層衛生的であります。

□温度の調節が自由自在
通氣と排氣の調節裝置がありますから室内放熱温度の加減が自由に出來ます。

□補温費用の節約
此のストーブでミクニ炭を御使用になれば室内補温費用が電氣瓦斯石油ストーブに比し格段の御經濟になります。(一時間の燃料費僅かに金壹錢五厘)

□附屬品の御利用
茶釜とストーブ敷臺は夏期でも御利用が出來至極御德用のストーブであります。

□御使用上の注意

一、點火は正面中央投炭口の扉を開きてミクニ炭を其の口の高さ迄入れ其の上に灼熱したる木炭のたね火を置き最下部の通風口の扉及び上部周圍の排氣口を開く事。

一、燃燒につれミクニ炭を中央投炭口より適宜つぎ足す事。

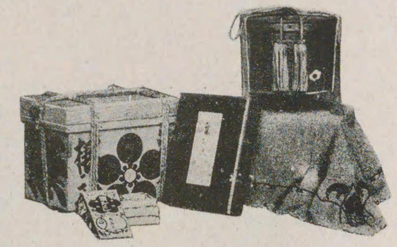
一、灰は自然に落下すれど最下部通風口より附屬の灰掻き棒を以つて靜にドストルの下より突ツつけば灰はすぐに落ち火力强大となりますす灰を落す前及びミクニ炭を補給する前には灰の飛散を防ぐため上部周圍の排氣口を閉しこれを終れば元の如く開き置く事。

一、茶釜はかなけ抜きがしてありますが釜の内側に錆止めが塗つてありますから之を洗ひ落して御使用下さいすぐ飲料の御湯沸に差支へありません。

一、ストーブの外面には耐火塗料を塗つてありますから御使ひ初めの一回だけは塗料のやける臭が多少しますがあとはこの臭ひはありません。

一、特に密閉せる室内に夜中おやすみの際は同室内の通氣に御注意を願ひます。

大阪名物



氣のきいた
世話のいらぬ御進物
年末まで始の注文は御遠慮申ます
一々迅速に御届申ます
時遠き方は御一報にて急配致ます
大黒

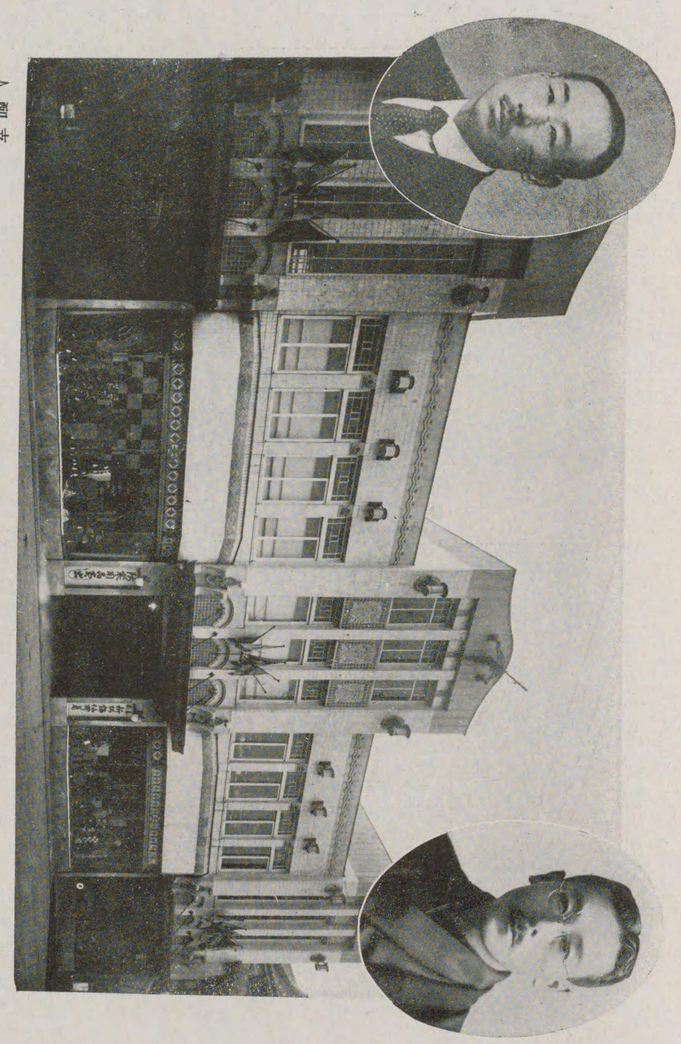
名譽 大賞牌
栗おこし 福おこし 總本店 大黒
大阪あみだ池西門
電話新町 特長一八五四番(イワコシ) 二一〇六番 二三〇四番 二三〇五番 長三一六九番
振替口座大阪四三五番

石川屋吳服店

（大阪市南區西櫓町道頓堀）

——當主　石川文右衛門氏——

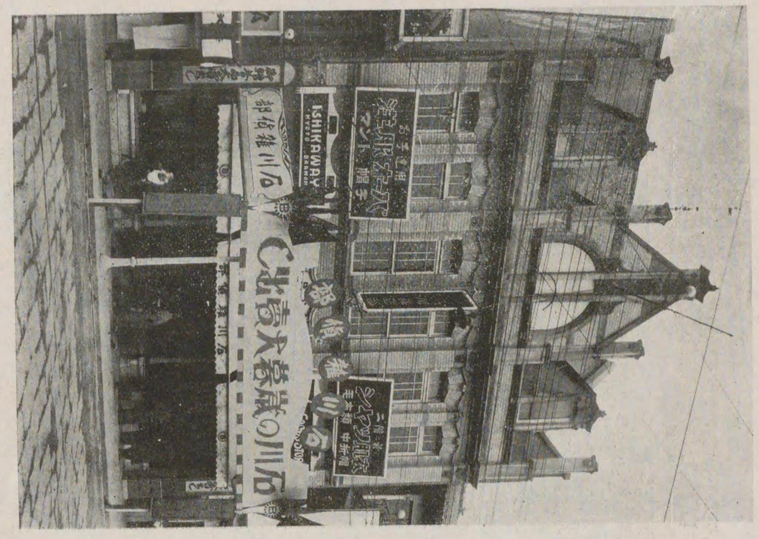
當主文右衛門氏は明治十六年の出生にして同家は維新迄は兩替業を營みしが先代文右衛門氏に至りて洋反物小賣商を開始し明治三十六年先代歿後氏は相繼承せしも當時尚修學中にて未亡人アサ子女店務を掌り同四十一年氏自ら店務を見るに至りて店舗を擴張し洋反物に加ふるに吳服太物類をも扱ひ同四十二年歐米各地を巡遊して歸朝するや其見聞の知識を以て理想の實現に努め新に百貨店を起して時代の要求に添ふべく全力を傾注し大正三年京都市四條通御旅町に支店を新設して雜貨の小賣を營み同四年更に本店を擴張し熱心經營の結果資產信用共に向上し今日にては其營業稅所得稅は南區第一位を占むといふ而も氏は讓譲人に接し內外の氣受良く支配人田阪龜太氏本店を同酒井定右衛門氏京都支店を分擔して店員百數十名を督勵し只管業務の發展に盡せり叙上の如く同店は當主繼承後奮闘努力萬難を排し彼の大正九年恐慌當時の如きは先を見越して連日大廉賣を敢行して相當利益を收め爾來不況打續くも終始薄利多賣主義を以て一貫し殊に同店の雜貨類は他店に比して良品廉價なる事既に定評ある處にして益々顧客を吸收し常得意多きを占むるを以て同店の將來は大に囑目すべきものたり、因に氏は泉州高師ケ濱に宏壯なる本邸を有し尚邸內別館の隣地千五百坪をも買收して土地の發展策に資すべく計畫中なりと聞く。



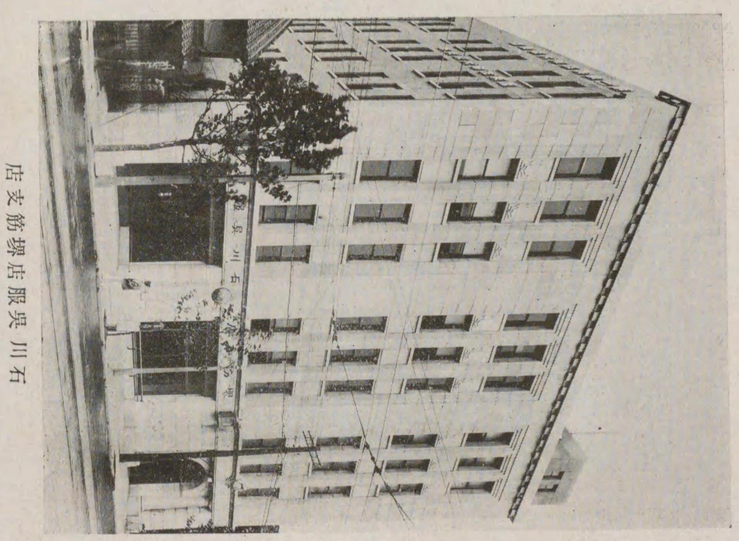
店服吳川石

主店　氏門衛右文川石

入配支　氏太龜阪田



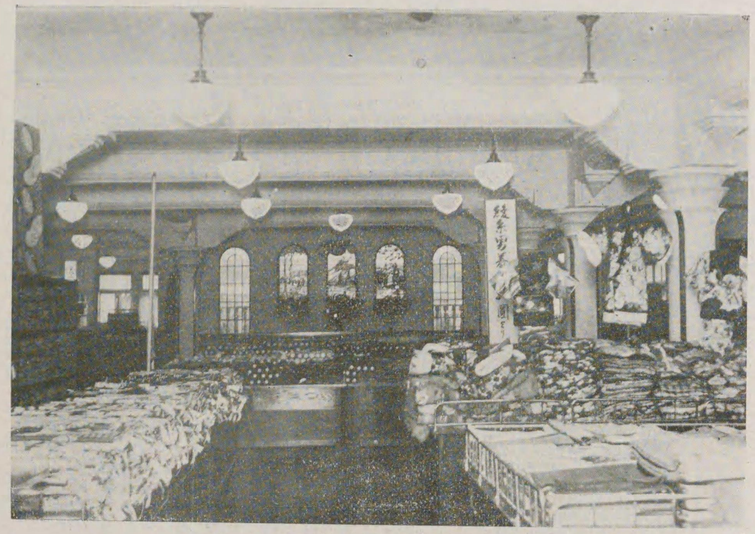
店支都京同



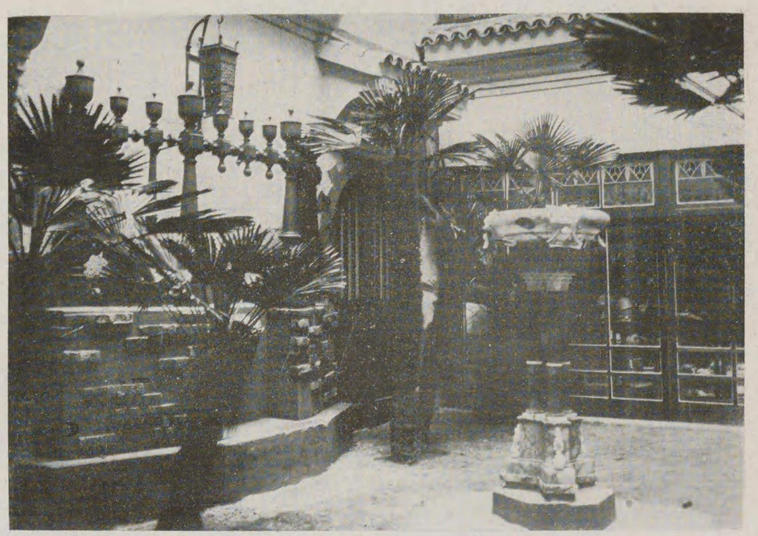
店支筋堺店服呉川石

新築竣工せる道頓堀石川呉服店内部、寫眞は第一階より二階へ登る石造彫刻の階段(上)と二階陳列場の一部(下)

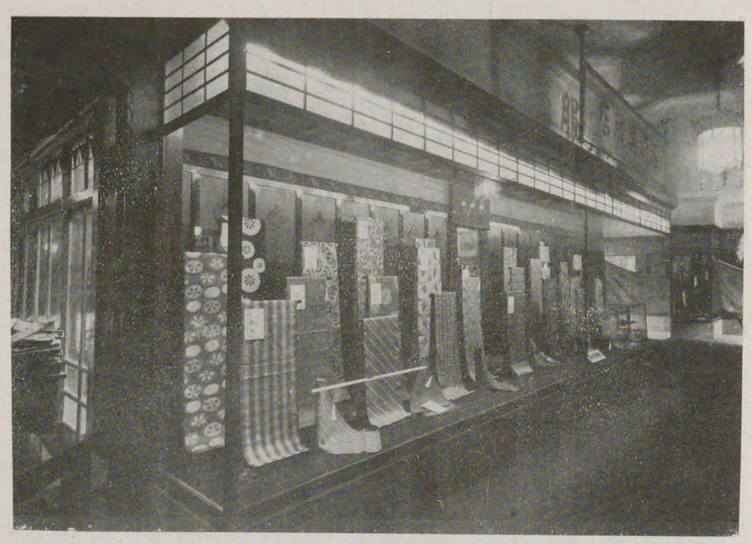
石川呉服店賣場の一部



石川呉服店賣場の一部



部一の庭中　上同



部一の場列陳　上同

三笠屋が
―百貨店となる迄―

大正十五年も半ばを過ぎて、草葉にすだく蟲の聲に秋の風情の偲ばれる仲秋のころ、大軌ビルの新築落成と共に弊店はこゝに移り百貨店を開業いたすことになりました。

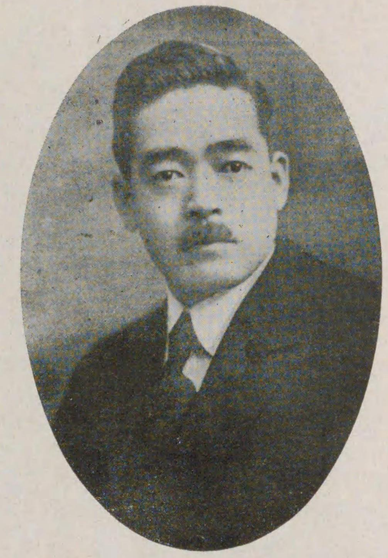
顧みますれば、滿四箇年前、上六交叉點の一角に渺たる食料品店を捧げてゐましたが、時勢の趨く處を察しますと、便利店としての百貨店は日に月に社會の要求の度を增してゆく樣で御座います。

短時間に、お好みの品をそして品質と價格とに於て安心して買へる、而も休裁の佳い、贈答用としては「贈るに便利、貰つて重寶」な品を取扱ふデパートメント、ストアーの殷盛になることは、社會生活が段々複雜になつて行く今の世に於きましては自然の數なので御座います。日本でも有名イールドなどに比べますと迚も比較にならぬ程幼稚なもので御座いますけれども、眞にお客樣の味方となり、御生活を複雜から簡單化への機關の一として、一大使命を擔つてゐることに想ひ到りますれば、前途尙ほ洋々たる開拓のヴアージン、ソイルがあるのであります。

かうした時代相に直面致しまして私には脊負ひ切れぬ程の大事業でありつゝも、身命を賭してこの大任務遂行のために全力を傾注する決心を致したので御座います。幸にも大方皆樣の勿体ない程の御愛顧を得まして、現在としましては手狹でもあり、萬事不行屆なるにも拘はらず、開店第一日たる九月十六日には十萬人の御來客を迎へ隨來引續いて繁昌させていたゞいてゐますことは、洵に感謝に堪えぬ次第で御座います。厚く御禮申上げます。（店主の談）

三笠屋信條七箇條

一、お客樣に感謝し、店員に感謝し、店主に感謝し、天地に感謝し、店が感謝の人で滿される時、繁榮の芽芽は伸びて行く。
一、職務に忠實、至誠一貫、寸毫と雖も私曲を交へないことは曾に店員の心得のみでなく、人となるの基礎である。
一、大きな事業も、元を質せば一人一人の力の集積である。各々店の運命を雙肩に擔ひ、共に誉つて奮闘しよう。
一、國家を忘れて小利に走るな。一品賣るも國利を祈れ。渺たる店舗も產業立國の長計から出發せよ。
一、其日の仕事を翌日に廻すなら、其人には整頓した仕事は永久に出來なくなるであらう。
一、不平と怠惰とは職務の敵、健康の障害、そして成功を破るに十分な爆彈である。
一、態度は親切、言葉は叮嚀、店は整頓、手先は清潔、いつもニコニコ奉仕第一。



主店　蜂谷經一氏

三笠屋食料品部

（大阪市東區上本町六丁目大軌ビルデイング）

▽和洋御菓子　▽和洋酒食料品
▽諸國銘產物　▽最上奈良漬
▽鮮魚味噌漬　▽牛肉味噌漬
▽鰹節、玉子　▽內外果實
▽米國干葡萄　▽支那乾果
▽朝鮮海產物　▽內外藥品類

（商品切手は壹圓以上何程にても發行致します）

大阪上本町六丁目　三笠屋百貨店全景

株式會社　十合吳服店

大衆向良品廉賣正札嚴守の特長を標榜して名高し、此學に成功せし同店は元來吳服行商本位より始まり顧客の多くは船場、島の内にあり從つて營業上にも斯かる落付ある色彩あり、尙同店は年何回かの特別賣出しをなし以て平素顧客の引立に對する謝恩の催しとなす由茲に大阪大吳服店として紹介す、尙同店は南北に亘る御堂筋正面に近々新築の企あり以て益々顧客本位の營業を徹底せしむる由。

（同店社長は十合德太郎氏なり）

十合吳服店正面入口

同上　一階化粧品部の盛況

『大關』長部大正藏仕込藏（上）壓搾場（下）

酒の司 大關

長部大正藏全景（上）「アンモニヤ」式冷藏機（下）

桃谷順天館

桃谷順天館は現代に於る最も信用ある化粧品製造發賣本舗として知られてゐます。製品は「美顔化粧品」即ち「美顔」と名の附いた白粉各種及び其他の化粧品で、多大の販賣額を有する有名品である事は御承知の通りです。

同館は桃谷化粧品研究所なる獨立の設備を有し、桃谷藥學博士が多數の學者技術家を指導して常に化粧品に關する研究を進めてゐます。そして其の研究が「美顔化粧品」に攝取されるのですから「美顔化粧品」は科學的な良品としての地位を絶えず確保してゐるわけであり、從つて世の信用厚きわけでもあるのです。

桃谷順天館は「美顔化粧品」發賣以來約二十年の歴史を持つてゐますが、更にそれ以前既に「美顔水」の本舗として久しく化粧品業界に雄名を馳せ、更にまた藥種業としては、紀伊風土記の載する所によれば、織田信長の臣、桃谷與次郎忠正を祖とし、紀州粉河の鄉士として藥種を營み、現今に至る十幾代、三百數十年に亘る舊家で代々名主を勤めた家柄だと傳へられます。

尙桃谷順天館發賣品の特長とする所は、桃谷化粧品研究所の科學的研究に加へて、桃谷化粧品原料工場なる設備を有し、犧牲的努力を以て、純無鉛の白粉原料を製造し、其れによつて美顔白粉各種を造りつゝある事であります。

大阪市西區靱本町五丁目　桃谷順天館　社會資合　舶本料粧化顏美

（兵庫県）目下二町野平區東市阪大

景　金　店　本　阪　大　社　會　資　合　崎　石

○一九・九〇九・八〇九・二二〇五長局本話電

所在の位置は攝津灘西鄕の西端にして俯瞰すれば應へん距離にあります。

前は碧瀦々たる茅渟の海に臨みなる景風光明媚なる海岸に位しても欹ゆる六甲の雄峰を背景として神戸から陸上約一里海を距て呼べば應へん距離にあります。

合資會社石崎奥兵衛酒造場の一角に屹然として聳立して居りますのが銘酒「※深の鶴」其他を産み出しまする石崎酒造場であります。

※深の鶴」其他を産み出しまする石崎酒造場であります。

開設致しましてから動きなき御世と共に今日迄連綿と両鄕の一角に屹然として聳立して居ります。

景　金　場　造　酒　る　つ　のは　さ

酒造場概要左の通りであります。

一醸	一原	一醸
精	料	造
米	數	減
所	數	高
一ケ所	二十三棟	上

醸造方法概要

毎年十月中旬より醸造着手翌年三月下旬迄約百日間にて新醸完成致します。

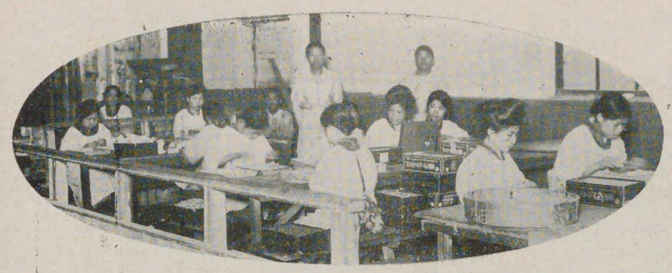
先づ十一月末より原料白米、水（西宮特産井水）を原料として此期間十度内外の寒造に着手し温度の上れば五度内外の醪を攪拌し温度の上れば五度内外の醪を攪拌し温度の上れば五度内外の醪を攪拌

洋酒食料品製造同直輸入、横山商店は營業所を東區豐後町三番地に又其主要工場を尼崎市舊城内に置き洋酒食料品製造の外多種の外國製品直輸入販賣をなす、同店の主義は顧客本位道德遵守薄利多賣誠心誠意の實行にして即ち店主横山包隆氏の士魂高潔なる人格と敏活なる商才の反映と言ふべし氏は英國型の紳士にして國際的商況に通じ關西に於ける輸入業者間の重鎭として厚く禮せらる、店運逐日隆盛業績の振興を見るは現主横山氏の紳士的營業方策のエマジネーションたる事勿論なるも一は以て先代横山助次郎翁の開拓的努力に成されたる所多しと聞く、翁は吾國に於て洋酒需用の途拓かれし當初今日の文化的生活時代の來るべきを想像して斯業の發展に努力され多大の犧牲を拂ひつゝ該商品の輸入を計り而も進んで是が國產を企劃し單に横山商店の發展のみならず我國洋酒界を指導したる大功勞者として知らる、歷史は年を經て其構を造る近時急速なる文化生活の進歩に對し茲に翁の業績を略述して同店の紹介となす。

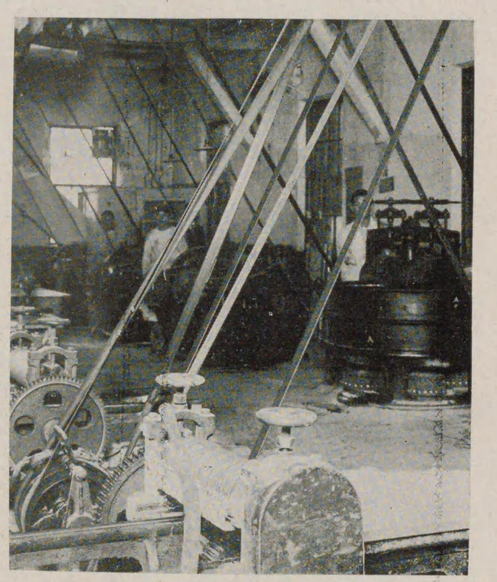
顧客本位、道德遵守、薄利多賣、誠心誠意

此主義こ店是な羅針盤こしてし我國洋酒食料品界に雄飛しつゝあるる

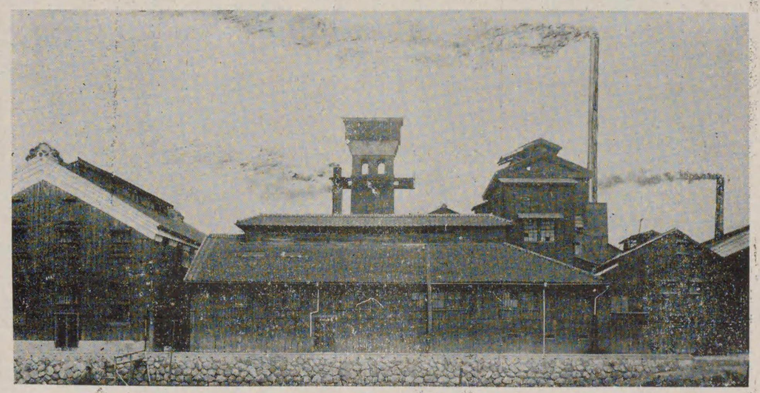
横山商店營業所



横山製菓工場
（アングロ、スイス）
包裝の實況



横山製菓工場内部機械運轉の實況、場内頗る秩序整然、衛生的設備に於て亦遺憾なし、我國古來の製菓法に比し其進歩大なるを見る。食料品製造の第一は衛生的でなければならぬ、此意味に於て本工場の一部を撮影し參考として紹介す。



尼崎市舊城内横山工場

By Appointment
WINE MERCHANTS
TO

	A.D
H.M. KING GEORGE V	1910
H.R.H. THE PRINCE OF WALES	1921
H.M. KING EDWARD VII.	1901
H.R.H. THE PRINCE OF WALES.	1863
HER MAJESTY QUEEN VICTORIA.	1837
H.R.H. THE DUKE OF EDINBURGH.	1889
H.M. KING WILLIAM IV.	1830
H.M THE KING OF SPAIN.	1886
H.I.M. THE EMPEROR OF JAPAN	1905
H.M. THE KING OF PORTUGAL.	1907

& OTHER MEMBERS OF THE ROYAL FAMILY.

HEDGES & BUTLER LTD.

BY APPOINTMENT

Chief Partners and Directors in the House of
HEDGES & BUTLER
from date of foundation to present time.

A.D	
1667-1735	EDMUND HARRIS, born 9th Sept. 1635, at CHARLBURY, Oxon Founder of the business established in Hungerford Street, Strand
1733-1767	WILLIAM HEDGES, of WOOTON, Oxon. Married KATHERINE KILLINGWORTH (of the same Spinsters) 27th Decr 1739. GREAT-GRAND-DAUGHTER of EDMUND HARRIS
1735-1767	WILLIAM KILLINGWORTH, Nephew of EDMUND HARRIS.
1767-1808	KILLINGWORTH HEDGES, Nephew of WILLIAM KILLINGWORTH
1798-1872	WILLIAM HEDGES, Son of KILLINGWORTH HEDGES
1835-1844	WILLIAM KILLINGWORTH HEDGES, Son of WILLIAM HEDGES
1844-1882	JAMES BUTLER, Son in Law of WILLIAM HEDGES
1882 to present day	JAMES WILLIAM BUTLER, FRANK HEDGES BUTLER — Sons of JAMES BUTLER
	LIEUT. COL. H. ILTID NICHOLL D.S.O. Son in Law of FRANK HEDGES BUTLER

The House of Hedges & Butler, originally Established A.D. 1667, the year after the Great Fire of London, in the reign of King Charles II, has been continuously carried on by the members of one family during the reigns of twelve consecutive reigning British Monarchs

Guaranteed Pre-War Quality and Strength

"ROYAL VAT" WHISKY

IMPORTED FROM
HEDGES & BUTLER, LTD.
LONDON
ESTABLISHED A.D. 1667.

BY APPOINTMENT TO

HIS MAJESTY — KING GEORGE V.
HIS ROYAL HIGHNESS — THE PRINCE OF WALES

SEE OVER FOR FACSIMILE OF BOTTLE

W.S.P

（商標は信用のマーク）
横山商店の商標

横山商店輸入洋酒の中
英國第一の稱ある
ローヤルヴアツト（ローヤルバット）ウヰスキー

株式會社 山本藤助商店

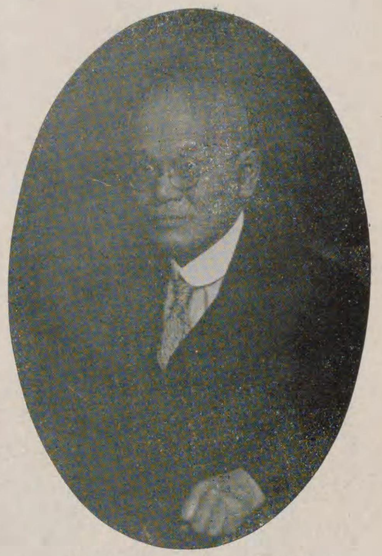
（大阪市南區安堂橋通一丁目）

關西鐵鋼界の先驅者として其彪大なる業容を以て斯界に雄飛せる株式會社山本藤助商店は創業以來六十年、今や業界に絶對的地歩を占む、同店は啻に經營の雄大なるのみならず同業中最も基礎確實にして到底他の追從を許さざるものあり、茲に大阪鐵鋼界の重鎭として紹介する所以、

明治五年先々代山本藤助氏の創業、初め谷町六丁目にて鐵鋼商を營み商號を「ヨロト」と稱す、仝十二年業務擴張のため現所に移轉、大正七年組織を變更して株式會社となし、之と前後して山本汽船會社なる姉妹會社を設立して一增勢力の伸長を圖り兩々相俟つて關西財界に雄を稱へ、東洋に於ける大鐵商たる實を擧ぐ、戰後財界の暗雲にも掘せず悠然其牢固たる地盤に據して徐ろに鐵界百年の大計を立て大勢を逆に益々發展を見るは實に山本藤助商店である。

資本金貳百萬圓、營業課目鐵鋼及各種金屬並金屬加工品、重役、取締役社長、山本藤助氏、常務取締役兼支配人山本繁藏氏、取締役、西垣彥次郎氏、監査役、金谷信吉氏、

關西鐵鋼界の權威
株式會社山本藤助商店全景及同社長山本藤助氏



關西箱根と稱せらるる甲陽公園
開拓創立者本庄京三郎氏の近影

甲陽土地株式會社は岡山縣人にして我大阪に於ける著名實業家本庄京三郎氏の創立に係り近來急激に增加しつゝある郊外居住者及都市生活者の慰安的娯樂施設を目的とす、即ち其貢獻する所無限にして就中市民保健上の恩惠は最も大なりと信ず、而して其經營頗る尨大にして甲陽公園を筆頭に園内には温泉、旅館、劇場、活動寫眞館及其撮影、倶樂部、運動施設百般に亘りて遺憾なし、創設後未だ十年餘にして既に園内住居者五千に達せんとす、斯かる殷振を極めつゝある甲陽園も實に創立以來社長として其發展を劃し來りたる本庄氏の慧眼に觸れざりせば永遠に不生産の域を脫する能はざりせん、想へば氏の業蹟の非凡にして其貢獻の偉大なるを知る、茲に省略して紹介す（因に甲陽土地株式會社の事業並に現狀は阪急沿線名所案内に詳述して紹介せり）

甲陽土地株式會社經營地全景

營業課目

電氣一般
工事專門
照明器具
製造販賣

創業明治二十八年

本店　大阪市西區江戸堀南通一丁目　電土　五四四　一四四六　一八三七
支店　東京市京橋區西紺屋町五番地　電京　九〇八　六九八〇
　　名古屋市中區南大津町二丁目三番地　電本　一三六二

大阪電氣商會
大阪暖房商會
合資會社

社長　菅谷元治氏

景全組田藤社會名合

合名會社藤田組沿革

合名會社藤田組は明治二十二年故藤田傳三郎男の創立にかゝり、資本金六百萬圓にて大正六年十月に株式會社を設立し、同男の三氏にして其業務を總攬し、同彦三郎、同德次郎、同平太郎、同林之助、同久原房之助の諸氏に及べり。現在の社員は斯業を分擔猶ほ益々隆盛に赴きつゝあり

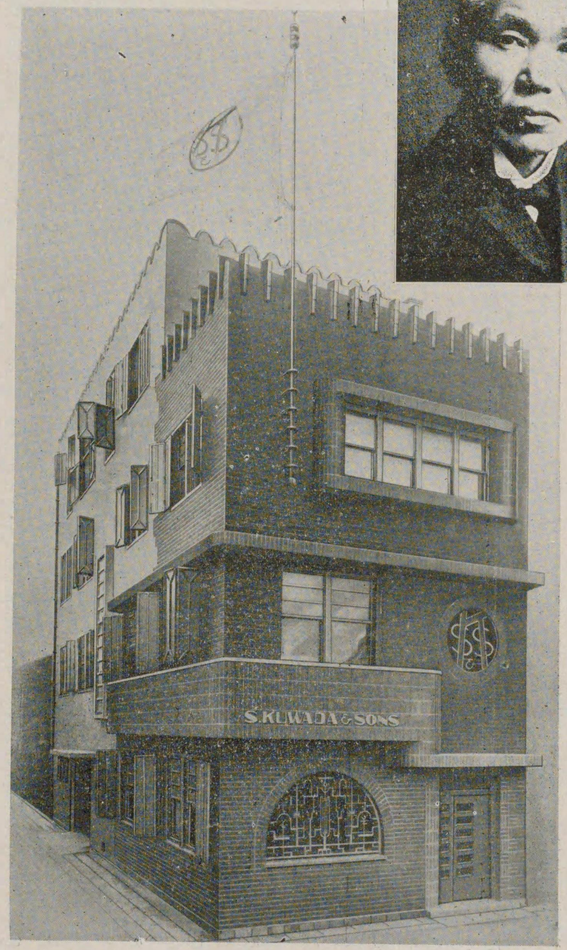
景全の店商氣電重松社會式株　　氏郎太治本松長社

關西に於ける新興の一人格を知るに足るもの、社長の松重氏は實業家として良く大阪の人らず、君の如き社員あるにのみ著しき發展を遂げつゝあるは大阪に取りても大なる幸福なり

桑田商會

我國寫眞機械輸入販賣業の權威桑田商會は大阪市南區心齋橋通に營業所を置き寫眞機械及附屬品一般の直輸入並に製造販賣を營む、創立は明治八年にして我國斯業の元祖と聞く、開業以來店運振興して大正六年合名會社に組織を變更し東京、及九州博多に出張所を設置して益々發展を計り、一方市内今宮西入船町に臺紙工場、木金工場を經營して國産品普及の實を擧げつゝあり、店主桑田庄三郎氏は溫厚にして敏活の聞へ高き人實に斯界に於ける一頭目たり。

同社長　桑田庄三郎氏



合資會社　桑田商會全景　（昭和三年一月新築）

株式會社 中井商店の沿革

中井商店は現社長中井三之助氏の祖父三平氏が安政五年京都に於て初めて紙商を初められしより七十餘年の長き經歷を有す。三平氏は三井家に仕へ三井呉服店の店員として從事せられしが壯年に辭して獨力にて業を求むるに當り利益多きものは心に油斷を生じ却つて失敗する物なりとて特更に薄利なる紙に定められしとの事也。

三平氏は明治四年嗣子三郎兵衛氏に業務一切を讓り自らは再び三井家に入りて晩年に及べり。

三郎兵衛氏は二十歳にして業を受け自ら拮据精勵業に當り西洋紙の渡來後は京都に梅津製紙所の開業せらるゝや京都府より之が販賣方を命ぜられ明治十一年一月大阪堺筋博勞町北入西側に支店を開きたり、これ實に我國洋紙商の濫觴たり次で明治廿年五月東京に支店を開き翌々廿二年三月名古屋に支店を開く、其の後漸次擴張して明治廿六年には上海に出張員を派して和洋紙の輸出を始めたり、明治卅三年佛國巴里に萬國大博覽會の開催されしを機として嗣子三之助氏をして歐米諸國の紙業界視察の爲め當時大阪支店支配人たりし谷野彌吉を供に從がへ洋行せしめ歸朝後洋紙直輸入の端を啓けり。

明治卅五年二月組織を合名會社に變更して東京を本店に京都を支店に改め漸次進歩發展し大正五年十二月更らに株式會社に變更し資本金を貳百萬圓に增加して益々斯界に雄飛するに至れり 大正十二年關東大震災の爲め東京本店は店舗並に倉庫等全部烏有に歸して大災害を蒙りしかば其の後會社の內容充實を計らむが爲め 大正十四年に資本金を百萬圓に減資して以來昭和二年の未曾有の經濟界大困亂にも些の影響なく確實なる營業振りを見せつゝあり。

現在大阪支店は專務取締役島田林太郎氏を支店長として關西方面の經營に當り居れり。

中井商店の現今商況は我國に於ける凡ての種類の紙を網羅し就中新聞紙は大阪每日新聞社を初め百數十社に納入す、其の他書籍用紙、印刷用紙、包裝用紙、燐寸紙、煙草用紙等各方面の需要に遺憾なく供給しつゝあり、輓近圓本流行に際し書籍用紙の需要とみに增加せり。

我國洋紙の需要は統計上より見るに年々一割以上の增加率を示し居れば 生産高も之に從ひ增加しつゝある現況なれば益々擴張發展を期して努力しつゝあり。

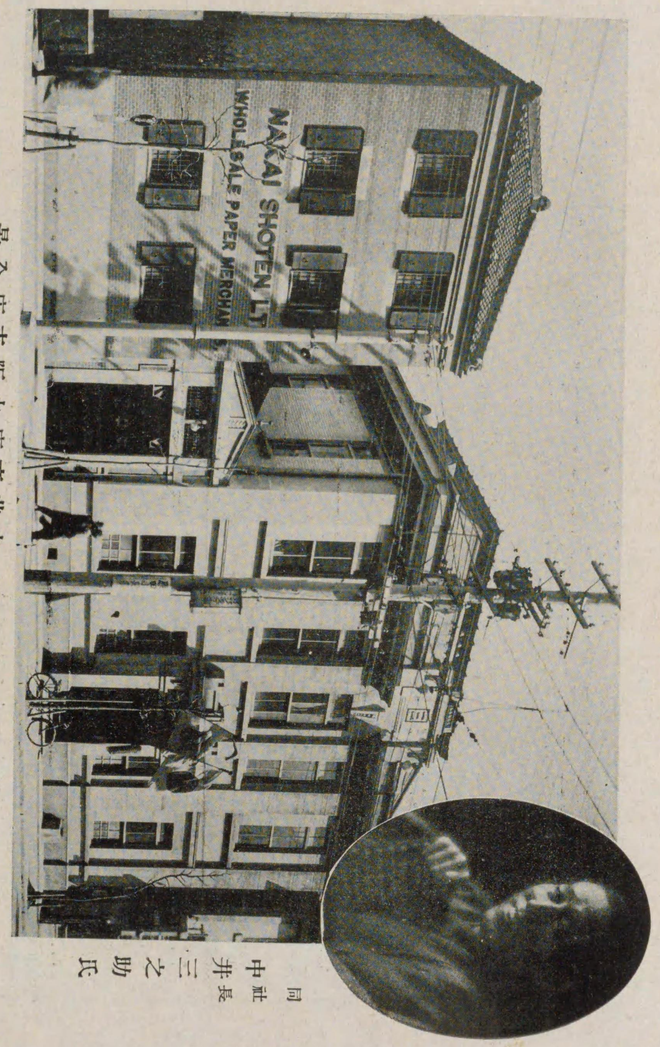
中井商店本支店所在地は左の如し。

東京本店　東京市日本橋區本石町十軒店町

京都支店　京都市下京區三條通り東洞院西入梅忠町

名古屋支店　名古屋市西區傳馬町七丁目

門司出張所　門司市西本町二丁目



景金店支阪大店商井中　社會式株

同社長　中井三之助氏

株式會社 高田商會大阪支店

（北區中之島貳丁目貳拾番地）

高田商會は故高田慎藏翁の創業にして明治十四年一月本店を東京に內外樞要の地に支店出張所を設置し主として電氣、紡績、鑛山、造船、鐵道其他工業用諸機械類の輸出入を業とし我邦貿易界の先覺者として將又工業界の先驅者として大に世の推奬を得業績彌々擧がり中ニ組織を合資會社に變更し益々業務の進展を計ると共に我邦商工業界の爲に貢獻すること多大なりしに歐洲戰後業界の不況より關東大震災更に引續く財界の變動に因り差しもの大厦一枝の能く支ふること能はず遂に去る大正十四年二月整理をなすに至れり然るに故高田慎藏翁の流を汲み多年辛苦經營の衝に當りたる有志の士は歷史ある高田商會の名聲一朝の煙と共に堙滅するを遺憾とし同志相倚り相謀り新に株式會社高田商會を起すに至る爾來經濟界の不況なるにかゝわらず多年經驗ある經營は共宜しきを得業績大に加はり各員大努力を以て後日の大成を期し常に業務に從事しつゝあり。

株式會社高田商會は本店を東京に其幹部として取締役杉野文六郎氏を社長に常務取締役古見眞熊氏は總務及外國部を常務取締役平川敏行氏機材、電氣兩部を又常務取締役和田勝郎氏は會計爲替通關船積等の各事務を分擔主宰して各多年の蘊蓄と得意のオ能を發揮しつゝあり。

而も我が大阪支店は常務取締役兼支配人志保井重要氏の主宰するところにして商會の隆昌盛衰一に仝店の活動如何に因ると謂ふも過言にあらずと云ふを以て見るも仝氏の責任重且大なるは論を待たざるべく故に其爲人を考察するに難からず。

本　店　東京市麴町區有樂町一丁目一番地

內地支店、出張所、代理店

大阪支店　大阪市北區中之島貳丁目廿番地　小**樽支店**　小樽市堺町十九番地

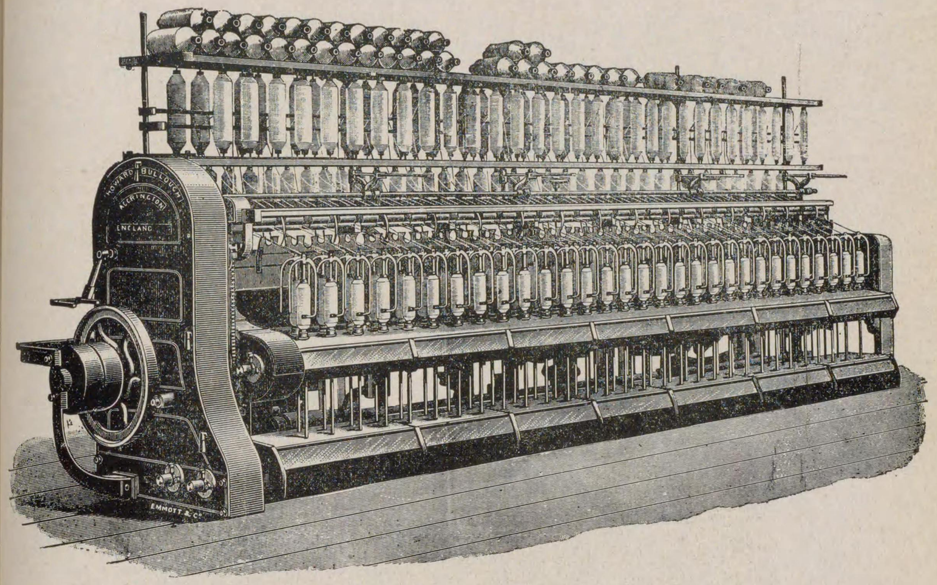
名古屋支店　名古屋市中區新柳町六丁目三番地　**門司支店**　門司市新清瀧町二丁目七四番地

吳、神戶、舞鶴、橫須賀、佐世保、臺北、

▲海外支店出張所代理店

倫敦、紐育、漢堡、大連、上海、

株式會社高田商會ヒ
常務取締役兼支配人
志保井重要氏

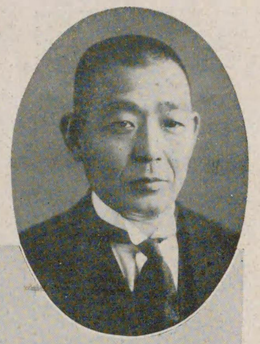


株式會社高田商會營業品目

内外諸般の電氣、蒸汽、水力、瓦斯油に關する機械器具、鐵鋼其他の諸金屬並に木材、農業、水產業、鑛業、製鐵、造船、紡織、製紙、製氷、製糖製粉、醸造、窯業、印刷、鐵道土木、建築、消防に關する機械器具、航空機、船舶、自動車、機關車、客貨車、其他交通及運搬用機械器具、有線無線電信、電話用諸機械及材料、電線電纜、理化天文學用諸機械器具、織物類、米穀食料品、藥品、肥料、塗料、染料、諸油類、煉瓦、タイル、アスフハルト、諸紙パルプ、皮革、硝子、石綿、ゴム、セメント、銃砲火藥等、

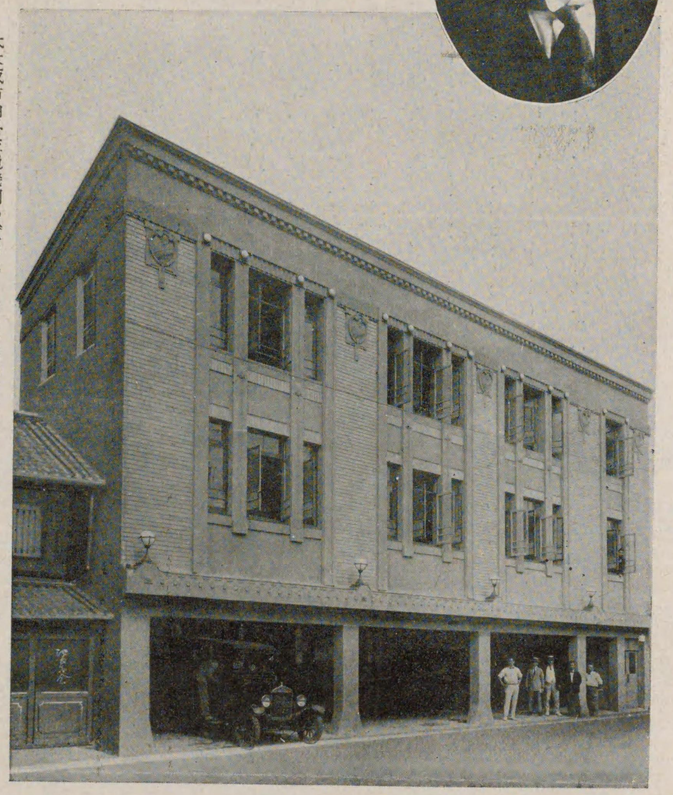
製氷、冷凍、煖房、衛生、エレベーター、電氣其他各種機械の据付裝置工事、

大阪タクシー自動車株式會社

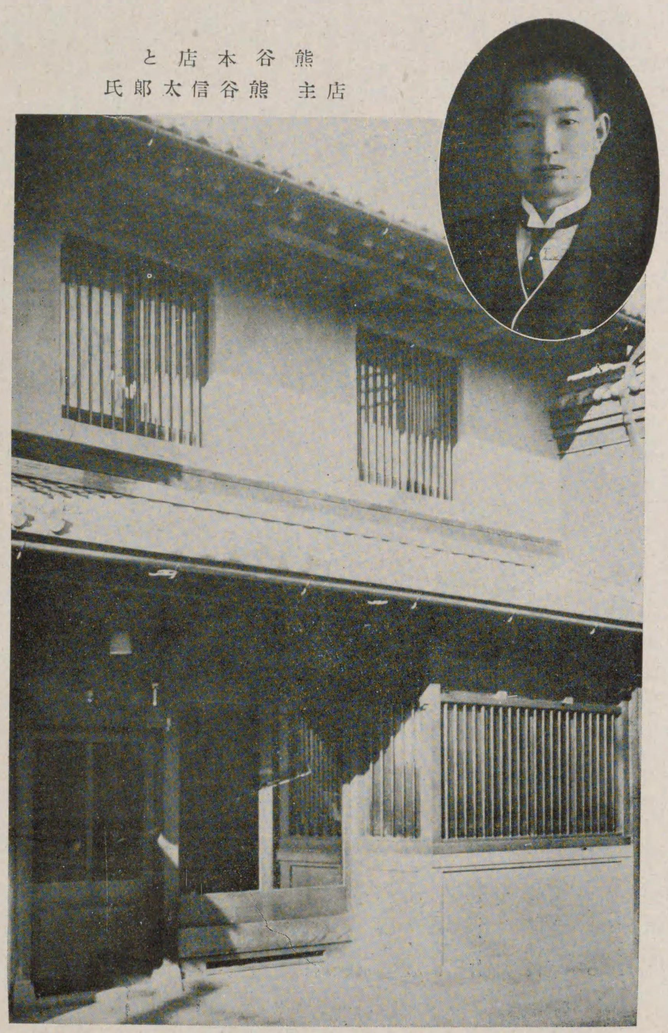


專務取締役　山口福則氏（上）

大阪驛前本社全景（下）



大大阪市内外交通機關の實用化として其先驅者たる同社は時代の文化に伴ひ其經營を改善しつゝ顧客本位を徹底して一意使命に向つて邁進し來り今日の隆盛を見る卽ち山口專務の孜々として勉勵せし業績と言ふべし



熊谷本店と
店主　熊谷信太郎氏

熊谷本店

（大阪市東區南久寶寺町一丁目）
（電話船場特二〇〇二番二七六六番）

（支店）
神戸市東町一二二番　電三宮一〇一七番
漢口法租界德領事街九　電一二七九番
ロンドン市レツドクリフエーガーデン一二

（倉庫）
大阪市港區泉尾濱通一丁目電話櫻川四三七〇番
大阪市浪速區東圓手町八一七
神戸市磯邊通二丁目

市内東區南久寶寺町一丁目熊谷本店は天保年間の創立にかゝり日本に於ける最古の鼈甲商にして傍ら珊瑚翡翠を扱ひロンドン及シンガポール及マカッサに出張所を設け鼈甲原料を買附し業界唯一の輸入商として確固たる老舗を築いてゐる今や行き詰らんとする業界を指導すべく鼈甲製萬年筆及シヤープペンシル及鼈甲側時計を發賣し新境地を開拓し一般の批判を乞ひ一大流行を造るべく大宣傳をなすに到つた、云ふ迄もなく鼈甲の特長は先づ眼からの印象即ち鼈甲の色調は澁味の勝つた高雅な色澤で最も近代人の好む流行の色合であり品質の强靱無比にして耐久力の永遠なる點は古來廣く認められたる處である。

更に全店は大正十三年以來石膏部及礦油部を設立し益々業務の擴張を來してゐる、只惜むらく石膏部は昨年の動亂の爲漢口支店は一時引き上げらるの餘儀なき次第となりたる由も今や捲土重來を期してゐられる。

礦油部は英國スターンス社及米國クエーカー社の東洋總代理店として一般礦油の輸入販賣を扱ひ鐵道省其他各會社に納入し日尚淺きに不拘業界に重きをなし前途を囑望されてゐる。

株式會社 ヒシヒラ商會

＝沿　革＝

我が大大阪市場に於て最も權威あり自他共に許す建築金物工具類の一流卸販賣業として全國に廣大なる商線を布き活躍しつゝある株式會社ヒシヒラ商會は其經營の雄大にして堅實なる內容充實して信望厚き今や名實俱に斯界に於ける代表的地位に在り市內靱北通一丁目の一角に蒼窮を裁つて屹立する巍然たる洋館は暗々裡に其雄大さを私語くに似たり、抑も同店前身ヒシヒラ商會は明治十八年七月現社長平佐潔氏の嚴父平佐善七氏の創業せる處に端を發し當初店舗を市內東區平野町四丁目に設けて專ら建築金物工具一式の卸販賣に從事せるが爾來堅實漸進主義の下に業務に精勵し業運年を逐ふて開け店礎漸く鞏固を來せり越へて明治廿八年二月資本金三萬圓の合資組織に變更し氏は業務執行社員として只管資力の充實と業礎の賢實を圖ると共に他面益々人材を集めて營業事務の發展に努力したる結果日淸、日露兩戰役を中心とする我事業界の異常なる發展と相俟ちて業勢は彌々隆昌の一途を辿り來たり斯く業務繁忙を呈し來ると共に勢ひ店舖の狹隘を告ぐるに至れり現所に店舖を新築して移轉す之明治四拾年五月の事にして以來更に業翼の擴大に專念し新たに直輸入を開始すると共にストーブの製造に着手する筈其計畫は我國の文化生活の向上と相俟つて人氣に投じ著々伸展を劃する處となり更に大正三年歐洲大戰勃發に伴ひ我財界は未曾有の好況を示現し延ひては建築諸金物工具類の著しき需要を喚起するに及び同社は急速度の大發展を見るに至れり斯て同社は更に時代の趨勢に鑑み大正八年八月組織を變更して株式會社となし一層勢力の伸暢を圖り關西斯界に雄を稱するに至れり。

顧るに其後歐洲の干才漸く鎭ると見るや俄然我財界を襲ひし突風一陣忽ち桑華の夢を破り昨日の成金も今は即ち轗軻落魄の哀れを呻つ者擧げて數ふべからざる慘狀を呈せしも此間に在りて毫未だりとも共影響を蒙らず宇乎た

る地盤に基きて泰然自若反つて大勢を逆に益々伸展を劃せるものは實にヒシヒラ商會にして如何に其經營の堅實にして內容の充實せるかを窺知するに難からざる處なるべし今社は大正拾四年二月理想的事務所の建築に着手し今年九月竣工を見たり茲に陳容完備せる仝社は一意社運の向上に努力しつゝ今や我が金屬業界の一權威として自他共に許さるゝに至れり。

現　狀

店舖所在地　大阪市西區靱北通壹丁目二拾九番地に在りモダーン・スタイル式三階建にして總面積三百四十二平方メートルを算す。

組　織　株式會社

資本金　五十萬圓（全額拂込濟）

役　員　社　長　平佐　潔　　常務取締役　林　寅之助

取締役　金井榮藏　　仝　吉井兼吉

仝　石井政太

監査役　平佐徹爾　　仝　平佐岩太郎

營業種目　建築諸金物工具一式ストーブ製造

販　路　內地一圓に亘り就中北海道東北地方を主とす海外に在りては朝鮮、滿洲、支那に跨る

販賣高　年額百萬圓

製品の特長　仝社商品は其品質優良なるは斯界既に定評あり殊にストーブ。ラヂエターは仝社直營工場製品にして好評嘖々たりピースストーブは仝社が十數年の久しき間苦心研究の結果完成せる優良品にして耐久力に富み燃料の節約休裁の優美今や定評嘖々たるものありて各宮殿下を始め諸官衙、學校、病院、銀行、會社、工場、商店並一般家庭用として需要相踵ぎ仝社は之が製作に忙殺されつゝあり。

直輸入　米國、英國、獨逸に於ける一流大會社大工場製品を直輸入す。

工場並倉庫　直營工場は大阪市東淀川區北川口町五百六十番地に在りて敷地千二百坪建坪九百坪を算し專ら各種ストーブ、ラヂエターの製造をなす全工場は優秀なる機械器具の設備完全し一ヶ年生產額五十萬圓の多額に上る。

營業方針　品質本位に終始し常に研究改善をなすを以て本位となす。

取引銀行　三十四銀行本店、住友銀行本店。

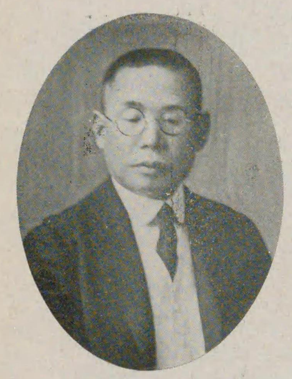
從業員　本店三十五名。

工　場　工場主任以下百名。

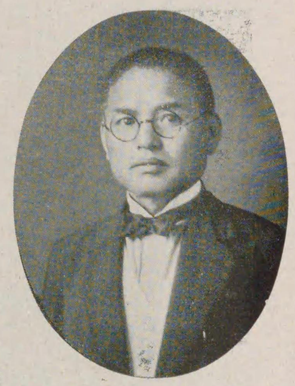
主要人物　社長平佐潔氏は明治二十四年四月一日を以て大阪市東區平野町四丁目に生れ大阪府立北野中學校を優秀なる成績を以て卒業後全社に在りて專ら業務に執掌せらる資性眞摯誠懇、温厚なる紳商として前途多望なる實業家たり嚴父善七氏長逝せらるゝや社長に就任今日に及べり常務取締役林寅之助氏は三重縣伊賀國錦生村吉岡長藏氏の次男に生れ鄉里に在りて學業を了るや明治二十五年大志を抱いて大阪に出で全年七月入店今日に至る勤續實に三十有六年共間に於ける氏の功績は寔に顯著なるものあり氏は性來恬淡豁達にして才機縱橫流るゝが如く反面溫情脈々溢るゝが如きものあり洵に情理兼ね備はりたる實業家と謂ふべく氏は又繁忙なる職責に在りながら公共に盡瘁せらるゝ所尠からず大阪金物同業組合設立に率先奔走せられ現に評議員の要職に在り尙氏は深く宗教に歸依し忙中閑を得て之が眞諦を討究咀嚼し以て新時代の思潮に後れざらん事に努めらる府下南河內郡長野村の邸宅には令夫人との間に一女ありて家庭頗る圓滿である取締役金井榮藏同吉井兼吉同石井政太の諸氏は孰れも斯業に古き經驗を有し商品の向上業務の伸展に指導せられつゝあり。

要之同社は其古き歷史と豐富なる資財に基き着々業運の開拓に努力しつゝあり其上下協力一致の奮闘と潑溂當るべからざる意氣とは同社をして益々將來の大成を期せしむるは言を俟たざる處なり。

株式會社ヒシヒラ商會役員

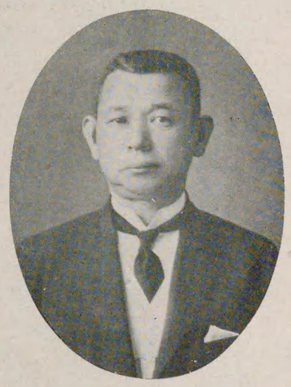


取締役　吉井兼吉氏

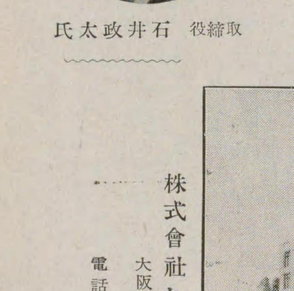


常務取締役　林　寅之助氏

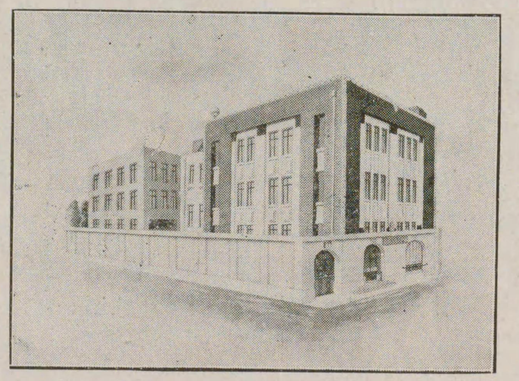
取締役社長
平佐　潔氏



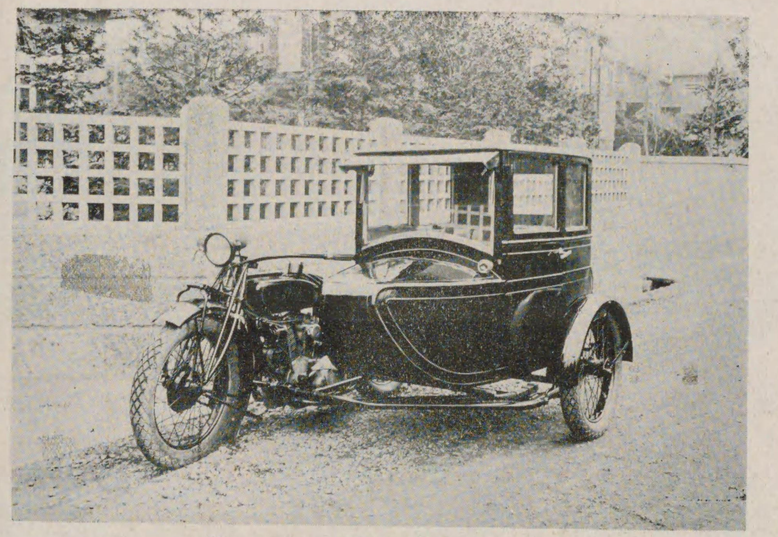
取締役　金井榮藏氏



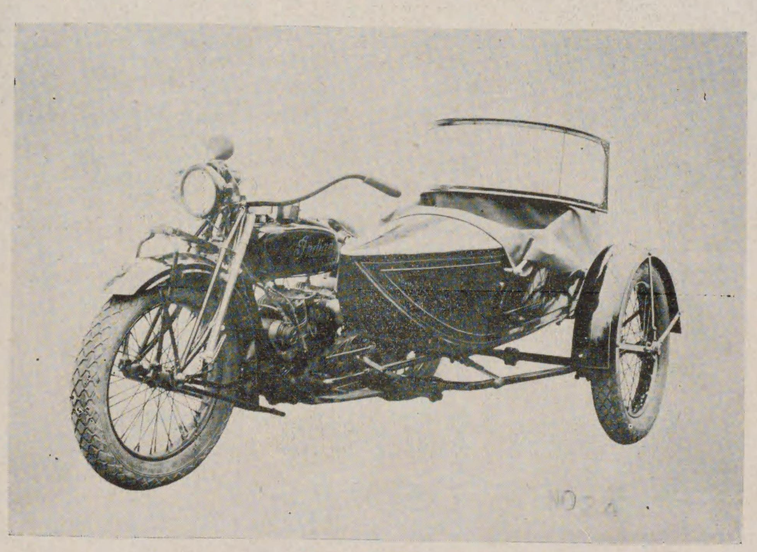
取締役　石井政太氏



株式會社ヒシヒラ商會
大阪市西區靱北通一丁目
電話土佐堀　長四六四
　　四六五
　　四六九



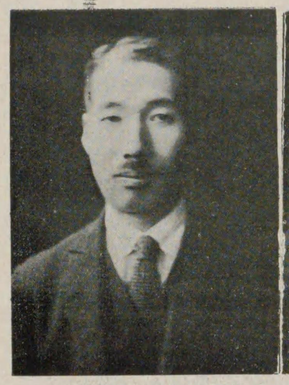
自動自轉車界の覇王インデイアン號



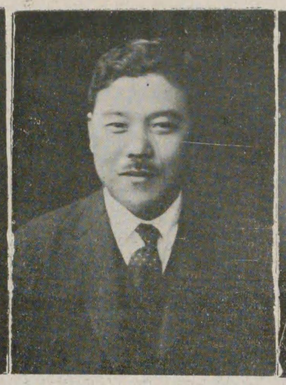
同上ニ附ーカドイサ型(74)フーチグツピ上回

所張出阪大祉會式株屋業ニ

同社長 俣森作氏

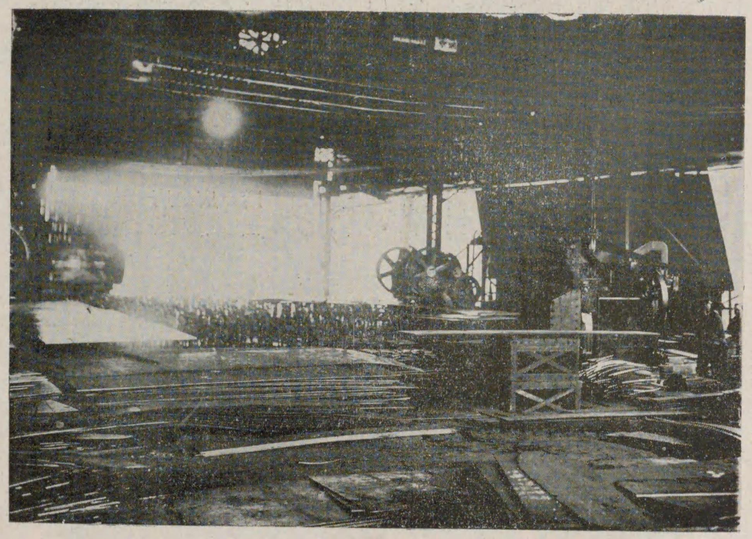


常務取締役 中村盛哉氏



專務取締役 鶴間正舘氏

取締役社長 北島安太郎氏



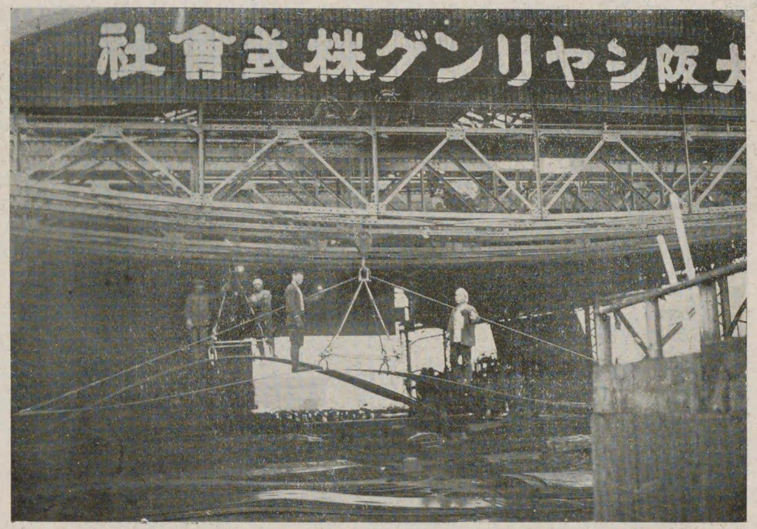
大阪シャリング株式會社工場の一部

大阪市此花區北安治川通一丁目一番地

大阪シャリング株式會社

電話土佐堀（二五一六番 二五一七番 四九四三番）

取締役社長　北島安太郎
專務取締役　鶴間正舘
常務取締役　中村盛哉
取締役　豊永政吉
取締役　村岡大太郎
取締役　松元千代助
監査役　井上長太夫
監査役　千葉金三郎



大阪シヤリング株式會社工場の一部

産業立國國産奬勵の叫びが近來著しく其成果を擧げつゝある事は單に我國家的進運に止らず、進んで東洋隣邦諸國の存立のため、誠に慶祝禁ぜざるものあり。是等の進歩發達に大なる貢献を見出すは、實に我國の生産上將又國防上峡ぐ能はざりし鋼鐵工業の發展である、茲に大大阪鐵鋼業の紹介に方り斯界の權威大阪シヤリング株式會社の沿革及其概況を略述して過去に於ける同社の貢献に敬意を表さんとす。即ち同社は大正八年現社長北島安太郎氏が國家的必需品たる鐵工業を外國會社の供給に俟つ事は國防上の見地よりして、不安極まりなしとし其一助に盡さんと合資會社組織にて斯業の經營に當りたり。時恰も歐洲戰亂の終末にて世界を擧げて復興事業の急なるに際會せし故同社の業運は沖天の勢に達した大正九年五月組織を株式會社に變更して資本金壹百萬圓とし社長北島安太郎氏專務取締役鶴間正舘氏常務取締役中村盛哉氏陣頭に立ち壹ケ月切斷能力參千噸と云ふ我國屈指の大業勢を示せり。而して同社の重なる得意先は大阪鐵工所、汽車製造會社、三菱造船所（神戸、長崎）日本車輛會社（名古屋）播磨造船所、浦賀ドック出張所、幸袋工作所（九州小倉）佐藤鐵工部（富山）長岡鐵工所（長岡市）其他著名鐵工所にして又買入先は八幡製鐵所なり、卽ち國産原料が國内工業の工程を經て右大工場へ供給されつゝある事は國産奬勵の實蹟に於て大なる貢献と言ふべく一つは以て社長北島氏の初志完成と見るべし北島社長は天資温厚にして不屈の士、又鶴間專務及中村常務は共に誠志一貫の人にして、三者相提て一般より大なる信用と尊敬を浴びつゝ代表的重役として、業務の第一線に立ち、同社の業運發展に一路邁進しつゝあり實に同社の將來を期する事多大なるものありと言ふべし茲に略述して同社の紹介とす。

三ッ引物産株式會社大阪支店全景

取扱商品

輸出　綿糸布、綿製品、陶磁器、硝子器、茶、煙、雑穀、雑貨類

輸入　砂糖、護謨、金物、油脂原料、香料、內外米、雑穀、肥料其他一般工業原料

本店　東京市京橋區銀座二丁目十九番地

支店　名古屋市中區新柳町貳丁目共同火災ビル

出張所　蘭領瓜哇、スラバヤ市、バタビヤ、新嘉坡

大阪砂糖取引所會員
直輸出入業

㊂ 三ツ引物産株式會社大阪支店

同社大阪支店所在地　大阪市東區北久太郎町二丁目五十一番地

電話船場（自三七九〇番 至三七九三番）

寫眞　取締役社長　若尾鴻太郎氏（中）
常務取締役　栗栖未人氏（右）
支配人　高村鋼一郎氏（左）

寫

沿革概要

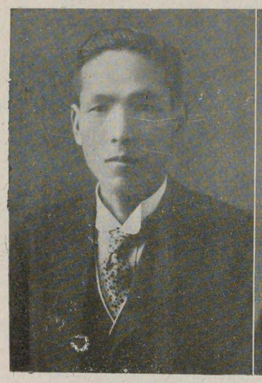
前社長故藤原勝次郎氏現社長伊藤兼吉氏の不撓不屈の精神を以て永年築き上げたる鞏固なる地盤を有する完全な個人事業の一切を擧げて提供し以て此れを基礎となし尚今一つは東京市に有力なる東京理髪用具株式會社（當社常務取締役東京支店長宮崎傳吉氏經營）を併合し加ふるに斯業に最も精通せる同志のみを網羅して株式會社組織とせり而して創立後も宇内の大勢に鑑み又文化生活の向上するに伴ひ時勢に遅れざる様着々事業の研究改良を劃策し堅實と親切とを（モツトー）として終始一貫奮闘努力以つて今日の發展を見るに到りし所以なり。

創　立　大正四年八月
資本金　參拾萬圓也
諸積立金　四萬圓也
取引地方區別　内地部　本土、九州、四國、臺灣、朝鮮、滿洲、北海道、樺太、
貿易部　神戸、川口、商館、支那、シベリヤ、南米、印度、南洋、方面

日本理髪器具株式會社

本　社　大阪市南區順慶町三丁目二七
電話船場（二）二六五六番
電話船場（二）五〇四八番
振替口座大阪四四三四番

支　社　東京市淺草區茅町壹丁目一四
電話淺草四三五〇番
振替口座東京二七五三一番



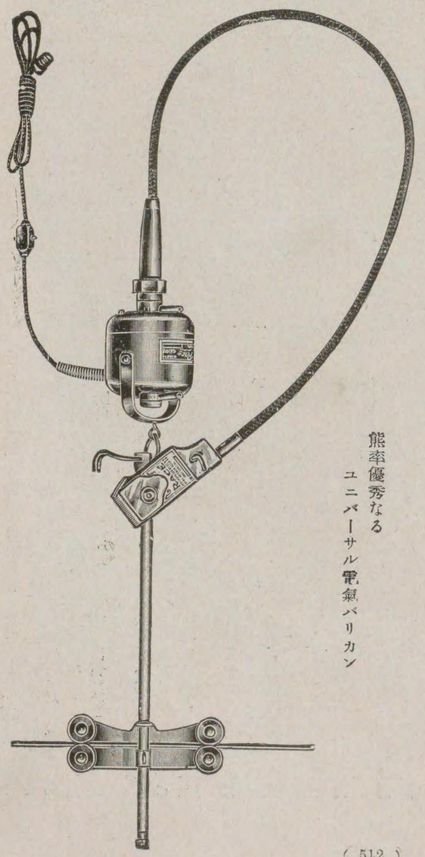
取締役　藤原博四氏

取締役社長　伊藤兼吉氏

取締役　石原時成氏

理髪、結髪、美容、器具類の註文は最も確實にして信用ある日本理髪器具株式會社へ（型錄進呈）

同社は我國に於いて最も確固たる基礎の上に經營され古き歴史と經驗とに依り名聲斯界に隆々たり以て茲に大阪に於ける理髪器具會社の權威として紹介す。



能率優秀なる
ユニバーサル電氣バリカン

海外博覽會受賞

名譽大賞　白耳義國　ブラッセル港　桑

大賞　米國　シヤトル

名譽賞　白耳義　リエージ

金賞　倫敦、ボートランド　聖路易、ベラスト　タンク、ブラッド　ニング、ブレメン　スマラン、巴里、

先代駒井周亮が京都で象嵌を創めましたのは天保十四年で今から八十餘年前の事です、主として刀劍に加工して居りましたため維新後一時衰微しましたも偶輸出品として再生し今日に至る迄非常に歡迎されて居ます、上記は主なる博覽會の受賞で御座います。

大正八年大阪店を開き内地の御需にも應じる事に致しましたが之亦追々發展して居ります、數回　宮内省御買上の光榮に浴しました。

△純金象嵌……鐵地に金銀線々象嵌する技工は遠く源平時代に我國にあつた樣ですが、世に謳められる程の事もありませんでした、約百年以前京都に於て先代駒井周亮か此技術を修得して刀劍等の裝飾に用ひましたところ武人間に非常に喜ばれ當時製作能力では到底需を充たし得なかつたと云ふ事で御座います。

維新後廢刀となりまして一時全く影を潜めて居りましたも其後輸出品として再興し外人用の裝身具、家具等に應用して現今では我國に於ける重要な輸出品となつて居ります。

而しどうかして昔の樣に内地に於ても愛用して頂きたいと思ひまして數年前内地部を新設しまして此我國本來の技工に歐米藝術の美點を加味し各種新らしき製作に沒頭して居る次第で御座います。

△最近銅又は眞鍮の土臺生地に金、青金、銀の模樣部分を電氣メッキにて代用せる偽象嵌が出來まして盛に眞正の純金象嵌の聲價を傷つけてゐます。

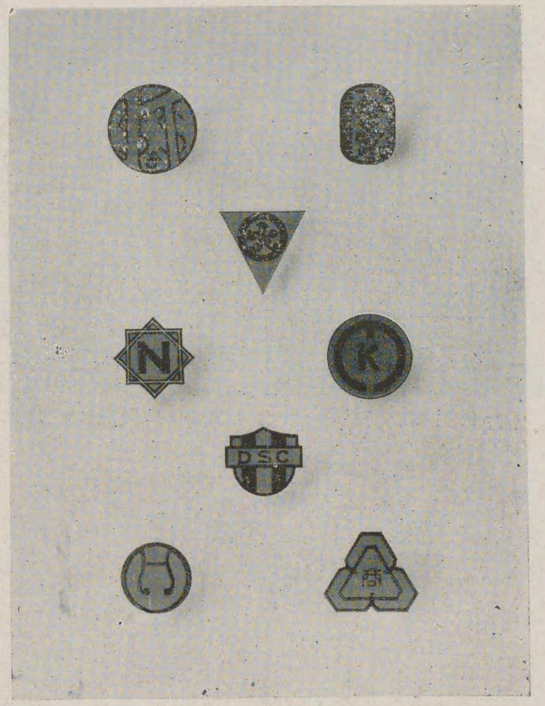
勿論此等の類似象嵌は御使用後直ぐ金色剝げ色付け部分は脫落して一、二ヶ月を出でず駄目となりますから御買求の際特に御註意願ます。

△當店製作純金象嵌の仕方の觀覽御望の節には何時にても係員詳しく御説明申上ますから御見學旁々是非一度御來店の程希上ます。

△純金象嵌は土臺生地は總て鐵でありますから時折り錆が出ではしないかとのお尋ねも受けますも皆々特種の錆止色付になつて居りますから其御懸念は御座いません。

且つ日々御使用の際、手掌の自然の油氣（或は何油でもよろしい極薄く）を以て其全面を自由にお擦り下さるれば尚一增の滋味のある光澤が出て趣があります。

又入嵌模樣の銀（又は金、青金）に薄疊りを生じました時は指先に木綿布切を覆ひ其部分を擦り磨き下さいますれば直ぐ元の光澤となります。



駒井象嵌店にて製作せし「マーク」の一例

天保十四年創業　肥後象嵌工
駒井音治郎
京都市東山區三吉町（電話中一七五番）

出張所　大阪市南區心齋橋北詰　象嵌店
東京帝國ホテルアーケード　駒井音治郎

同店代表者　前川紀一郎氏

大阪心齋橋北詰　駒井象嵌店

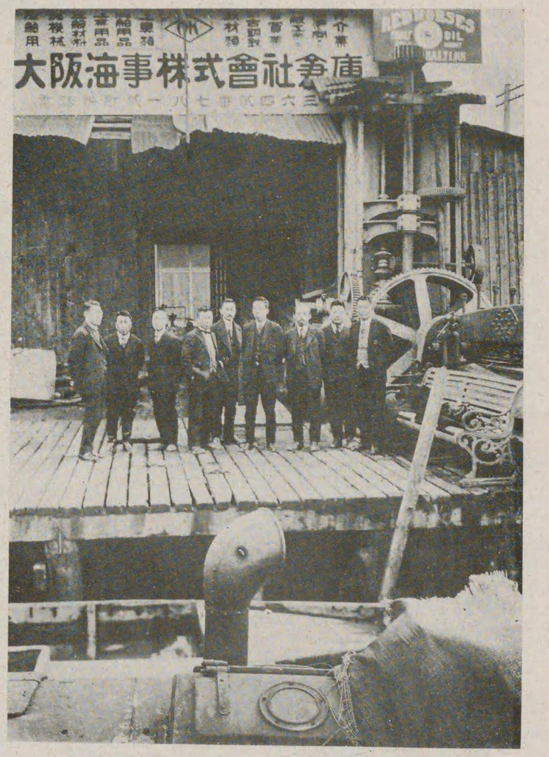
極東護謨合資會社

代表社員　飯島誠也
支配人　富永安英
營業部長　天野安一

一、資本金　拾萬圓
二、創業　大正十一年十二月二十日
三、左の會社の東洋總代理店なり
エレクトリックホース護謨會社
クエカーシチー護謨會社
英國ベルスアスベスト會社
四、營業種目工業用ゴムホース
水用、スチーム用、水壓用、酸素アセチリン用、
壓搾空氣用、鑿泉用、油及ガソリン用、
吸上用、醸造用、清水用、耐酸用、
噴霧用、エヤーブレーキ用、バキューム用、
サンドブラスト用、
電氣絶緣用ゴム製品
ゴム板、電氣手袋、電氣靴、
高壓主線作業用碍管及クロスアーム、シールド
アスベスト製品
各種ピストンロッド用パツキラ用
フレンヂ、ジョイント用スーパーヒートシート

五、本社　大阪市西區靱北通四丁目拾番地
電話土佐堀一八九番五二七六番
工場及倉庫　土佐堀一七九三番
東京出張所　東京市麹町區內幸町一丁目內幸ビル內
電話銀座五五三四番五五三五番
九州出張所　門司市本町二丁目電車通り
電話二一七九番
青島出張所　支那青島湖北路二十六號
電話一八五五番
名古屋代理店　ワシノ商店
名古屋市中區裏門前町三丁目　電話南八二七、八二八
大連代理店　福昌公司　八二九番
大連市山縣通り二一三　電話七一七一番
臺灣代理店　石田和吉商店
臺北市本町二丁目　電話二二四九番
吉岡鐵店
高雄市湊町一丁目　電話一〇三三番
吉岡鐵店支店
臺北市北川町十一番地　電話一三二三番

極東護謨合資會社及
社長飯島誠也氏



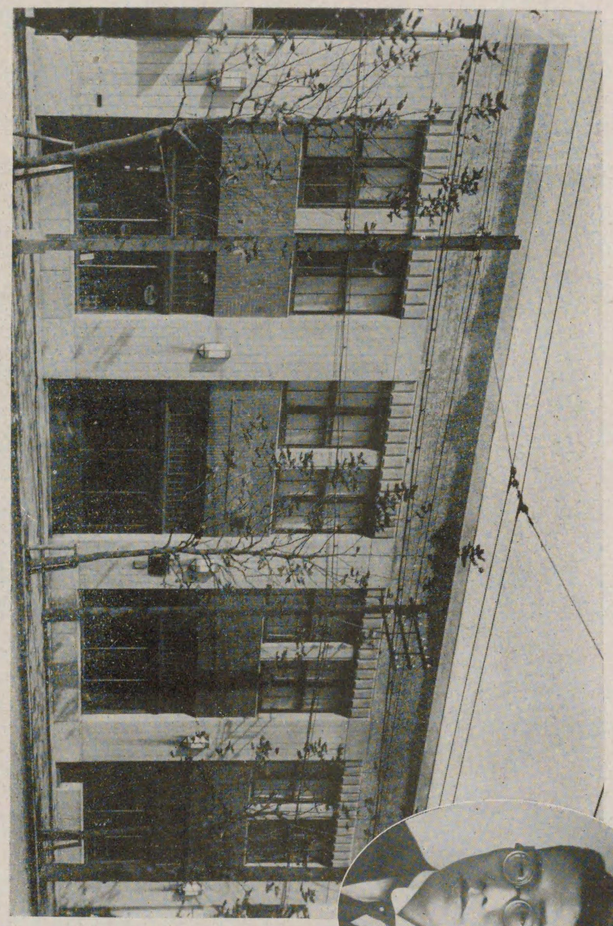
一部の庫倉同るた見りより上水

大阪市西區白髪橋南詰

大阪海事株式會社倉庫

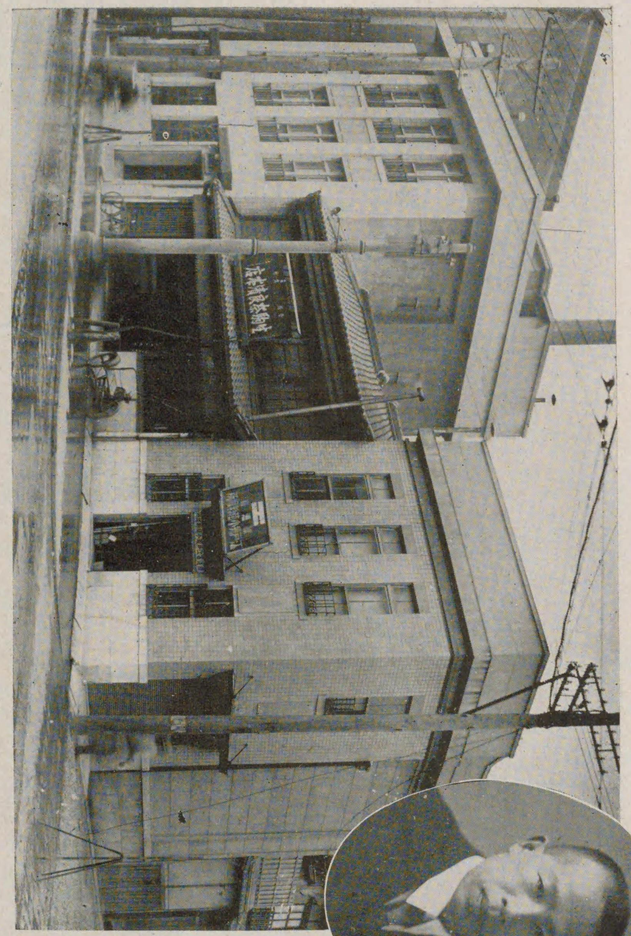
營業課目

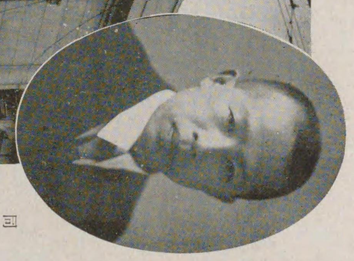
船舶用品及造船造機全般材料販賣
新古銅鐵賣買
一般工業及海軍ニ關スル仲介業
其他船舶解體、諸工場處分品引受



取締役社長　盛本坂
船舶機械部主任　大坂
庶務會計部主任　戸木
具部主任　村内
谷甲子雄
盛本貞誠
一一

三六四ニ●七八一ニ町新話電　社會式株事海阪大
地番九目丁四通南堀長西區西市阪大





同店主　生駒善次郎氏

（所要荷造鐵内店は右同●所務事店同は館洋左でつ向）店本漬良奈駒生物名阪大

大阪名物　生駒奈良漬

臺灣勸業共進會銀賞牌
大典記念大阪博覽會金牌
第四回內國勸業博覽會有功賞
金刀比羅紀念博覽會金牌
第四回日本產業博覽會金牌
米子鐵道開通紀念共進會金牌
第八回全國製產品博覽會金牌

奈良漬品目

一白瓜　一きうり
一守口大根　一にんじん
一なすび　一竹の子
一西瓜花落　一かぶら
一しようが

弊店製造味淋奈良漬は寛政二年の創業にて爾後原品の產地を撰むと幾多の經驗に依り吟味製造なすを以て大暑の候を經るも決して變味の憂なし殊に風味佳良衛生滋養に適す四季の御進物用とし又常に朝夕の副食物として之に次ぐ物なし体裁優美携帶に便なる樽入箱入鏇入等種々取揃へ有之候何卒多少に不拘御用命の程奉懇願候尚市內は弊店內に郵便局及鐵道省小荷物扱所の設備有之遠方送りは至極御便利に御座候

御注意

近頃味淋奈良漬と稱し彼の有害なる（サッカリン）或は砂糖を混じたる粗製品販賣する者續出せり希くば登錄商標生駒印に御注意の上眞正味淋奈良漬御求あらん事を又地方よりの御注文は振替貯金に依り御送金可被下候輸出向卸賣は精々御便利に御相談可致候是又多少共御注文願上候神戶市內に弊店と仝姓の奈良漬店有之候も當店に何等關係無之候間御用命の際は登錄商標に御注意願上候又市內鰻谷弊支店は本店に仝併仕候間御用向は總而本店へ御申付奉懇願候

大阪市西區江戶橋南詰南へ入（電車道角）

生駒本店

電話土佐堀一三四五九六番
振替口座大阪二四〇八番

製造本舖

通知書寫

一奈良漬

陸軍特別大演習ニ際シ　大本營內ニ陳列シ　天覽ニ供シ奉リタル前記ノ物品ハ今回　御買上ニ相成候間此段及御通知候也

大正三年十一月

大阪府印

包裝改善の先驅

パツキングケースの

聯合紙器株式會社

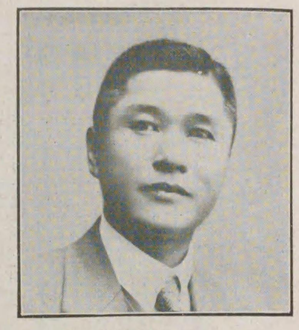
如何にして、商品を安全に且つ經濟的に輸送すべきかといふことは、一般商品の取扱に極めて重要なる問題であつて、聯合紙器株式會社が今日まで幾多の犧牲を拂ひ、パツキングケースを世に提供せる所以も、此の重要なる問題を最も確實に解決せんがためであります。即ち、荷受人には、最後の滿足を與へる、パツキングケースは、實に商品界を橫斷する商品といはねばなりませぬ。即ち當社は本邦包裝改善の先驅者として、大阪西淀川の製紙工場を始め東京、名古屋、川崎、小倉、京都の各地におのおの工場を有し原紙の製造より加工販賣までの一過程を一企業で行ふ本邦最大の專門的包裝紙器製造業として斯界に活躍しつつあります。社長、井上貞治郎氏亦實に本邦段ボールの創始者にして、現に「段ボ・ル」の名稱も同氏の命名せるものなるに徵しても如何に同社が我が國包裝界に古き歷史と獨歩的地位を占めつゝあるかといふことが明かであります。

斯の如き完全なる模範的工場に於て他の追從し能はざる獨得の技術と設備とによりて科學的に製造せられつゝある同社製品は防水完全紙質頗る强靱にして現に遞信省鐵道省に於て理想的荷造函パツキングケースの標本として推賞せられつゝあります。

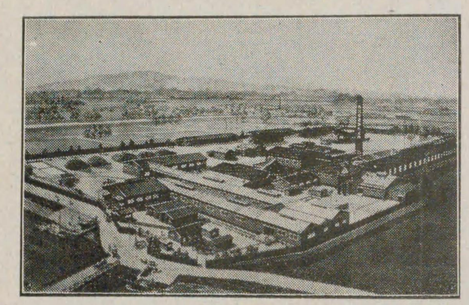
經歷の大略

當社は創業明治四十二年、三成社を繼承資本金貳百萬圓の株式組織を以て設立し工場を東京本所、大阪天王寺、名古屋仮田町、川崎市南河原、小倉市西魚町に設置す、大正十二年五月、大阪市西淀川區佃町日本製紙株式會社を合併し、資本金を貳百貳拾萬圓に增資し製品原紙の自給足を實現せり、仝年九月東京工場は大震災の厄に會ひ全滅せるも直ちに再築復活せり、後新に京都市に加工場を設け、名古屋、東京、大阪、各工場の大增築を行ひ以て今日に及べり。

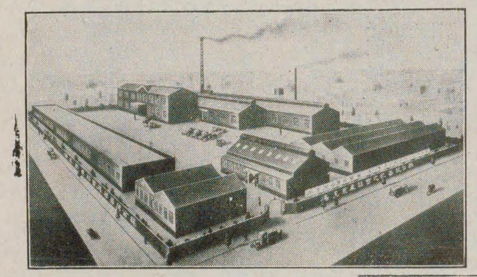
尙、大阪市東區北久寶寺町二丁目に本社及營業所の事務所を鐵筋コンクリート三階にて淸水組の手により目下建築中。



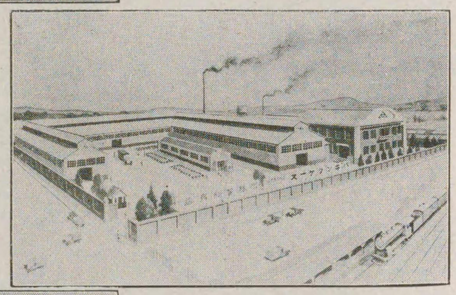
社長　井上貞治郎氏



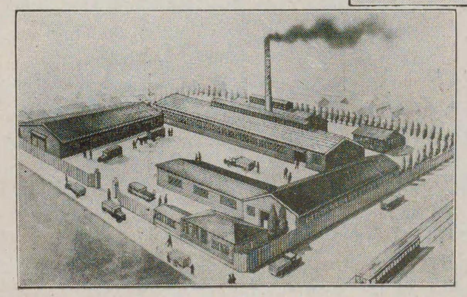
大阪第一工場



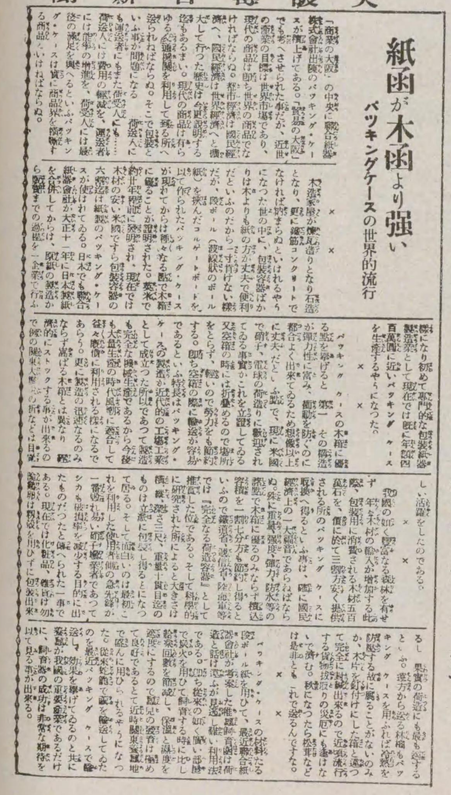
東京工場



小倉工場



名古屋工場



大阪毎日新聞

紙函が木函より強い

パツキングケースの世界的流行

聯合紙器株式會社

本社

大阪市東區博勞町二丁目三〇
電話船場三八六〇

重役

專務取締役社長	井上貞治郎
常務取締役	荒井貞榮
取締役	田村貫一
〃	河口明
〃	野崎清二
〃 支配人	山木清
〃 支配人	長谷川進
〃 支配人	中村憲
〃	加島安治郎
〃	佐々木貞太郎
監査役	立川龍
〃	田宮眞太郎
〃	岩崎喜三郎
〃	坪川恒平
顧問	松井安吉

營業所

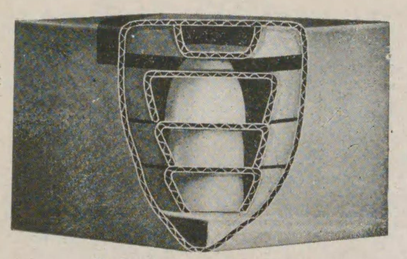
大阪營業所	大阪市東區博勞町二丁目三〇番地 電話船場(一一二八、一一二九(長四九一五、一五九九
東京營業所	東京市本所區太平町一丁目一番地 電話墨田五〇五、五〇六
名古屋營業所	名古屋市中區御器所町江越十六番地 電話南三六九、三八六九番
小倉營業所	小倉市西魚町十一番地 電話小倉長五五〇番
京都營業所	京都市上京區東洞院御池下ル四三四 電話本局四一七四番

工場所在地

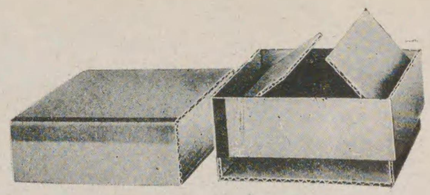
大阪第一工場	大阪市西淀川區佃町
大阪第二工場	大阪市住吉區天王寺町
東京工場	東京市本所區太平町
名古屋工場	名古屋市中區御器所町
小倉工場	小倉市西魚町
川崎工場	神奈川縣川崎市南河原
京都工場	京都市東洞院御池南

す影撮りよ上機行飛を場工阪大社會式株器紙合聯

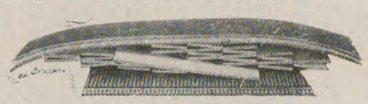
(場工本は印×)



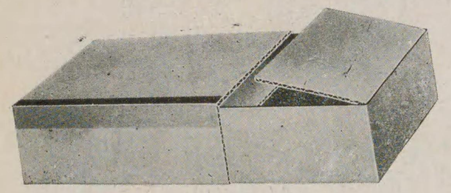
巧妙なる電燈笠の包裝



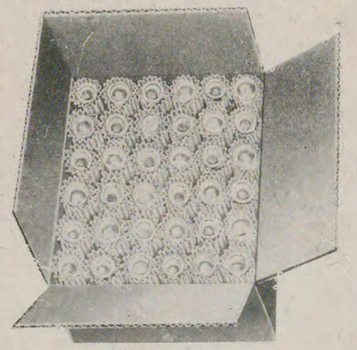
F型 No1（三つ組引出し式）



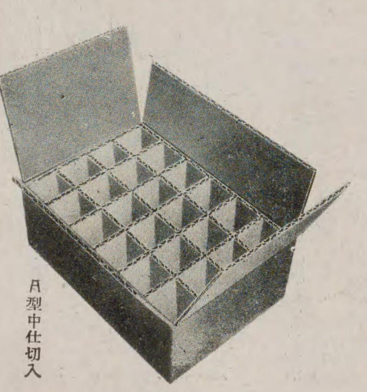
中仕切及瓶巻



F 型 No3



完全なる包裝の實例



月型中仕切入

パッキングケースの特長

一、堅牢で安全

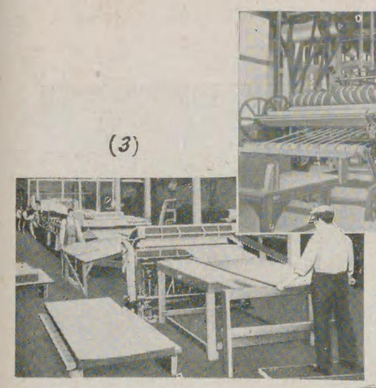
パッキングケースは、紙質の强靱なるボードによりて製函せられ、其の原紙抄造より製函に至る迄、凡て、科學的に且つ合理的に研究して、製造せられたるものでありますから、普通の木箱や、その他の荷造函よりは、非常に堅牢で木箱の如く、板がこわれて釘がぬけ、其の全部が破壊せらるゝ樣なことは、絶對にありませぬ。

二、輕くて、運賃が安くつく

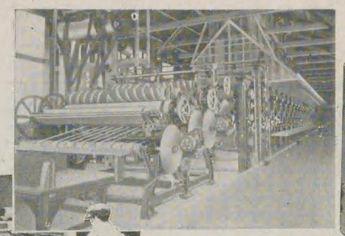
こんなに、丈夫な函でありますが、函自體の重量は、極く輕く、普通木箱の重量の約三分の一以下であります から、運送上の取扱ひが簡便なため、内容品のいたむ心配もなく且つ運賃が大變安くつきます。

次は、最近大阪三越呉服店食料品部より、北米合衆國へ内地食料品を聯合紙器株式會社製造のパツキングケースにて荷造し、送附したる荷受人の返書である。眞に優良の荷造函なるを證する書翰なるにより原文を掲ぐ。

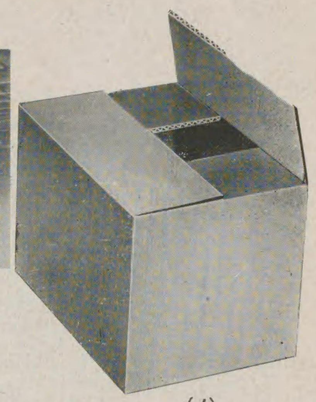
（包裝荷造の研究より）



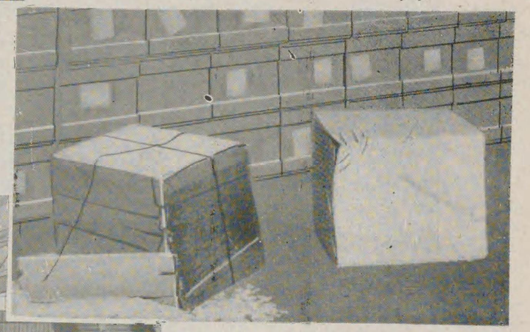
(3)



(2)

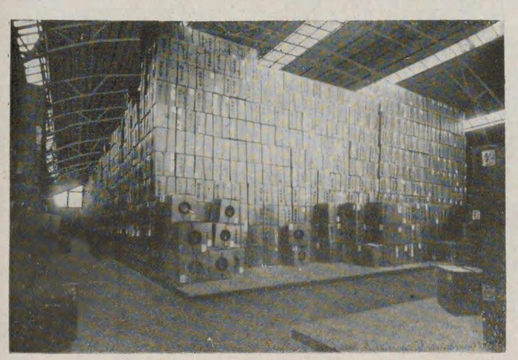


(1)



(5)

(4)



(6)

米國に於ける耐水試驗

(1)現代世界的流行のパッキングケースの一(2)同社大阪工場にて使用せる機械のシマ下ポトーゲルコ式新最(3)部落墜所高の箱木とスーケグンキツパ(4)堅牢試驗(5)倉内庫に折疊んで貯藏の狀況(6)倉内庫積置の實況

大阪三越吳服店食料品部御中

北米　若林市太郎

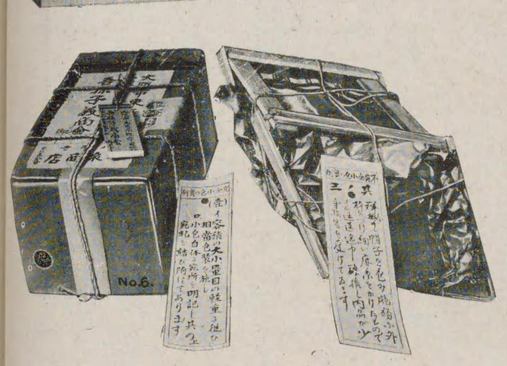
拜啓、貴店益々御清榮奉賀候一昨日小包三個正に接手仕候、御手數の段奉謝候

內容左記の通りに御座候

一、砂糖饅頭　二一
一、白玉粉　一
一、嘯あん　一
一、白あん　一
一、煮　豆　一
一、羊　羹　二
一、足　袋　一
一、菊の香　一
一、味の素中二
一、蜂　蜜　六
一、菊の露　一
一、さされ石　一
一、繪　本　五
一、玩　具　一

今回は、外裝及內容品破損變質無之非常に、滿足なる狀態に到着仕候。今回御使用の厚紙箱（註聯合紙器株式會社製造のパツキングケース）は從來の木箱に比し、外裝の包紙を傷めず取扱にも便且つ又小包料金も低廉に相成り結構に御座候（下略）

パツキングケースの用途と實例



パツキングケースの全完荷造（左）
と木枠の不完全荷造（右）

三、貯藏に場所を取らぬ

パツキングケースは、折疊自在ですから貯藏場所を大變節約いたします。木箱百箇を置き得る場所には、優にパツキングケースを折疊んで、二千個以上を貯藏し置く事が出來ます。

四、荷造は、たやすく、拔荷が出來ない

パツキングケースは、輕くて、きれいですから、取扱が簡便で、箱詰、荷造に至極便利であります。木箱のやうに、金鎚や、釘を使はず、女、小供が、疊の上でも、たやすく荷造をすることが出來て、勞力と費用を省くのみならず、一度荷造すれば、絕對に完全で、中々拔荷が出來ません。

五、內容品は頗る安全

パツキングケースのコルゲートボードは、彈力性を有し、衝動防止の特質に富んでおりますから硝子器や、陶磁器類の如き易損品と雖も其の破損を極度に減少することが出來而も材料の中間（段の間隙）に介在する空氣によつて巧みに溫度を調節し、內容品の變質を防止し、その上、防水、防濕完全ですから內容品は頗る安全です

六、廣告に利用して、効力絕大

體裁が優美で、氣がきいておりますから、いかにも內容品が優秀に見えるのみならず、美しい印刷をする事が出來ますから、これを廣告に利用すればその效果は絕大であります。

パツキングケースの用途と實例

パツキングケース御使用の方面は非常に廣汎ですが現在御使用先の主なる商品名を擧ぐれば……。

呉服太物、和、洋被服、シヤツ、カラー、半襟、ネクタイ、洋服附屬品、髭柳、簪、リボン、造花、帽子、手袋、肩掛、膝掛、蚊帳、蒲團、手巾、タオル、生糸、羽二重、小間物、袋物、レース、カタン糸、毛糸、編物、組紐、羽織紐、木綿糸、絹糸、テープ、廊苧、扇子、團扇、玩具、敎育、模型、足袋、靴下、鼻緒、爪掛、靴、靴藝、履物、草履、洋傘、ステッキ、メリヤス類、毛布、絹、綿、羅紗製品、雜穀、素麵、干饅飩、食料鑵、瓶、

小包、小荷物の荷造改善に就て

一、現在大阪市內にて一ケ年約七百萬個の小包、四百萬個の小荷物、合せて、壹千壹百萬個以上といふ驚くべき多數の小包小荷物が發送せられております。

二、これ等の小包、小荷物の多くは、荷造が頗る粗雜であつて、輸送中破損する物が夥しく其の中で破損が餘りに甚だしくて、修理を加へられる數が、郵便小包丈けで一ケ年八十五萬個の多きに達し、是れに要する延人員五千四百人、時間にして實に四萬五千時間と云ふ莫大な數に上つて居ります。

三、以上の樣な狀態でありますから、遞信、郵便、鐵道、當局に於ても如何にして、これ等の事故を減少することが出來るかといふことについて、いろ〳〵苦心せられて居ります。

四、が……結局荷造は出來るだけ親切に、そして完全にするやう差出人がお互に氣をつけたなら、斯樣な事故はなくなること、思ひます。

五、それには現在、世界的流行の荷造函で、小包、小荷物に最も理想的である、パツキングケースを使用するのが一番よいので、現に歐米各國でも小包や、小荷物の荷造には殆んどすべて、これを使用しております。

六、現在、我が大阪市では未だ以上の數の約五%より需要がありませんが、當社が各方面に於て、實際調査した結果によりますとこれ等の荷物の五〇%以上はこのパツキングケースを使用せねばならぬと思ひます。

七、即ち一ケ月に約壹百萬個の五〇%五十萬個以上のパツキングケースが小包、小荷物として需用があらねばなりません。

八、それで、當社は此度營業上の責任から、これが徹底的普及をはかるため宣傳につとむると共に市內の各郵便局、荷扱所の附近その他、樞要の地にこれが特約販賣機關を撰定し、一般の需要に應じたいと思ひますから何卒社會のために、精々このパツキングケースの普及に御盡力下さる樣、お願ひ申します。

大阪市東區博勞町二丁目三十番地

聯合紙器株式會社總務部規畫係

電話船場（38）三八六〇番

株式會社 萬成社

大阪市東區今橋五丁目三十九番地
電話本局(長)二一六八番二一六九番
振替口座大阪四七九一四番

資本金 貳拾壹萬六千圓
創業 明治二十九年

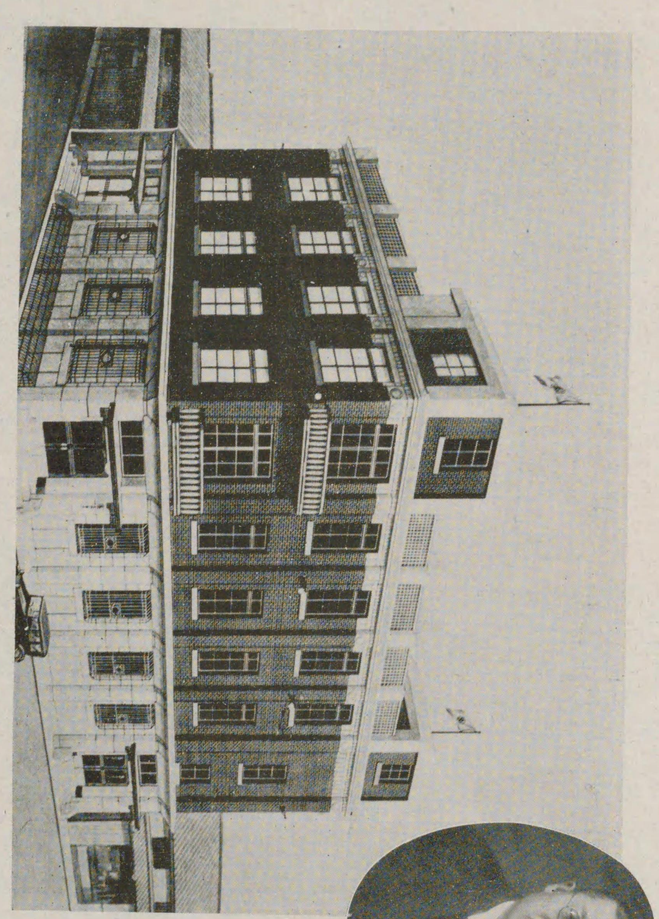
役員

專務取締役	中尾金松	監査役 小久保信重郎
取締役	小久保常二	監査役 小西義一
取締役	小久保信之助	
取締役	木戸作之丞	相談役 安藤雄

營業科目

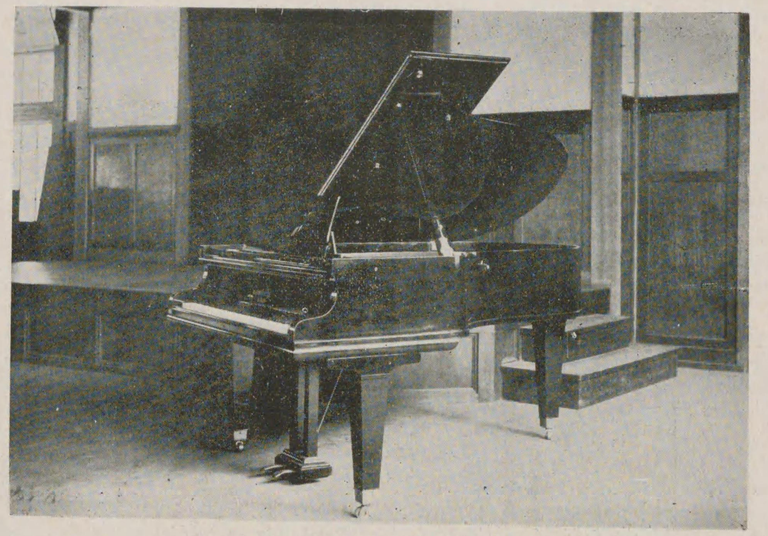
一、土地建物の賣買幷に其媒介
一、土地建物の擔保貸付幷に金錢貸借の媒介
一、土地建物の管理受託
一、土地建物の評價鑑定
一、資金運用の受託
一、土地建物の經營幷に其受託
一、土地建物の貸貸借幷に其媒介
一、土地建物の登記手續事務の代行
一、土地建物の測量製圖
一、債權の取立債務履行
其他不動産に關する一切の業務

沿革 當會社は萬成舍の後身で、從事員の多くは其當時よりの勤續者であります。萬成舍は小久保信太郎氏の個人經營で、不動産取引の敏活を主眼としたのでありました、處が當時は不動産を他に讓渡すことを、非常なる不名譽の如く思惟せられ、中々活潑なる取引は望むことが出來なかつたのであります。併しながらいつしか此因習も打破せられ、一般商取引の進むに連れ、不動産も亦一種の商品として取引せられ、資本漸次活動の期に入らんとするに際し、不幸小久保氏他界し越へて大正十五年三月、一時世間の注意を喚起したるも、幾何もなくして平常に復しました。當時經濟界の趨勢は、主務省の方針と相俟つて、大資本に依る信託會社設立經營の傾向を示して居りましたから、茲に信託業の前途に鑑み、加島銀行系統の經營に移し、後に加島信託株式會社に合併せらるゝに至りたる際、別途に設立せられたものでありまして、不動産に關する業務に付ては、萬成舍以來の傳統的精神を踏襲せるものなるのみならず過去幾多の經驗に立脚して斯界の前途を達觀し時勢の推移に適應して善處せんことを期して居ります。以上は當會社沿革の大要でありますから、何卒御諒承の上一層の御同情と御援助とを賜はらんことを切望する次第であります。



萬成社會式株

專務取締役 中尾金松氏



岡本洋行特約　ヤマハエヒテンテ平型ピアノ

同　上　ヤマハエヒテンテ竪型ピアノ

岡本洋行店主及氏

岡本洋行全景

岡本洋行店主曰く　世界何れの國にても若極端なる外國品輸入の壓迫は時代錯誤である世界各國は夫々世界の長を取りて互に利し聽ては自國の製産を改良進歩せしむることが肝要である、すべからく學問の爲には國境はありません、かくてこそ各國民相互に努力して創作力を增し能率を高めしむる譯である、極端なる國産愛用の聲は却て國産奨勵、貿易振興上の予盾である宜しく國産奨勵と共に大に世界の長を求むべきである、吾等音樂を愛する上よりも音樂を進むる上よりも樂器販賣の上よりも此意味に於て內外何れのものにても其長を採り何國品、何品種、何商店に限るなどと云ふ世の弊風を退けて誠意ある仕事をして行き度いのです私の店はそんな積で商道を往來して居ますどうか御引立被下ませ。

奥田染工株式會社

社長　奥田和三郎氏

奥田の學生服なるものが其の不變色の特色と獨特の近世的販賣組織を以て今や燎原の火の如く全國を席捲しつゝあるもの寔に無理からぬ所と云ふべきだ、元來奥田氏は非常に研究心の明感な人であつて、其頭腦は分解的によく働いてゐる、氏は別に學歴の誇り得るものあるを聞かぬが、然も其の獨學的研究は世人の想像以上に深き所迄で達してゐる氏は生れながらにして學者的天分を備へてゐる人なのである、智識慾が頗る旺盛である、何事にも論理的に行き、數理的に行く「理」を重んずる人である、從つて處世的には實に義理堅き性分の人であり、權利觀念よりか義理觀念が發達してゐる側の人であるだから、信用を重んじ、違約を嫌ふ事が甚だしい、氏が各地方に自家製品の優秀にして然も安價なるを宣傳するに頗る努めてゐるが、然も氏の宣傳は決して一を二にも三にも誇張する所謂宣傳ではなく、氏自身自ら信じて云はざらんとして能はざる實質に付いて絶對信念を以つの一を一とする社會的表現としての宣傳である、だから氏の宣傳には斷じて嘘がない、自ら求むるなくして信義の人となつてゐる、氏の製品が此處二三年ばかりの間に著しき發展を遂げたのは、時勢の要求に適合した製品の提出が眞實によつて裏付けられたからに外ならぬのである、而して氏は右の理義的性分に加ふるに前にも云つた如く、剛毅不屈の邁進的勇氣に豊富である、負け嫌ひである、千萬人と雖も我れ行かんの氣象に富んでゐる、自己の運命を開拓するに發悧を決して避けようとしない、難關に出逢つて却て氏の勇氣は百倍するのである、そしてよく人を使ふの術を知つて居る、何處にか親分肌の所がある、氏の部下が手足の如く働いて苟くも違反せざる所以である、既に自家製品に對する實質的自信を有し、之れが普及が社會的利益たる所以に自覺してゐて、而して邁進的勇氣の異常なるを以てす、四六時中席暖るの遑なく活動を續け、其の活動が着々と奏功するもの、自然の理と云ふべきであらう、氏は又一面には美的趣味が發達し、高尚なる趣味眼を備へてゐる、氏の製品が學生服其他實用向を專らとしながら何處かに「美しさ」の趣味的點眼を以てするもの此處の性分が不知不識扱品に光つて來るからとなさねばならない、加ふるに商機を捉ふるの機敏性と應用的智能の發達を以てす、氏の前途は此等の性分の發揮と不斷の製品の向上改良と、四時懈りなき普及的宣傳とにより一層の大をなすであらう、而して氏の大をなす事が直に社會的利益の增進なるに鑑み、氏の如きは實によく自他利益の一致の悟道を體得した人物と稱してよい。

兵庫三和田奥長社及場工染社會式株工染田奥

社會式株㊞工染田奥

同社工場に於ては米國イーストマンミシン會社製電力裁斷機及最新式穴掛自動機等を多數設備し從來の手工的作業を全部電力化し大量製産にて製造なし居れば如何なる注文と雖も迅速且つ廉價に提供し得る準備あり。

日本染料製造株式會社概要

一、設立の理由

わが國には昔から染料としては藍とその他數種の植物染料が產出したばかりであつて、時代の進展と共に到底これ等のみでは國內の需要を滿たすことが出來ないから、コールタール染料は勿論のこと、藍やログウット等の植物染料の大部分をも輸入して居つたのであります。

ところが大正三年八月に起つた歐洲大戰は、當時殆んど世界全体のコールタール染料の唯一の源泉であつた獨逸からの染料供給を杜絕したので、わが國の如き專らこれに依つて居つた國は非常な缺乏を訴へ、染料の市價は飜然數十倍の暴騰を示したのであります。

かかる時に際し、この染料飢餓を救濟せずして拱手大戰の終熄を待たんか、わが纖維染色工業が次いで餓死の危きに瀕するのは火を睹るよりも明かなことであります。之を憂ふると共に又他方に於て、染料工業は即ちコールタール工業であつて化學工業全般の基礎をなし、同時に國防上重大なる火藥工業とは兄弟の親しみを持つものであるから、之を獨立せしめ、わが國が需要する染料の自給自足を計ることはわが國にとつては緊切であるとの意見が政府當局と民間有志の間に一決し、大正四年十月法律第九號を以て染料醫藥品製造奬勵法が發布せられ、これに基づいて政府の補助の下に一の國家的染料製造工場を設立することとなり、かくて生れたのがこの日本染料製造株式會社であります。

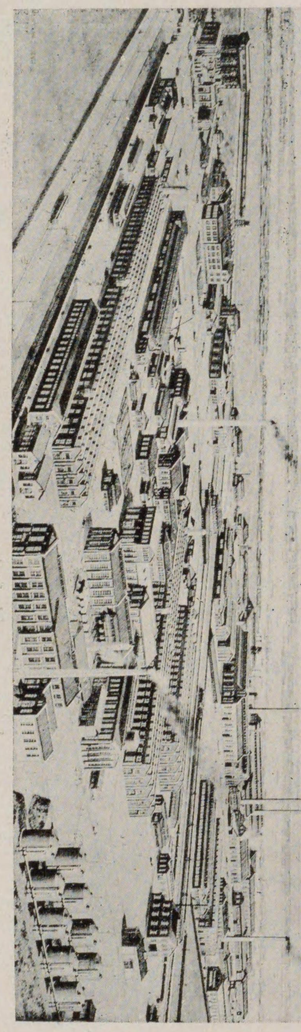
二、沿　革

會社は前述の奬勵法により向ふ十ヶ年間政府から年八朱の配當保證と缺損の補給の下に大正五年二月廿五日、八百萬圓の資本金を以て創立せられ、先づ東京市に本店を置き、五月、工場を現在の地にし、七月染料の研究竝に試製を開始し、次で工場の建設に伴つて製品の種類竝に數量を增加して行きました。

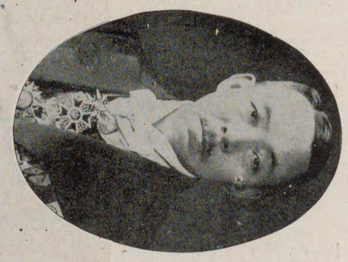
大正七年一月、本社を現在の地に移し爾來、製造能力、技術共に日進月步の有樣で、大正十四年十月政府からの補給が滿了した後は獨立獨行、以て國產染料の自給自足の大目的のために努力して居る次第であります。

而して現在に於ては我が國が需要する主なる染料の種類も數量も共に過半を供給するに至りました。其の數字は次に示す通りであります。

同社部長
工學博士
三好久太郎氏



景全社會式株造製料染本日



同社々長
稻畑勝太郎氏

〔日本染料株式會社概要つゞき〕

三、現況

（イ）資本金　八、〇〇〇、〇〇〇圓
（ロ）工場敷地　三四、〇七一坪
　　建物　一〇、八〇五坪
（ハ）人員　職員　一四七人
　　職工　四七五人
（ニ）製造品種

	商品として市場に出せる品種數	研究完了せる品種數
コールタール染料	七一	二五一
中間物	七一	二一一
助劑醫藥其他	二一	三四
合計	一六三	四九六

（ホ）製造能力（年額）
コールタール染料（人造藍及び黒色硫化染料を除く）　一、二〇〇、〇〇〇キログラム
アニリンオイル　一、二〇〇、〇〇〇キログラム

四、我國に於ける染料需給の大勢

單位 輸量トン（一〇〇〇キロ） 金額 萬圓	消費量	生産力 當社	生産力 社外	輸入 大正二年（前戰） 數量	輸入 大正二年（前戰） 金額	輸入 大正九年（戰後） 數量	輸入 大正九年（戰後） 金額	輸入 大正十五年 數量	輸入 大正十五年 金額
コールタール染料（黒色硫化染料及び人造藍を除く）	二、二五〇	一、二〇〇	六〇〇	二、六〇〇	二、二〇〇	五四四	二、〇一〇	六五六
人造藍	一、二〇〇			九九〇	三二八	二二〇	四七	一、一五〇	二六一
黒色硫化染料	三、〇〇〇		六、〇〇〇	二、一〇〇	二二〇				
アニリンオイル	一、八〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇						

五、役員

取締役社長	稻畑勝太郎	
常務取締役	稻畑二郎	
取締役	大橋新太郎	
取締役	藤山雷太	
取締役	渡邊千代三郎	
取締役兼技師長	三好久太郎	
監査役	淺田德則	
監査役	湯川忠三郎	
相談役	馬越恭平	
技術顧問	高松豊吉	
技術顧問	下村孝太郎	
法律顧問	岸清一	
法律顧問	勝田永吉	
支配人	森山勇三郎	

前川合名會社沿革

前川合名會社は前身、伊丹屋と號し家祖善兵衛氏享保年間創業せしより迄に三百有餘年の舊家にして中興文榮堂前川善兵衛商店と稱し南久寶寺町心齋橋筋に於て書籍出版を業とし傍ら樂器、運動具、教育品等を販賣して我國最古の信用ある考舖なりとして斯界の第一任者なりしがたまたま大正元年不幸にして全燒の厄に會ひしかば現代表社員前川艮能氏分家の身なりしが此危急を救ふべく奮然其責に當り大正二年現住所南區鰻町通三丁目三七番地前川善造氏と共に法人前川合名會社なるものを設立し其代表社員となり、日夜奮闘事績の發展に力を盡されたり、機を見るに敏なる同氏は時代の趨勢に從ひ新時代の要求すべき上記一、教育品部、一、樂器運動具部、一、書籍部の三部を改善併設されたり。

殊に教育品部を理化學器械、博物學標本等の如きは其初め未だ各學校に於ける設備の不備にして且つ各製作販賣せるもの、無理解にして疎惡なるを歎き第二の國民となるべき兒童をして幸福にして最も理想的なる教具を以て教授を受けしめんが爲め利益を度外視し以て其製作に從事し國家社會の爲め損失に甘んじつゝ歐米諸外國の勝れたる教具を輸入し其長所を取り益々改良に改良を加へ專門諸大家の御指導のもとに最新式にして理想的なる現化學器械、博物學標本を製作、斯界に提供し今や東洋屈指の教育品業者として內地は勿論朝鮮、台灣等の津々浦々の各小學校中等學校より多大の御用命を蒙り非常なる賞讃を博しつつあり。

其他各部共非常なる進取的にして大正十四年には業務の發展につれ三階建鐵筋コンクリート洋館を建設し今や業界第一者として今日の隆昌をなしつゝあるは之れ代表社員前川艮能氏を始め社員一同の奉仕的犧牲謹心の發露のしからしむる敢て過言にあらざるなり。

前川合名會社

大阪市南區鹽町通三丁目

電話船場一三〇五番
振替大阪二一九番

◆營業科目

教育品部扱品

物理學器械
化學用器械
博物學標本
生理衛生標本
天文學用器具
各種實驗用具
度量衡計量器
其他學校設備一式

樂器運動具部扱品

和洋諸樂器
音樂隊用具
各種ハーモニカ
体育用器具
運動用器具
野球庭球用具

書籍部扱品

各種音譜發行
都山流尺八音譜發行
中等學校各教課書
其他各種書籍

◆販路（各部）

內地、四國、九州、北海道、樺太
臺灣、朝鮮、滿洲、南洋、北米太
平洋岸、支那、

◆仕入地（各部）

大約自家工場製品
東京、京都、臺灣、獨乙、米國、
佛國、英國、

同社代表社員　前川良能氏

旭ハガネ

近藤商店の業容

大阪市西區靱南通四丁目に店舗を有するハガネ商近藤喜兵衛氏は、鳥取縣日野郡根雨町に產れ、現在郷里根雨町に總本店を置いてゐるが、製鐵業者としては本邦屈指の古顏で、和鐵が漸次舶來品に壓倒されるやうになつたので、明治四十年頃から舶來品のハガネを取扱ふと共に、大阪に店舗を設け主として英國、スエーデン、オーストラリヤ獨逸方面のハガネの直輸入をなし、之に旭ハガネの名稱を附して全國的に賣り擴めてゐるが一般鐵類に比して相場の變動が少く且つ必需品である爲め、逐年賣行きも增加し、關東方面には東京に山崎鋼商店の名稱の下に支店格として經營されてゐる。而して總本店は、林業を主とし、山陰、山陽、兩道に跨がり、多くの林野を經營し、副產物たる木炭の製品も相當多額に達してゐる。更に大阪府下堺市に醋酸製造工場を有し全部主腦部には子息をして之に當らしめ、着々として業績を擧げつゝある。同店の全體は旭ハガネの販賣にあるが大阪の店舗は業界に於て夙くより一流の商店として信用を博してゐるが、同店には四十年も勤續せる深田要治氏が支配人となつて、大阪店舗に采配を振るつてゐるが、元來近藤家は百數十年に亘る山陰切つての舊名門である爲め、店則として堅實主義の外業容に無理がないのが、他に類例の少ない特長である。而して近年賣行きが增加の傾向を辿つてゐるので、從來倉庫では何時も不足勝な處から、這回相當多額の犧牲を拂つて市內阿波堀通り四丁目に二百坪內外の土地を購入し、之に鐵筋骨の建築をなし、鋼材倉庫としては最新式の理想的模範裝置を施し、如何なる大震災にもビクともしないとは深田支配人の自慢談である。

工具用道具用
好材料用物用
鐵山用及

旭ハガネ

英國サミュエルオスボン製鋼所
瑞典國フォースバッカー製鋼所

旭ハガネ發賣元
大阪市西區靱南通四丁目
近衛喜兵藤商店

電話土佐堀（一）（持長）七八八番、五五四番
七八九番、七七六番
振替口座大阪壹九六四番
受信略語（ヲサカ）コンドウハガネ
發信略語（コキ）又ハ（コ）

旭ハガネ倉庫

同上營業所

同上　倉庫內部

◆一般取引員

東區北濱二ノ七四　加島安治郎
東區今橋二ノ六　竹原莊治郎
東區北濱二ノ六八　濱崎辨之介
東區北濱二ノ一六　豊田喜三
東區今橋一ノ九　八田兵次郎
東區北濱一ノ一八　細字榮
東區北濱二ノ七九　岩本房吉
東區今橋二ノ五九　坂口彦三郎
東區今橋二　小川平助
東區北濱二ノ七六　山内卯之助
東區今橋二ノ三一　廣藏
東區北濱二ノ七二　井上德三郎
東區北濱二ノ七七　越ケ谷伊太郎
東區北濱二ノ二〇　靜藤治郎
東區今橋二ノ三〇　麻生唯右衛門
東區北濱二ノ五四　大津喜次郎
東區北濱二芝六商店内　黒川幸七
東區北濱二ノ四五　草川求馬
東區今橋一ノ八　澤野貞次郎
東區今橋三鴻池ビル内　曾根良吉
東區今橋二ノ五　森下春造

◆短期取引員

東區北濱二ノ六九　海老友次郎
東區高麗橋三ノ七　吉備後町二ノ六〇　吉田榮吉
東區北濱二ノ七六　芝田大吉
東區北濱二芝大商店内　濱崎辨之介
東區北濱二ノ六七　高木又次郎
東區今橋二ノ九　加賀慶之助
東區今橋二ノ三六　伊藤銀三
東區北濱二ノ二〇　帶谷傳三郎
東區北濱二ノ一　水野重義
東區北濱二ノ二五　龍見千太郎
東區北濱二芝大商店内　黒川福三郎
東區北濱二ノ六二　今川宗三
東區北濱一ノ一六　武田憲治郎
東區高麗橋一ノ六　渡部善兵衛
東區北濱二ノ二二　金田辰藏
東區高麗橋三ノ七　大阪商事株式會社
東區北濱二ノ六九　第一證券株式會社
東區北濱二ノ五四　不破福造
東區北濱二ノ九二ノ一　福田籌商事株式會社
東區北濱二ノ七一　香川琢磨
東區本町二ノ四〇　松式會社大阪屋商店
東區北濱二ノ二〇　富和靖介

東區北濱二ノ六七　伊藤圓藏
東區今橋二ノ三〇　竹村松兵衛
東區高麗橋三ノ七七　齋藤菊三郎
東區北濱二ノ一三　林吉
東區北濱野村ビル四階　大阪商事株式會社内　本和男
東區北濱二ノ六七　荒鹿之助
東區北濱二ノ九四　雜賀米吉
東區北濱一ノ四　田島愛之助
東區今橋一ノ一　山田初治郎
東區北濱一ノ九　朝田卯一
東區北濱一ノ二〇　井庄藏
東區北濱二ノ一四五　吉村鹿之助
東區北濱一野村ビル四階　山縣龜太郎
東區北濱二ノ一〇　大阪三品商事株式會社内　八田福雄
東區北濱二ノ七一　田中信三
東區北濱一ノ二六　文箭左太六
南區鰻谷通三ノ六　賢治
東區北濱二ノ二五　中村豊三郎
東區北濱二ノ五四　羽間佐五郎
東區淡路町二ノ四九　竹中嘉藏
東區北濱二ノ七四　廣田清左衛門
東區北濱二ノ六六　武鹿銀次郎
東區今橋二ノ三〇　若林誠介
東區北濱一ノ三七　辻楠松
東區北濱一ノ二三　石村林吉
東區北濱野村ビル四階　大阪商事株式會社内　栗本和男
東區北濱二ノ六七　大和田好三郎
東區北濱二ノ七六　濱崎辨之介
東區北濱二芝大商店内　高木又次郎
東區今橋二ノ九　加賀慶之助
東區今橋二ノ三六　伊藤銀三
東區北濱二ノ一四　帶谷傳三郎
東區北濱二ノ一九　水野重義
東區北濱二ノ二五　龍見千太郎
東區北濱二芝大商店内　黒川福三郎
東區北濱二ノ六二　今川宗三
東區北濱一ノ一六　武田憲治郎
東區高麗橋一ノ六　渡部善兵衛
東區北濱二ノ二二　金田辰藏
東區北濱二ノ七七　越ケ谷伊太郎
東區北濱二ノ二〇　靜藤治郎
東區今橋二ノ三〇　麻生唯右衛門
東區北濱二ノ五四　大津喜次郎
東區北濱二芝六商店内　黒川幸七
東區北濱二ノ四五　草川求馬
東區今橋一ノ八　澤野貞次郎
東區今橋三鴻池ビル内　曾根良吉
東區今橋二ノ五　森下春造

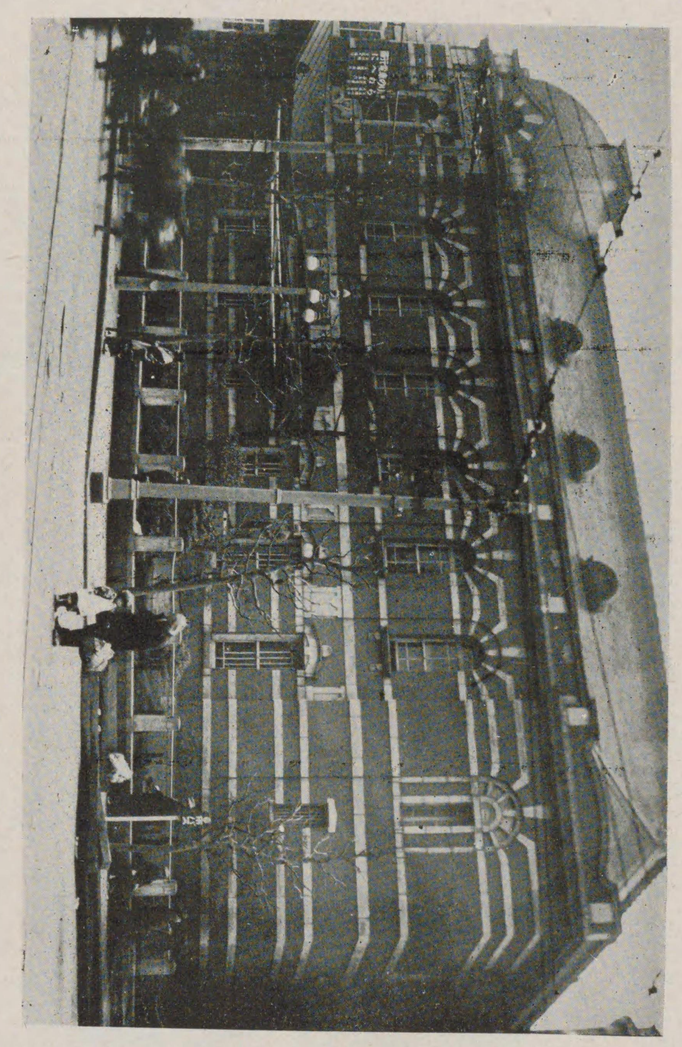
◆短期取引員

東區北濱二ノ六九　海老友次郎
東區高麗橋三ノ七　吉備後町二ノ六〇　吉田榮吉
東區北濱二ノ七六　芝田大吉
東區北濱二芝大商店内　濱崎辨之介
東區北濱二ノ六七　高木又次郎
東區今橋二ノ九　加賀慶之助
東區今橋二ノ三六　伊藤銀三
東區北濱二ノ一四　帶谷傳三郎
東區北濱二ノ一九　水野重義
東區北濱二ノ二五　龍見千太郎
東區北濱二芝大商店内　黒川福三郎
東區北濱二ノ六二　今川宗三
東區北濱一ノ一六　武田憲治郎
東區高麗橋一ノ六　渡部善兵衛
東區北濱二ノ二二　金田辰藏
東區高麗橋三ノ七　大阪商事株式會社
東區北濱二ノ六九　第一證券株式會社
東區北濱二ノ五四　不破福造
東區北濱二ノ九二ノ一　福田籌商事株式會社
東區北濱二ノ七一　香川琢磨
東區本町二ノ四〇　松式會社大阪屋商店
東區北濱二ノ二〇　富和靖介

東區北濱一ノ三七　辻楠松
東區北濱一ノ二三　石村林吉
東區北濱野村ビル四階　大阪商事株式會社内　栗本和男
東區北濱二ノ六七　荒鹿之助
東區北濱二ノ九四　雜賀米吉
東區北濱一ノ四　田島愛之助
東區今橋一ノ一　山田初治郎
東區北濱一ノ九　朝田卯一
東區北濱一ノ二〇　井庄藏
東區北濱二ノ一四五　吉村鹿之助
東區北濱一野村ビル四階　山縣龜太郎
東區北濱二ノ一〇　大阪三品商事株式會社内　八田福雄
東區北濱二ノ七一　田中信三
東區北濱一ノ二六　文箭左太六
南區鰻谷通三ノ六　賢治
東區北濱二ノ二五　中村豊三郎
東區北濱二ノ五四　羽間佐五郎
東區淡路町二ノ四九　竹中嘉藏
東區北濱二ノ七四　廣田清左衛門
東區北濱二ノ六六　武鹿銀次郎
東區今橋二ノ三〇　若林誠介
東區今橋一ノ四　竹村松兵衛
東區北濱一野村ビル七階　齋藤菊三郎
東區北濱二ノ三　田中捨三
東區北濱二ノ一五　松崎勢太郎
東區北濱二ノ二五　古塚拓治
東區北濱二ノ二三　今川每三郎
東區北濱一ノ二七　和田彌一
東區北濱二ノ一六　竹内種造
東區北濱三ノ一八　大同和藏
東區北濱二山内商店内　柴本山太郎
東區今橋一ノ八　齋藤卯太郎
東區北濱二ノ四二　池田宗七
東區北濱一ノ一六　小田末造
東區北濱二大株附屬館内　山田淺二郎
東區北濱一野村ビル三ノ七　弘一
東區北濱一ノ二七　田中梅松
東區北濱二ノ七七　越ケ谷商店内　立龜久次郎
東區今橋二ノ六　竹屋商店内　谷口善太郎
東區伏見町西ノ七　山田卯助
東區京橋三ノ五五　前川善之介
東區今橋一ノ七　田中耕三
東區北濱一ノ一六　濱口太助
東區北濱二ノ六七　川田商店内　伊藤圓藏
東區北濱一ノ三七　辻楠松
東區北濱一ノ二三　林吉
東區北濱野村ビル四階　大阪商事株式會社内　栗本和男
東區北濱二ノ六七　荒鹿之助
東區北濱二ノ九四　雜賀米吉
東區北濱一ノ四　田島愛之助
東區今橋一ノ一　山田初治郎
東區北濱一ノ九　朝田卯一
東區北濱一ノ二〇　井庄藏
東區北濱二ノ一四五　吉村鹿之助
東區北濱一野村ビル四階　山縣龜太郎
東區北濱二ノ一〇　大阪三品商事株式會社内　八田福雄
東區北濱二ノ七一　田中信三
東區北濱一ノ二六　文箭左太六
南區鰻谷通三ノ六　賢治
東區北濱二ノ二五　中村豊三郎
東區北濱二ノ五四　羽間佐五郎
東區淡路町二ノ四九　竹中嘉藏
東區北濱二ノ七四　廣田清左衛門
東區北濱二ノ六六　武鹿銀次郎
東區今橋二ノ三〇　若林誠介
東區今橋一ノ四　竹村松兵衛
東區北濱一野村ビル七階　齋藤菊三郎
東區北濱二ノ三　田中捨三
東區北濱二ノ一五　松崎勢太郎
東區北濱二ノ二五　古塚拓治
東區北濱二ノ二三　今川每三郎
東區北濱一ノ二七　和田彌一
東區北濱二ノ一六　竹内種造
東區北濱三ノ一八　大同和藏
東區北濱二山内商店内　柴本山太郎
東區今橋一ノ八　齋藤卯太郎
東區北濱二ノ四二　池田宗七
東區北濱一ノ一六　小田末造
東區北濱二大株附屬館内　山田淺二郎
東區北濱一野村ビル三ノ七　弘一
東區北濱一ノ二七　田中梅松
東區北濱二ノ七七　越ケ谷商店内　立龜久次郎
東區今橋二ノ六　竹屋商店内　谷口善太郎
東區伏見町西ノ七　山田卯助
東區京橋三ノ五五　前川善之介
東區今橋一ノ七　田中耕三
東區北濱一ノ一六　濱口太助
東區北濱二ノ六七　川田商店内　伊藤圓藏
東區北濱一ノ三七　辻楠松
東區北濱一ノ二三　林吉
東區北濱野村ビル四階　大阪商事株式會社内　栗本和男
東區北濱二ノ六七　荒鹿之助
東區北濱二ノ九四　雜賀米吉
東區北濱一ノ四　田島愛之助
東區今橋一ノ一　山田初治郎
東區北濱一ノ九　朝田卯一
東區北濱一ノ二〇　井庄藏
東區北濱二ノ一四五　吉村鹿之助
東區北濱一野村ビル四階　山縣龜太郎
東區北濱二ノ一〇　大阪三品商事株式會社内　八田福雄
東區北濱二ノ七一　田中信三
東區北濱一ノ二六　文箭左太六
南區鰻谷通三ノ六　賢治
東區北濱二ノ二五　中村豊三郎
東區北濱二ノ五四　羽間佐五郎
東區淡路町二ノ四九　竹中嘉藏
東區北濱二ノ七四　廣田清左衛門
東區北濱二ノ六六　武鹿銀次郎
東區今橋二ノ三〇　若林誠介
東區今橋一ノ四　竹村松兵衛
東區北濱一野村ビル七階　齋藤菊三郎
東區北濱二ノ三　田中捨三
東區北濱二ノ一五　松崎勢太郎
東區北濱二ノ二五　古塚拓治
東區北濱二ノ二三　今川每三郎
東區北濱一ノ二七　和田彌一
東區北濱二ノ一六　竹内種造
東區北濱三ノ一八　大同和藏
東區北濱二山内商店内　柴本山太郎
東區今橋一ノ八　齋藤卯太郎
東區北濱二ノ四二　池田宗七
東區北濱一ノ一六　小田末造
東區北濱二大株附屬館内　山田淺二郎
東區北濱一野村ビル三ノ七　弘一
東區北濱一ノ二七　田中梅松
東區北濱二ノ七七　越ケ谷商店内　立龜久次郎
東區今橋二ノ六　竹屋商店内　谷口善太郎
東區伏見町西ノ七　山田卯助
東區京橋三ノ五五　前川善之介
東區今橋一ノ七　田中耕三
東區北濱一ノ一六　濱口太助
東區北濱二ノ六七　川田商店内　伊藤圓藏
東區北濱一ノ三七　辻楠松
東區北濱一ノ二三　林吉
東區北濱野村ビル四階　大阪商事株式會社内　栗本和男
東區北濱二ノ六七　荒鹿之助
東區北濱二ノ九四　雜賀米吉
東區北濱一ノ四　田島愛之助
東區今橋一ノ一　山田初治郎
東區北濱一ノ九　朝田卯一
東區北濱一ノ二〇　井庄藏
東區北濱二ノ一四五　吉村鹿之助
東區北濱一野村ビル四階　山縣龜太郎
東區北濱二ノ一〇　大阪三品商事株式會社内　八田福雄
東區北濱二ノ七一　田中信三
東區北濱一ノ二六　文箭左太六
南區鰻谷通三ノ六　賢治
東區北濱二ノ二五　中村豊三郎
東區北濱二ノ五四　羽間佐五郎
東區淡路町二ノ四九　竹中嘉藏
東區北濱二ノ七四　廣田清左衛門
東區北濱二ノ六六　武鹿銀次郎
東區今橋二ノ三〇　若林誠介
東區今橋一ノ四　竹村松兵衛
東區北濱一野村ビル七階　齋藤菊三郎
東區北濱二ノ三　田中捨三
東區北濱二ノ一五　松崎勢太郎
東區北濱二ノ二五　古塚拓治
東區北濱二ノ二三　今川每三郎
東區北濱一ノ二七　和田彌一
東區北濱二ノ一六　竹内種造
東區北濱三ノ一八　大同和藏
東區北濱二山内商店内　柴本山太郎
東區今橋一ノ八　齋藤卯太郎
東區北濱二ノ四二　池田宗七
東區北濱一ノ一六　小田末造
東區北濱二大株附屬館内　山田淺二郎
東區北濱一野村ビル三ノ七　弘一
東區北濱一ノ二七　田中梅松
東區北濱二ノ七七　越ケ谷商店内　立龜久次郎
東區今橋二ノ六　竹屋商店内　谷口善太郎
東區伏見町西ノ七　山田卯助
東區京橋三ノ五五　前川善之介
東區今橋一ノ七　田中耕三
東區北濱一ノ一六　濱口太助

◆國債取引員

東區安土町二野村証券株式會社　岡音吾
東區北濱二ノ七五　片崎健吉
東區北濱五ノ三〇　藤本ビルブローカー銀行　横田義夫
東區今橋二ノ一　日本信託銀行　井松之助
東區高麗橋五ノ一　日本興業銀行大阪支店　星野剛男
東區北濱四ノ二六　關西信託株式會社　小林鐵三郎
東區高麗橋二ノ二七　上田要



大阪株式取引所全景及以下同所取引員紹介

大阪屋商店が證券界に於て、今日の地位を得ました所以のものは全く改名以前の野村商店時代に於て數十年に渉り業務に齒勵努力致し以て各位の深甚なるお引立に預つた賜と、深く肝銘する次第でございます、而して大阪屋商店としては益々業務に精勵し、有價證券業務の外に、放資部、地所部等を加へて廣く動産、不動産、船舶等の賣買、仲介、貸借、金融等を初め、資本家の顧問となり、或は企業家、事業家等の資金調達上に關しても、何れもお取引上の重要機關たらん事を期して居ります、調査部は毎年「株式年鑑」を出版し其他時々資本家の資料として特別冊子を出版し、更に毎月三回定期「に大阪屋商店旬報」を發行して證券界、事業界の狀勢歸趨を縱橫に研究調査せる結果を公表して、聊か斯界の指針と稱せらるゝに到りました事は、當店の甚だ光榮として居る處でございます。

現定放地調

物期資所查

部部部部

大阪市東區本町二丁目
振替口座大阪參四〇四番

電話本局 東京用 五八〇〇一番 市外用 四四二一〇三二一番 市内用 四四三一〇三二一番 四四三一〇五六二番 四四三一〇九八七番 四四三一〇九八七番

電話本局 東京用 五八〇〇一番 市外用 四四二一〇三二一番 市内用 四四三一〇三二一番 四四三一〇五六二番 四四三一〇九八七番 四四三一〇九八七番

社會式株
大阪屋商店

內外公債株式賣買

大阪商事株式會社（大阪市東區高麗橋三丁目）

電話本局 東京用 五八〇〇一番 市外用 四四二一〇三二一番 市内用 四四三一〇三二一番 四四三一〇五六二番 四四三一〇九八七番 四四三一〇九八七番

受信略語 オサカオオエスケイ
振替口座大阪二五一五番

有價證券賣買・募集引受

沿革概要

一、明治四年先代濱崎永三郎氏堂島取引所仲買人となる
一、明治十七年六月大阪株式取引所仲買人の免許を受けて兼營す
一、明治三十三年大阪堂島米穀取引所仲買人を廢業す
一、明治卅六年七月先代永三郎氏大阪取引所理事に選任せられたる爲に茲に濱崎健吉氏仲買人を繼承し有價證券現物賣買を營む
一、大正七年九月仲買人を濱崎辨之介氏名義に變更し專ら有價證券現物賣買を本業とす、其間店運逐日隆盛今日に至る。

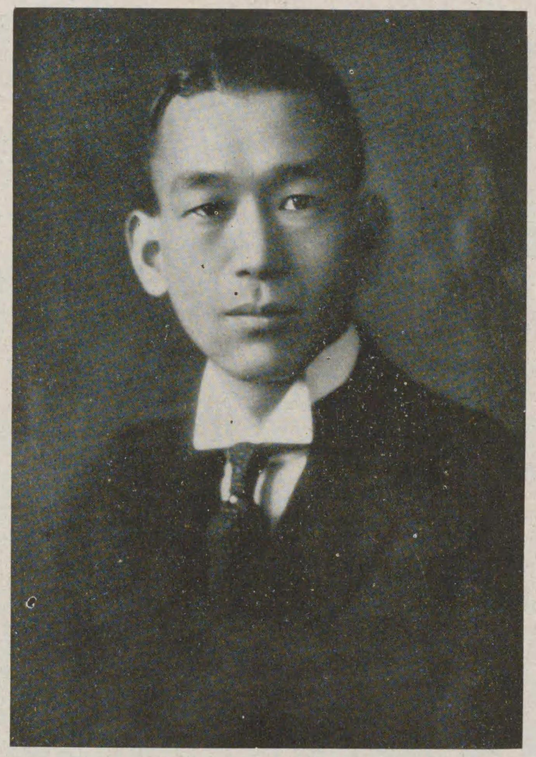
電話本局

長五一〇九番	（市内専用）
長六三八番	
六三二番	
六三一〇番	
六三二番	
六二九番	
四三一番	
四三二番	
四三三番	
四二一番	
三一四六番	（営業時間外用）
一二〇六番	
一八八五番	（市場専用）
六六九〇番	（市外専用）
七七一〇番	

有價證券現物賣買

濱崎商店 株式會社

大阪市東區北濱二丁目



創立明治十一年
資本金五百萬圓（拂込濟）
代表取締役 竹原友三郎氏

電話本局

四一九一番	（市外専用本局）
四二一〇番	
四二二三番	
四二二五番	
四四一五番	
四四一六番	
四四二七番	
四四二八番	
四四九六番	
四四九九番	
一一三〇番	
一一〇七番	

振替貯金口座大阪三五二一〇番

同社々長 竹原友三郎氏

有價證券現物專業

竹原商店 株式會社

大阪市東區今橋二丁目

大阪株式取引所取引員芝田大吉氏と其營業所、同店は明治十二年十月十八日開業其古き歴史と信用は店主芝田氏の人格と相俟つて今日の隆盛を見る

（寫眞は同店主芝田大吉氏及其店員）

株金店同（目下二町目北區堀城市阪大）

現物賣買 有價證券

株式會社 黒川商店

取締役社長 黒川嘉七郎氏
取締役役長 福田喜三郎氏
取締役役 八尾甚三郎氏
監査役 山川直治郎氏
監査役 池田勇三郎氏
監査役 黒川幸七氏

振替口座 大阪二四七三二〇番
電話 堺 長二九一〇番 長二九一〇番 長二九一〇番

靜商店の信條

商店及會社の繁昌すると仕ないとにはソコに必ず何等かの理由が有らうと思ひます。同時に商賣の繁昌することは其の店自身にとつて利益であるのみならず併せて華客に滿足と安心と利益を與へるから其の店が信用され且つ繁昌する所以だと信じます。特に取引員營業におきましては注文を受くる取引員と注文を發せらるゝ客筋の相互に信用がなければ御取引は願はれぬ譯であります。

靜商店は年來右の如き信念を持ちまして長短清算取引及實物の御注文を取扱つて參りました。清算取引は勿論多年の經驗によりまして敏速正確と秘密嚴守を金科玉條として御注文を取扱ひまするは申上ぐる迄もなく時代の要求に應じて大いに實物賣買にも力を注ぎ口錢本意の純ブローカー式で十分の御便宜を圖りますから精々御利用の程を願ひます。

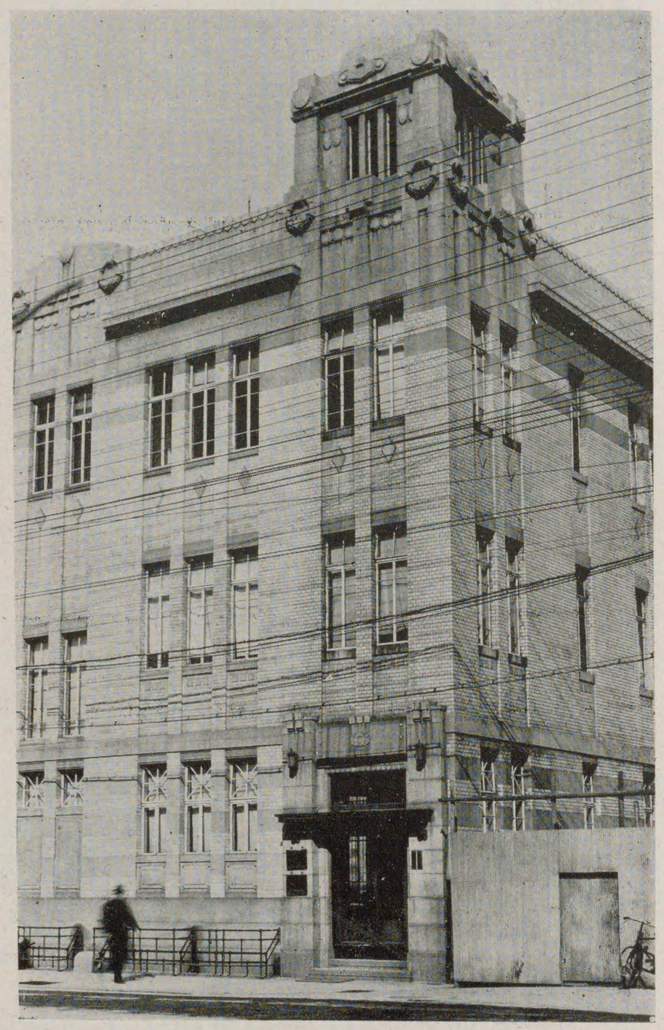
靜藤治郎商店
靜合資會社
靜商事株式會社
靜鑛業部（九州）
靜山林部（和歌山縣 岡山縣）

大阪株式取引所一般取引員
同國債取引員

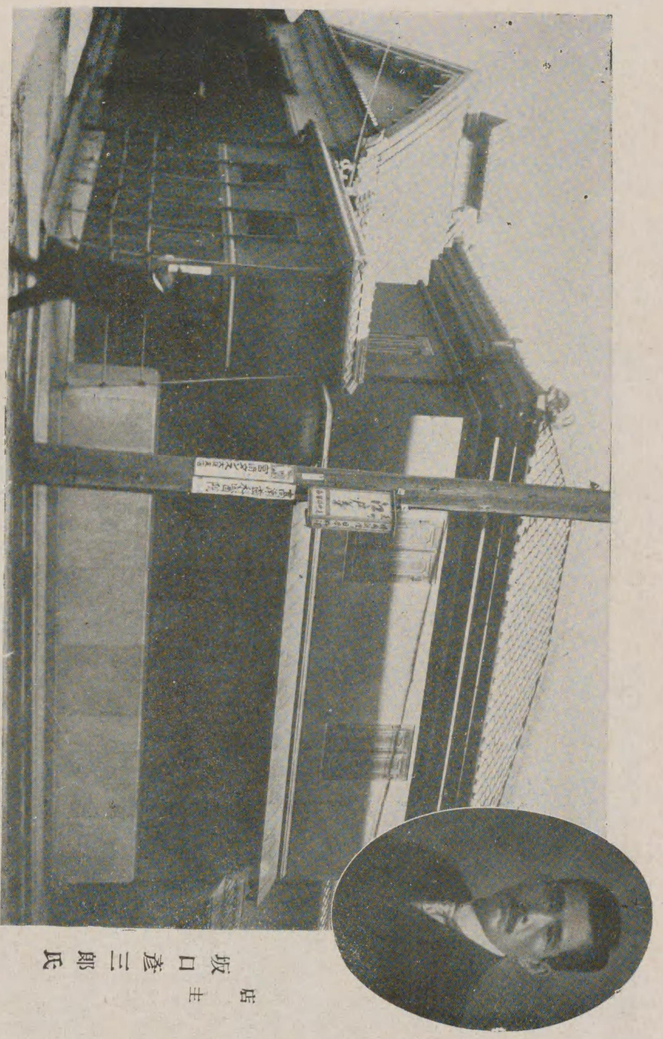
靜藤治郎商店

營業所　大阪市東區北濱二丁目

電話本局（長）
持長七一〇
七一一一
七一二一
一三、一五三、
一一四一
七一二一
七〇三〇
一一四三



靜商店全景



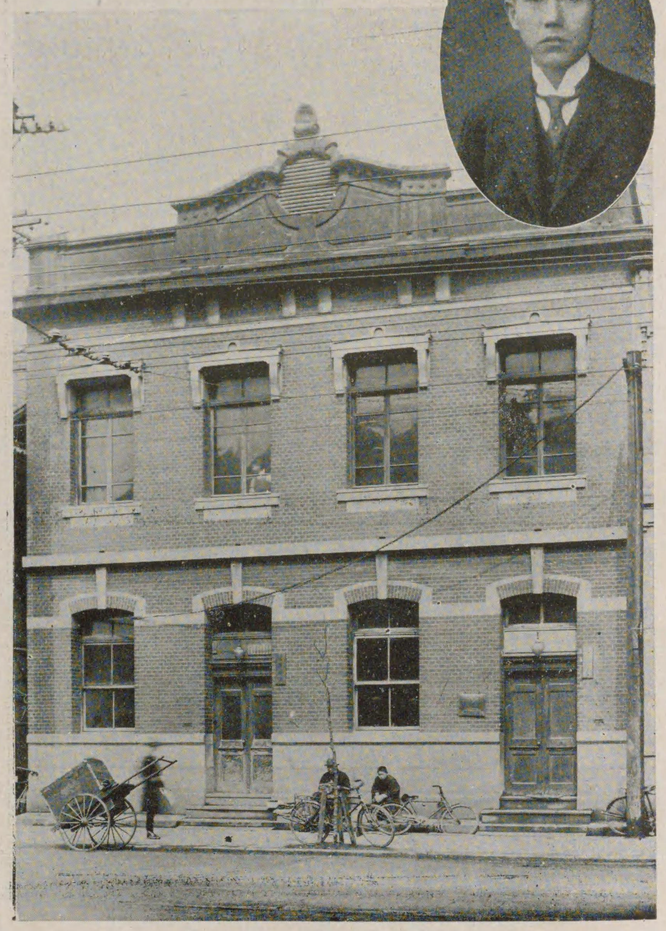
景全店商口坂

店主　坂口彦三郎氏

大阪株式取引所取引員、同相談役坂口彦三郎氏は東區今橋二丁目に營業所を置き店運盛日隆の氣運を挽回し、大阪紳士中稀に見る温厚、謙譲の人格者として又商機を看るに敏活なる事も周知の事實なり。

如き氏の襟度にて一般よりの信用厚く敬せらるる。尚同氏はかつて取引所會員たりし事再三又其他公私の事に盡力せられつゝある事も周知の事實なり。

越ケ谷商店及店主越ヶ谷伊太郎氏



大阪株式取引所取引員越ヶ谷商店は同取引所の正面東區北濱一丁目に營業所を置き、信用と確實なる營業に於て北濱一流の稱あり、店主越ヶ谷伊三郎氏天資溫健、敏活なる斯界に雄飛して業績を擧ぐる事久し、幸運彼を祝して將來も亦大なるものあらん。

加島安治郎商店營業所

大阪市北濱一丁目加島安治郎商店は古き歴史と共確固たる基礎に據りて營業上の信用頗る厚し、經營振りの聊か地味なる感ある處即ち同店の確實なる所以にして實力聲望共に北濱一流として一般よりの敬遇高し店主加島安治郎氏は大阪取引所長期取引員にして加島辰之助氏は同所短期取引員共に斯界の重鎭として、北濱株式街の功勞者と聞く。

同店主　富和靖介氏

富和株式店

大阪株式取引所取引員富和株式店は東區北濱二丁目に其營業所を置き確實なる取引と信用とに依り店運遂日隆盛を見る、連日店内市をなす盛況裡に長く整然と店員を指揮して業界に雄飛しつゝある店主富和靖介氏は性極めて溯達にして營業上にも男性的なる點多しと聞く亦稀に見る着實の士として將來を囑さる。

株式會社高木商店全景

（大阪市西區阿波座）

大阪洗式界屈指の取引店として周知の株式會社高木商店は西區阿波座中一丁目に營業所を置き其古き信用と確固たる基礎は即ち同店が斯界の重鎭として一般より讃せらるゝ所以、茲に代表的取引店として紹介す

確實なる放資機關

同社は去る大正九年大阪野村銀行證券部に起源し其後分離獨立して現今に及ぶ。而して野村銀行が商業金融機關たるに對し同社は企業金融機關として互に姉妹關係を保持して居る。當社の資本金は五百萬圓、重役氏名は下記の如し

取締役社長　片岡音吾
取締役　野村元五郎
同　柴山鷲雄
同　松島準吉
取締役支配人　橋本庄藏
監査役　野村德七

營業科目

公社債引受募集
公社債賣買
手形金融
保護預、運用預

野村證券株式會社

大阪市東區安土町二丁目
電話本町自九五〇至一九五四
振替口座大阪一七四九八番

出張所

東京　名古屋　金澤
京都　岡山　廣島
神戸　福岡　紐育

（アンイデルセン）

大阪市港區北久太郎町三丁目、敷地三百坪、總建坪千八百二十坪六合五勺、鐵骨鐵筋、近世式五階（地階）地階、廻廊、高十七尺六寸、建坪四百坪、建築事務所、主要工事大林組

第一部第二部取引員
岩田保太郎
營業所　大阪市東區北久太郎町二丁目
話電船場五五二、五五三

第一部第二部取引員、第一部委員長
第二部副委員長商議員會副會長
井上德三郎
營業所　大阪市東區北久太郎町三丁目
電話船場自二二〇至二二二二
市外專用船場三

第一部第二部取引員
日比野芳太郎
營業所　大阪市東區北久寶寺町三丁目
電話船場自七四四至七四七
自一六二〇至一六二三

第一部第二部取引員
八木重兵衛
營業所　大阪市東區南久太郎町三丁目
自二六、至二八、二四七
電話船場二六三、一三四九
一五五二、一九七八、

第一部第二部取引員、第二部委員、商議員
岩田正一
營業所　大阪市東區北久寶寺町三丁目
電話船場自一八三〇至一八三二

第一部第二部取引員
松村長造
營業所　大阪市東區北久寶寺町二丁目
自九五五、至九五七、
電話船場三七五四、一四七五、

第一部第二部取引員
貴志米吉
營業所　大阪市東區北久寶寺町二丁目
二八八、二八八九、
船二〇九、二〇八三、
電話場二八七一、二八七二、三六四一、
四一壹八、市外專用船場八

第一部第二部取引員、第一部副委員長
商議員會總代
伊藤秀雄
營業所　大阪市東區北久太郎町三丁目
自九六一、至九六四、
電話船場二一四三、

第一部第二部取引員
中村甚藏
營業所　大阪市東區南本町二丁目
電話本町一七一二、一七一三、

第一部第二部取引員
國府一房
營業所　大阪市東區安土町三丁目
電話船場二二九二、一九九三、二一九三、四七六六、

第一部第二部取引員
川畑寅吉
營業所　大阪市東區備後町三丁目
電話本町自一七二〇至一七二六、

第一部第二部取引員
鎌谷廣一
營業所　大阪市東區安堂寺町三丁目
電話船場五五一、八三九、

第一部第二部取引員
福井邦造
營業所　大阪市東區南本町三丁目
電話船場三〇四〇、二二四一、

第一部第二部取引員
中川正三郎
營業所　大阪市東區北久寶寺町三丁目
三二三八、三五三八、五一六六、五一六七、五一六八、
電話場　船場五一六九、船場四二二、
市場專用　船場二、
市外專用

第一部第二部取引員
日比野金次郎
營業所　大阪市東區北久寶寺町三丁目
電話船場自七四四至七四七、

第一部第二部取引員
玉置禮次郎
營業所　大阪市東區南久太郎町二丁目
一五二一、一五三〇、
電話船場三七五一、二六四〇、二六四一、
取引所構內　四二三五

第一部第二部取引員
尾本眞治郎
營業所　大阪市東區北久太郎町三丁目
電話船場三二四八、二六九三、三二八二、
一七九四、

第一部第二部取引員
小原有鄰
營業所　大阪市東區北久寶寺町三丁目
電話船場二八二二、二八二三、四九五五、
五一七四（番）

第一部第二部取引員
宮畑作三郎
營業所　大阪市東區北久寶寺町三丁目
一九九一、一九九二、二九九四、
電話船場二三〇四、三〇四一、三〇八七、三九〇二、三九八八、

第一部第二部取引員
雨宮中
營業所　大阪市東區北久寶寺町二丁目
船二四八、二六九、二七二、
電話場四一九、四六、四五九三、

第一部第二部取引員
安野傳治郎
營業所　大阪市東區北久太郎町二丁目
電話船場一六六五、六六六、

第一部第二部取引員
若林佐一郎
營業所　大阪市東區北久太郎町二丁目
船六三五、六三六、
電話場六九〇、三六九一、

第一部第二部取引員
由井二時三一郎
營業所　大阪市東區北久太郎町二丁目
黒川ビルヂング內
電話船場長六三〇、長六三一、二三六一、
二三六二、二三六三、二五一九、

第一部第二部取引員
八木寅太郎
營業所　大阪市東區北久太郎町二丁目
電話船場二五八一、二六三五、
二六六二、三六三七、三六六二、

小坂久眞太　営業所　大阪市東區北久太郎町三丁目三品ビルヂング内　電話船場八八六、八八七、八八八

山田伊太郎　営業所　大阪市東區安土町一丁目　電話本町自一〇五一至一〇五五　市外専用本町一

西田仁三郎　営業所　大阪市東區北久寶寺町四丁目　電話船場三八二一、三八二二、四九六二、

奥村竹三　営業所　大阪市東區北久太郎町三丁目三品ビルヂング内　電話船場自三七〇至三七二

中島三郎　営業所　大阪市東區南久太郎町三丁目　電話船場四五一〇、一〇八五

阿部尚一郎　営業所　大阪市東區北久太郎町三丁目三品ビルヂング内　電話船場四九七五、四七六七、四六七九、四二三七　市外専用船場七

森田孫太郎　営業所　大阪市東區北久太郎町三丁目　電話船場四四六、二二九一、四五三〇、四七八四、四七八五　市外専用船場五

小島逸平　営業所　大阪市東區南久太郎町二丁目　電話船場自一六五、二六六、一八八四　市外専用船場一六五〇

宮下倬平　営業所　大阪市東區北久太郎町二丁目三六一、一一六七、一一八五、二〇七八、四六〇五　電話船場

坂田正藏　営業所　大阪市東區南久太郎町三丁目二〇、三四六、九八九、四九九五　電話船場

鈴木彌三郎　営業所　大阪市東區北久太郎町三丁目二六七、二六八、二一五三、二一五二、二二六三、

糸川芳一郎　営業所　大阪市東區備後町三丁目四九〇、四九一　電話本町自一四五七至一四五九

福家靖三　営業所　大阪市東區北久太郎町三丁目　電話船場自二六〇至二七一、五〇七八、四二八八、五〇七九、

白木茂安　営業所　大阪市東區南久太郎町四丁目九八三、一七六四、四二三九、九八三六、

日本綿花株式會社　営業所　大阪市北區中之島二丁目　電話本局自五二〇至六〇〇、四六〇〇、二三一六、五六六九、

東洋棉花株式會社　営業所　大阪市東區高麗橋三丁目　電話本局自三五〇至三五六八

江商株式會社　営業所　大阪市北區中之島二丁目　電話本局自一二四〇至一二四二、一二七七、三九六〇、

芝長五郎　営業所　大阪市西區土佐堀通一丁目　電話土佐堀四八五二、五九八九

加藤大三郎　営業所　大阪市東區横堀壹丁目　電話本局一四八八、一四八九、四七九、九二四、

長野辰次郎　営業所　大阪市東區備後町二丁目野村ビルヂング五階五二號室　電話本町一一三、一二三四

平田信成　営業所　大阪市東區北久太郎町三丁目三品ビルヂング内　電話船場

本園薫　営業所　大阪市東區北久太郎町三丁目三品ビルヂング内　電話船場一二一、一二二

大音新吉　営業所　大阪市東區北久太郎町三丁目　電話船場一三八、一六九三、一三八一、三二八三、一七九四、

大日本紡績株式會社　営業所　大阪市東區備後町三三四至三三七　自四〇一至四〇五　電話本町自一七五至一七九

豐島久七　営業所　大阪市東區南本町二丁目　電話船場自二七二至二七八　二六七三

白洲文平　営業所　大阪市北區中之島二丁目　電話本局一一二、二一二七

日出紡織株式會社　営業所　大阪市東區南久寶寺町五丁目　電話船場一九五九、四六一一、二七〇、

八田昌吉　営業所　大阪市東區南久太郎町三丁目　電話船場八六、八七、一九八八

加藤利三郎　営業所　大阪市東區横堀一丁目　電話本局一四八九、九二四、四七八八、四七九、

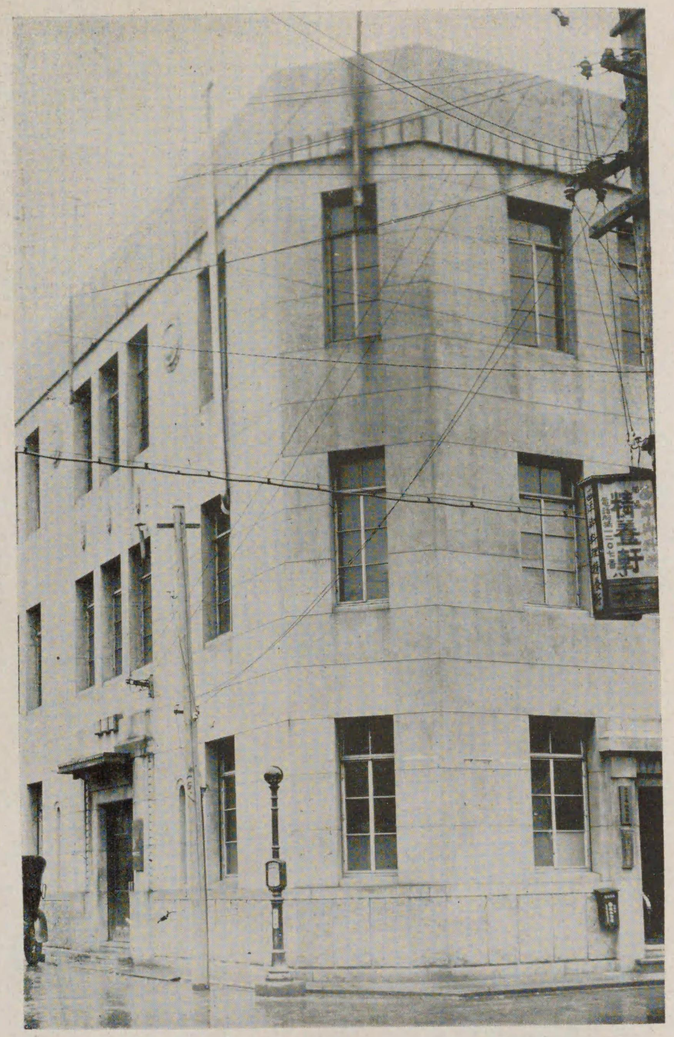
前田駒太郎　営業所　大阪市東區南久太郎町三丁目　電話船場八七六、

（商具文堂勝本山中元寶發）

部一の場工軸製筆年萬

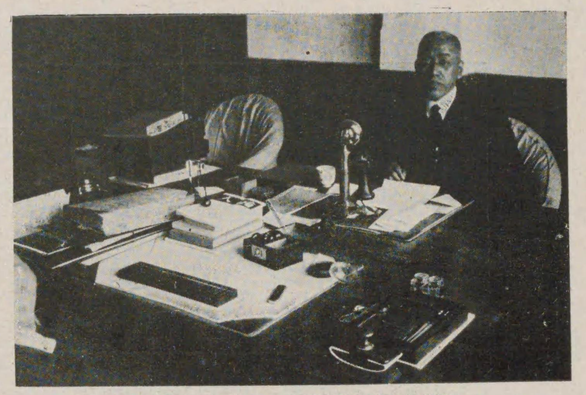
萬年筆の歴史

萬年筆は西暦千八百五十五年頃に發明せられましたが當時は實用品とはなりませんでした。一面金ペンの發達にともなひ幾多の變遷を經て遂に千八百七十年筆の軸にエボナイトを利用し、千八百八十年から米國に於て製造販賣されるに至つたのであります。ルシニ氏が當時の價値のうへ無數のレバーを附したるものにて、其の後數多の改良を加へ、今日の如き完全なるものとなつたのであります。



會員組織大阪砂糖取引所

大阪市南區鹽町通二丁目二十八番地



大阪砂糖取引所理事長　高津久右衛門氏

理事長　高津久右衛門氏
常任理事　上山靜藏氏
理事　棚橋金之輔氏
同　白木藤次氏
監査役　藤田毅氏
同　山田德藏氏

○大阪砂糖取引所會員一覽

商議員氏名

會長　棚橋金之輔氏
副會長　合資會社上野製糖所
副會長　合名會社矢野商店
總代　合資會社芳賀商店
總代　山田德藏氏
總代　平野屋合資會社
總代　合資會社重明舍玉手商店砂糖部
白木藤次氏
合資會社長岡商店
上山靜藏氏
湯淺合資會社
藤田毅氏
岩崎商業株式會社

國松龍藏氏　湯淺合資會社　福谷榮七氏　村瀨俊郎氏
丸福商店清水常吉郎氏　尾崎治平氏　大阪商業合資會社　大野猪三郎氏
合資會社小藤商店　三井物産株式會社　合資會社芳賀商店　岩崎商業株式會社
合資會社藤井榮七商店　鹽水港製糖株式會社　合資會社土田商店　平野屋合資會社
內橋恒次郎氏　合資會社玉置商店　新高製糖株式會社　合資會社上野製糖所
三ツ引物產株式會社　合資會社大崎商店　日本砂糖貿易株式會社　合資會社大正商會
山口商會山口隆弘氏　株式會社明治商店　大日本製糖株式會社　合資會社平田屋商店
中野商業株式會社　株式會社中島商店　合名會社矢野商店　村上築城氏
株式會社安部幸商店　合資會社浪速屋商店　山田德藏氏　合資會社重明舍玉手商店
株式會社鈴木商店　合資會社井筒商會　上山靜藏氏　砂糖部
栗栖安太郎氏　藤田毅氏　合資會社長岡商店　合資會社吉田商店

天滿青物市場沿革概要

大正十四年四月一日我大阪市は多年の懸案であつた、接續町村東西兩成郡を併呑して、一躍世界第五位の大都市と成つた、今其の大大阪に於ける「市」の起源を窺ふに、遠く奈良朝時代に萠芽を發せしものゝ如くである、當時の「市」は或時期を限つての所謂「定期市」であつて、現今の如く常設の市場と成したのは餘程後の頃で、恐らく今（昭和三年）を去る四百三十有餘年の昔、即ち明應四年後土御門天皇の朝、蓮如上人が生玉の莊石山に本願寺の別院を創建したるに伴ふべく、我天滿青物市場の起源も亦此時を以つて濫觴とするのである。（中略）

市場取締上の努力　綱紀弛緩せる德川末期の餘波を受け、而も新政創建の際とて明治初年の取引には弊害が頗る多かつた、是が爲め明治七年二月十二日には大阪府知事の通達に基き「組合申合規約」を定め、府からは問屋、仲買倶に商業鑑札を交附されたが、尙公益を顧りみず、暴利を貪る奸商が輩出したので、同十二年十二月二十三日大阪商業會議所（當時は商法會議所と呼んでゐた）の設立と同時に問屋、仲買、各別々に「靑物市場規則」を制定して商業會議所の奥書を經て府に申請、認可を受け、大いに市場不信行爲の恢復、取締に盡瘁したのである、後更に十六年十二月二十八日府令第九十九號の公布に基いて市場の物品取扱手續、現品受渡順序、手數料、營業時間等、市場取締上の諸事項を規定し府に申請、翌年三月十二日認可の指令に接した、本令の公布は實に府下市場取締令の嚆矢である。

一、元の市場店舖は行通路の兩側に在つて（現在の天滿舊市場の「區域」）通路の一部を使用せる結果、人車密集して喧囂混雜を極め且つ官許區域內營業者と區域外營業者との區別判然し難く、加之汚物塵芥の清掃に不便勝なからざるのみならず、猥りに市立行爲を禁ずる事が出來ない、交通上、衞生上の見地からして、倶に憂慮すべき點が多々あつたが、是等の事故は新區域に移轉と同時に一掃する事が出來た。

二、從來市場區域內の店舖は私人の所有であつて、賃貸料の增額が自由であつた、其結果は賣品の價格或は品質に影響する弊がなきにしもあらずで誠に不安な狀態にあつたが、新市場の店舖は產業組合員相互間の共有物であるから、猥りに使用料の引上をせらるゝ恐れがないのみならず、不正行爲者の除名が極めて便利となつた。

三、組合員の信用程度を增進せしむる爲には信認金を增額し、又一方に於ては產業組合員に營業資金融通の途を開くと同時に組合員に貯金を奬勵し、且つ「百萬圓以上」の組合財產の共有者としての地位向上の自覺を與へた。

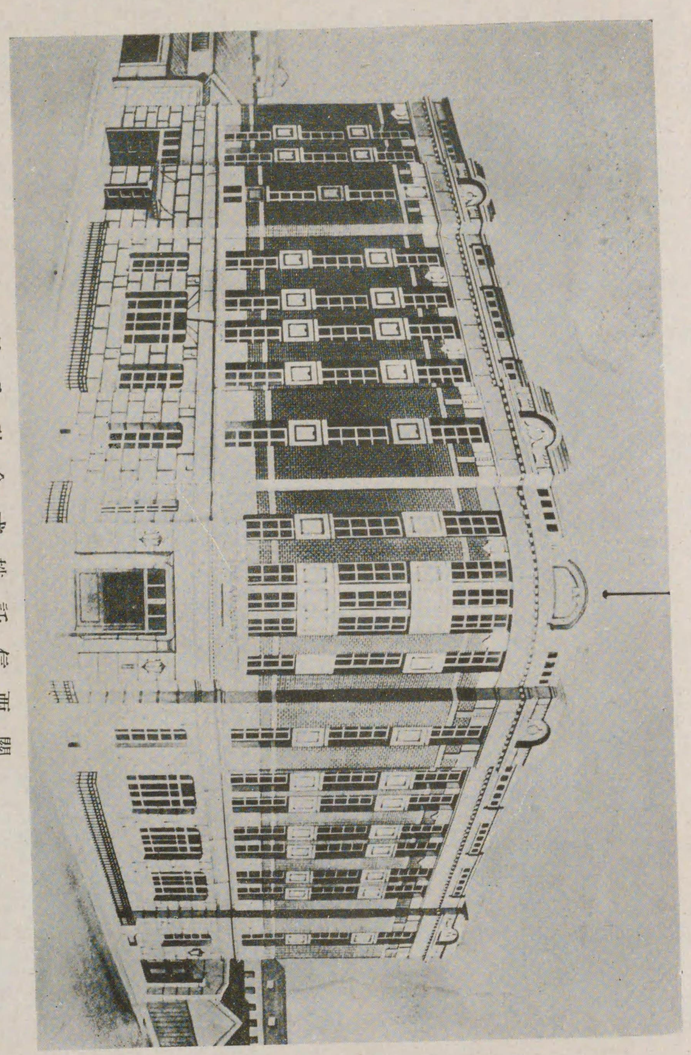
四、信用の增進に伴ひ營業の擴張となり、電話の架設、廣告の活用、生產地の調查、荷主に對する支拂の保證等に依つて組合員稅額の增加に新記錄を示した。

關西信託株式會社

本社新築概要

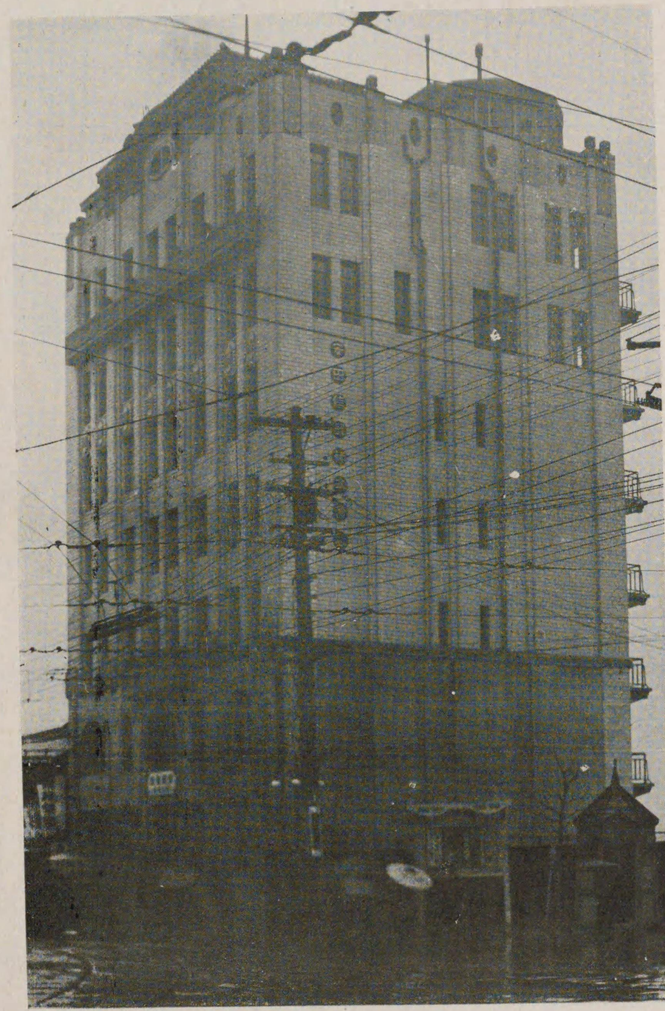
所在地　大阪市東區北濱四丁目廿六番地
敷地面積　貳百貳拾七坪七合
建築面積　百六拾六坪
總延建築面積　八百四坪
工程　起工　大正十年八月十日
　　竣工　大正十二年三月卅一日
建築樣式　近世復興式
構造　耐震耐火構造
　基礎　割栗石鐵筋「コンクリート」地形
　壁體　鐵筋「コンクリート」造外面ハ石材化粧煉瓦擬石塗
　床　鐵筋「コンクリート」造上面「リノリウム」敷
　陸屋根　鐵筋「コンクリート」造防水層ヲ造リ豆砂利ヲ撒布ス
　階段　鐵筋「コンクリート」造三箇所
軒高　地盤ヨリ「パラペット」上端迄五拾貳尺二寸五分
階數　五階（地階ヲ含ム）
安全貸金庫　地階ニ安全貸金庫ヲ設備ス
暖房裝置　重力式温水暖房裝置
（大阪暖房商會請負）
防火設備　窓總テ防火鋼鐵捲上「シヤツター」及鋼鐵硝子障子ヲ取付入口ニハ防火鐵扉ヲ付ス
（東京建鐵株式會社請負）
各階ニ「バイドランド」ヲ設備ス
（日本水道衞生工事株式會社請負）
汚水處分　各階便所ヨリノ汚水ヲ地階ノ槽ニ聚メ殺菌清淨ヲ行ヒタル後濾過シテ西原式エセグターヲ使用シ公設下水ニ放出ス尙ホ萬一ヲ考慮シ電氣ポンプヲ併置ス
電燈工事　配線ハ隱蔽鐵管工事ニシテ半間接照明ヲ採用ス
（大阪電氣商會請負）
電話工事　配線隱蔽鐵管工事二座席、局線拾私設六拾ヲ設備ス
（川北電氣企業社請負）
昇降機　北米合衆國「オーチス」會社製速力毎分二百呎トス
（神戸米國貿易會社請負）
各階諸室ノ配置
地階　安全貸金庫　倉庫　宿直室　小使室　厨房　社員食堂　暖房汽罐室　石炭庫
一階　玄關　營業室　應接室

取締役社長　山口謙四郎
專務取締役　加藤小太郎
取締役　板野兼通
取締役　高山圭三
取締役　弘世助太郎
取締役　菅谷元治
取締役兼支配人　小林儀三郎
監査役（常任）　瀧本得之
監査役　佐々木駒之助
相談役　岩井勝次郎
相談役　山口玄洞
相談役　町田忠治



景全社會式株託信西關

濱北內區東市阪大



安田信託株式會社全景

（大阪市北濱二丁目）

資本金參千萬圓

安田信託株式會社

社長安田善次郎

專務取締役	濱崎定吉
常務取締役	戸澤芳樹
取締役	渡邊千代三郎
取締役	毛戸勝元
取締役	川西清兵衛
取締役	瀧定助
取締役	藤山雷太
取締役	結城豐太郎
取締役	井坂孝
常務監査役	園部保
監査役	安田善四郎
監査役	長松篤楽
監査役	田中市藏
監査役	太田清藏
監査役	山口誠太郎

大阪本店

大阪市東區北濱二丁目八五番地
電話本局(33)一六六八番・八五三番
振替口座大阪七四一八二四番
當座振込先安田銀行大阪支店

東京支店

東京市麹町區永樂町二丁目
電話丸之内(23)三四七一(5)
振替口座東京四八四〇番
當座振込先安田銀行本店

京都支店

京都市下京區四條通高倉角
電話中一五六七七番・五六七九番
振替口座大阪七四三五一番
當座振込先安田銀行京都支店

名古屋支店

名古屋市中區南大津町一丁目
電話東二七九二番・七五三五番
振替口座名古屋一八五四番
當座振込先安田銀行名古屋支店

信託とは

一、信託とは一口に申しますと
自分の財産を表面他人の名義に切替へ、自分の希望通り財産の管理、利殖などをさす制度なのでございます

二、そこで皆様が或信託會社を御信頼になりまして、御自身の財産を或年月の間、之にお委せになり、表面上會社の名義にして置かれますと、信託會社は皆様の御希望なり、御指圖なりに從つて、誠心誠意忠實に其の財産を保護、利殖するのでございます。

三、金錢は勿論、公債、社債、株式、土地家屋等すべてお委せになることが出來るのでございます。

四、右の如く御自分の所有財産を信託會社の名義に切替へることは、何だか會社の財産にされて了ふやうに思はれて居る方々もございますが、お預けになりました財産は會社自體の財産とは別箇に取扱ひ、帳簿は勿論金庫に至るまで全然區別いたして居るのでございます

五、從つて假令へ會社が差押を受けるやうなことがありましても、お委せになりました財産には手を附けられない仕組になつて居りますが故に、絶對に御迷惑となるやうなことはございません。

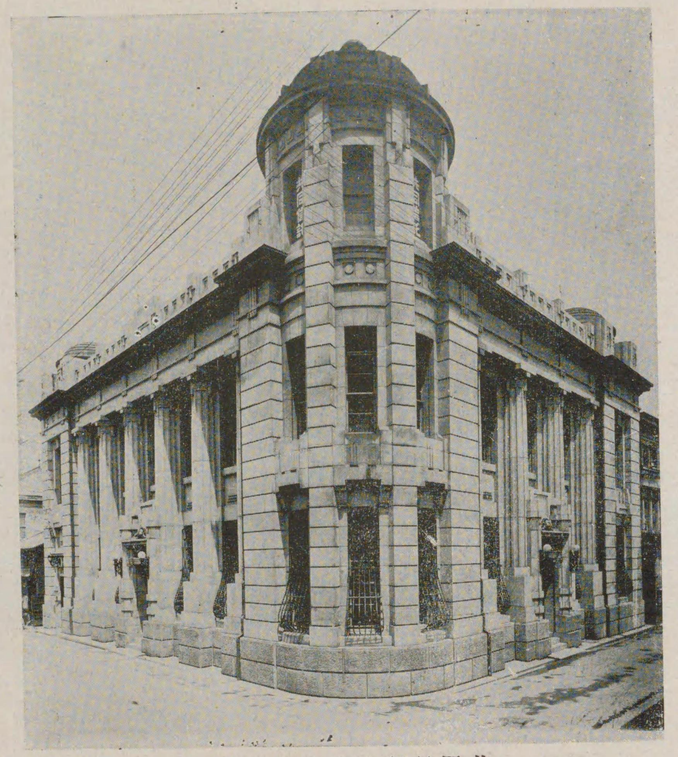
六、尙ほお預けになりました方が將來何かの手違ひから破産せねばならぬ破目に陷られるやうなことがありましても、信託會社へお委せになつて居る財産は、會社の名義でありますが故に、差押や競賣などを受ける心配は毛頭ございません。

七、「信託は財産の安全地帶」とよく謂はれて居りますのは、このことを申したのでございます。

大衆本位の共同信託

資本を廣く各方面に求めました當社の株主は約四千名に及んで居ります、かく多數を擁して居りますことは他の信託會社に類例を見ない處でありまして既に民衆的である第一歩でございます。

兎角信託會社は大口の契約のみを取扱ふやうに思はれて居る傾がございますが當社は右の趣旨に基き營業についても大衆の御利用御愛顧を熱望いたして居りますが故に如何樣の金額でも面倒な手數でも敢えて厭はず御一人にても數多くの皆樣のお役に立ちたいと希うて居ります。



共同信託株式會社全景

資本金參千萬圓

共同信託株式會社會社役員

取締役會長	菊池恭三	
副社長取締役	北村吉之助	
常務取締役	吉田平吾	
取締役	嘉納治郎右衛門	
同	寺田甚與茂	
同	多木粂次郎	
同	上山英一郎	
同	宮本利右衛門	
同	竹尾治右衛門	
同	藤山愛一郎	
常務監査役	阪上重信	
監査役	男爵鍋島直明	
同	佐野政清	
相談役	藤山雷太	
同	田代重右衛門	
同	尼崎伊三郎	

○基礎は鞏固
○方針は堅實
○取扱は親切

加島信託株式會社（大同ビルヂング）

指定金錢信託利廻標準（昭和二年下半期）

信託會社は御預りした金錢を運用利殖し、そして得た總運用益の內から一定の範圍內の信託報酬を頂く丈で、大部分の收益は受益者に差上げるのであります、其收益の割合は經濟界の狀況によつて一定致し兼ねますが、是迄の實績によりて見ますれば年利六分五厘以上七分以內位になると思はれます。

當社役員

社長	岡野惠三	
專務取締役	廣瀨行則	
常務取締役	岡松二郎	
取締役	田附孝造	
取締役	多羅尾源三郎	
取締役	松井萬雄	
取締役	松岡潤吉	
監査役	平澤眞一	
監査役	勝田永吉	
相談役	岸本仲左衛門	
相談役	吉井助作	
相談役	橋本喜三郎	
相談役	平岡清次	

資本金貳千萬圓

大阪市西區土佐堀通一丁目一番地

加島信託株式會社

電話土佐堀（四〇一番 六八七六番 四〇二番 七一五五番 六八七四番 六一五六番）

振替貯金口座大阪七九〇〇〇番

東京市日本橋區平松町十二番地

加島信託株式會社東京支店

電話日本橋（三八四三番 九〇〇番）

振替貯金口座東京六二九〇〇番

營業案內

第一　金錢の信託（信託預金）
一、指定金錢信託
二、特定金錢信託
三、投資金錢信託（金錢信託以外の金錢の信託）

第二　有價證券の信託
一、表示有價證券信託（管理有價證券信託）
二、運用有價證券信託
三、處分有價證券信託

第三　不動產の信託
一、土地建物の賃貸借の信託
二、債務の保證
三、不動產の賣買及貸借の媒介
四、有價證券賣買の取次
五、公債、社債、株式の募集、其拂込金又は配當金の取扱

第四　金錢債權の信託
第五　地上權の信託及び土地賃借權の信託
第六　遺言に代る信託
第七　生命保險信託
第八　擔保附社債信託
第九　貸附、國債の貸渡
一、貸附
二、國債の貸渡

第十　其他業務
一、保護預り

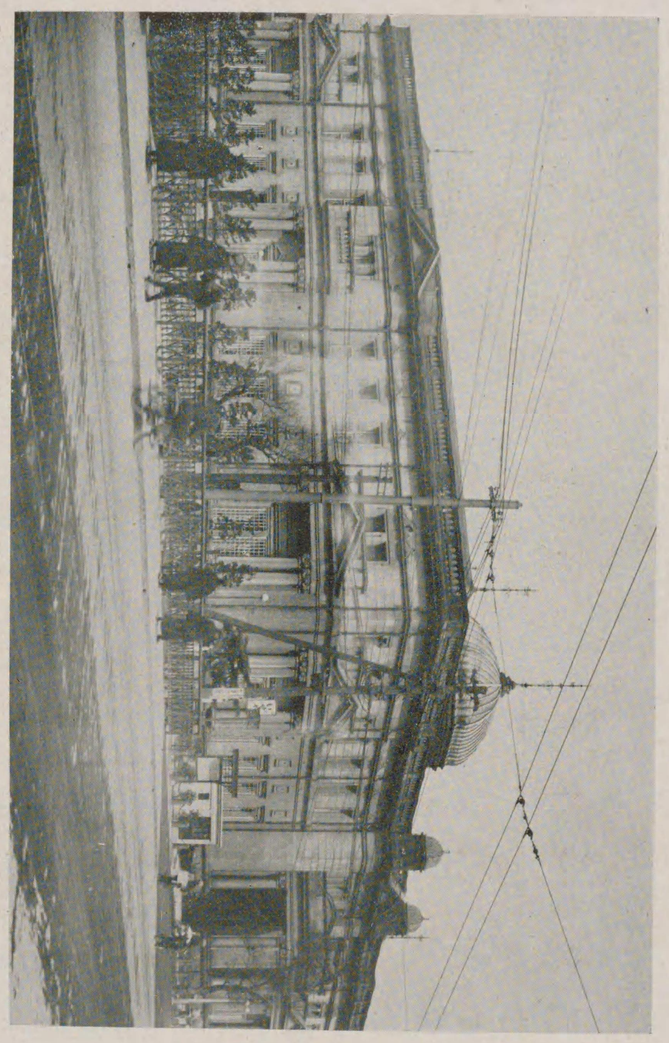
第十一　一般代理事務
(イ)財產の取得、管理、處分又は貸借の代理事務
(ロ)財產の整理又は淸算の代理事務
(ハ)債權の取立又は債務履行の代理事務
(附)土地建物の評價鑑定

當社役員

取締役社長	男爵藤田平太郎
專務取締役	和田久左衛門
取締役	田中一馬
取締役	田中隆三
監査役	田中市藏
監査役	鈴木庫太郎

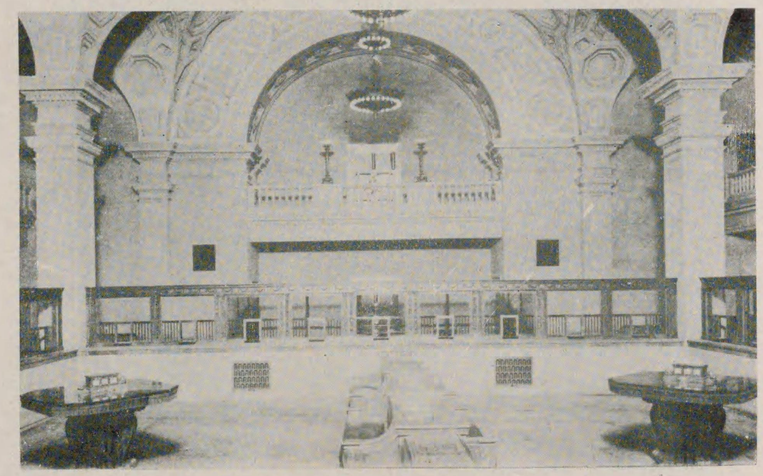
大正信託株式會社

大阪市西區江戸堀上通一丁目十八番地
（土佐堀船町停留場ヨリ南一丁東側角）
電話土佐堀（長五八〇八番 六一六九番）
振替口座大阪六九九七八番



景全店支阪大行銀本日掘るを橋中の關機動金西關
（島之中區北市阪大）

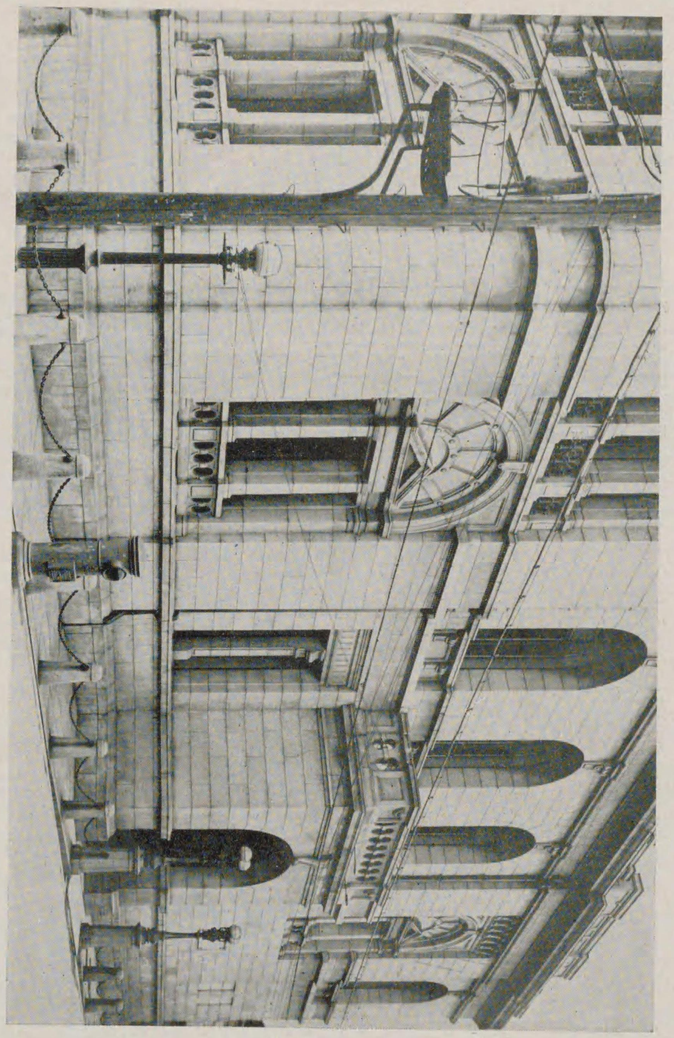
景全店支阪大行銀業勸本日社會式株



部一の內行上同

○抵當貸付
○無抵當貸付
○諸預り金
○手形割引
○保護預
○勸業債券の元利拂

株式會社日本勸業銀行
大阪支店
大阪市東區淡路町二丁目五番地



株式會社日本興業銀行大阪支店
（大阪市東區高麗橋五丁目）

設　立　明治三十五年三月
資本金　五〇、〇〇〇、〇〇〇

當行は預金でも割引でも爲替でも又證券類の取扱でも一般の銀行と同樣でありますが其特色と謂くば工場、電燈、電力、鐵道軌道等の事業設備を擔保に長期貸付をする事であります

重役

總裁　小野英二郎氏
副總裁　松本重威氏
理事　松本弘造氏
理事　賓來市松氏
理事　天宅敬吉氏
監査役　岩佐理藏氏
監査役　子爵八條隆正氏
監査役　吉川孝秀氏

株式會社日本興業銀行大阪支店
（大阪市東區高麗橋五丁目）

理事　理事　理事　頭取　株式會社日本興業銀行大阪支店
理事　理事　理事　取締役　柳荒久吉島
田木宗田田
直正次
吉郎董飽茂氏
支配人　監査役　監査役　常務理事　大阪支店
千節　磯高
曾添野木
近藤我田定復
清蔵壽次亨
三邦一郎氏
氏氏氏氏